

**平成25年度つくば市民意識調査  
報告書**

**平成25年10月  
つくば市**



# 目 次

## I 調査の概要

1	調査の目的	2
2	調査期間	2
3	調査対象	2
4	調査方法	2
5	回収状況	2
6	年齢別・地区別回収状況	2

## II 集計結果

1	集計結果の概要	4
2	あなた自身のことについて（回答者の属性）	7
	（1）性別	7
	（2）年齢	7
	（3）世帯構成	8
	（4）世帯に含む人	8
	（5）職業	9
	（6）住まいの状況	10
	（7）居住地区	11
3	現在の住環境について	12
	（1）問1 居住年数	12
	（2）問2 つくば市以外の居住経験	15
	（3）問3 定住意向	17
	（4）問4 住み心地	20
	（5）問5 住みやすいと感じる理由	23
	（6）問6 住みにくいとを感じる理由	25
	（7）問7 景観	27
	（8）問8 優れていると感じる景観	29
4	普段の生活について	31
	（1）問9 心配ごとや困っていること	31
	（2）問10 地域活動への参加	33
	（3）問11 地域活動に参加していない理由	35
	（4）問12 防災対策の実践	37
	（5）問13 防犯活動への参加	39
	（6）問14 防犯活動に参加しない理由	41
	（7）問15 地球温暖化対策	43
5	つくば市の現状やまちづくりへの取組について	45
	（1）問16 日常生活の満足度	45
	（2）問17 不満と感じる項目とその理由	55
	（3）問18 現在のまちのイメージと今後目指すべきまちづくり	58

6	少子高齢化への取組について	62
(1)	問 19 子どもを生き育てられる環境	62
(2)	問 20 子どもを生き育てられる環境に不足しているもの	65
(3)	問 21 高齢者が安心して住み続けられる環境	68
(4)	問 22 高齢者が安心して住み続けられる環境に不足しているもの	71
7	公共交通について	74
(1)	問 23 市内の公共交通の満足度	74
(2)	問 24 市内の公共交通に不満の理由	77
(3)	問 25 日常利用する交通手段	80
8	中心地区の活性化について	83
(1)	問 26 つくばセンター地区へ訪れる頻度	83
(2)	問 27 つくばセンター地区を訪れる目的	85
(3)	問 28 つくばセンター地区に必要な取組	88
9	その他の取組について	91
(1)	問 29 国際都市としての取組	91
(2)	問 30 科学技術振興のための取組	94
(3)	問 31 つくば市の重点事業の認知度	98
(4)	問 32 コンビニエンスストアでの証明書交付サービスの認知度	101
10	自由意見	102
<b>Ⅲ</b>	<b>調査票</b>	<b>107</b>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、つくば市の現状やまちづくりの取組に対する評価や満足度、市民が重要と感じている施策、社会情勢から重点的な取組が必要な課題について、市民の意向などを把握することを目的として実施しました。

本調査の結果は、今後の市政運営と施策実施の基礎資料として活用していきます。

## 2 調査期間

平成 25 年 8 月 5 日～平成 25 年 8 月 23 日

## 3 調査対象

住民基本台帳に記載された 20 歳以上の男女 2,400 人を無作為に抽出

## 4 調査方法

郵送配布・回収

※調査票は 107 ページを参照

## 5 回収状況

発送数：2,400 通

回収数：1,318 通

回収率：54.9 %

## 6 年齢別・地区別回収状況

	地区別 回収数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	無回答 (年齢)
年齢別回収数	1,318	135	244	267	226	138	122	104	63	19
筑波地区	113	10	14	16	20	17	15	10	7	4
大穂地区	93	5	13	19	21	11	14	2	5	3
豊里地区	93	8	13	19	13	12	6	10	10	2
谷田部地区	222	18	28	40	44	35	22	23	9	3
桜地区	134	18	22	22	22	17	15	13	5	0
荃崎地区	163	12	20	16	21	20	30	27	14	3
研究学園地区	413	55	97	110	78	25	18	15	11	4
T X 沿線地区	87	9	37	25	7	1	2	4	2	0

## Ⅱ 集計結果

### 報告書の見方(凡例)

- (1) 集計結果の%は、小数点第2位を四捨五入し、第1位までの表記としています。したがって、合計が100%に満たないまたは100%を超える場合があります。
- (2) 回答者数は、回答者全員が答えるべき設問については有効回答数となり、条件付き設問（例：「問1で1に○をした方のみお聞きします」という設問）については、その設問に答えるべき該当者の数となっています。
- (3) 複数回答の質問は、集計結果の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 無回答には、無効回答（選んだ選択肢の判別が困難なもの、択一回答の設問で複数の選択肢を選んでいるものなど）が含まれます。
- (5) n は、各設問における回答数です。

# 1 集計結果の概要

## (1) あなた自身のことについて（回答者の属性）

各属性の上位2位までは次のとおりとなっています。

属性	1位	2位
性別	「女性」 52.5%	「男性」 45.8%
年齢	「40歳代」 20.3%	「30歳代」 18.5%
世帯構成	「親子」 47.6%	「夫婦のみ」 21.8%
世帯にいる該当者	「65～74歳の方」 24.7%	「小中学生」 19.7%
職業	「会社員・公務員」 36.6%	「専業主婦(主夫)」 16.4%
住まいの状況	「一戸建(持ち家)」 69.4%	「集合住宅(賃貸)」 14.9%
居住地区	「研究学園地区」 31.3%	「谷田部地区」 16.8%

## (2) 現在の住環境について

### ① 居住年数など

つくば市での居住年数は、「30年以上」(37.5%)が最も多くなっており、半数以上が「20年以上」となっています。一方で、研究学園地区では、「10年以上20年未満」が最も多く、つくばエクスプレス沿線地区(以下、「TX沿線地区」という。)では、「1年以上5年未満」が最も多くなっており、地区によって違いが見られます。また、集合住宅(賃貸)や社宅・官舎では「1年以上5年未満」が最も多く、一戸建(持ち家)では「30年以上」が半数を占めており、住まいによる違いも見られます。

つくば市外の居住経験については、「ある」が81.3%、「ない」が17.1%となっており、特に研究学園地区やTX沿線地区では90%を超えています。

### ② 住み心地など

つくば市の住み心地は、「住みやすい」(34.4%)と「どちらかといえば住みやすい」(43.7%)を合わせて78.1%となっており、いずれの年齢、地区、住まいの状況でも「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計が60%を超えています。住みやすいと感じる主な理由は、「豊かな自然」(60.9%)が最も多く、次いで「日常生活が便利」(55.2%)が多くなっており、年齢別に見ると50歳代以上は「豊かな自然」が最も多く、20歳代～40歳代は「日常生活が便利」になっています。一方、住みにくいと感じる主な理由は、「交通の便が悪い」(34.1%)、「日常生活が不便」(20.8%)が多くなっていきます。

定住意向については、これからもつくば市に「住み続けたい」(53.9%)と「どちらかといえば住み続けたい」(28.1%)を合わせて82.0%となっており、住み続けたいという声が多くなっています。

### ③ 景観

つくば市の景観については、「優れている」(17.1%)と「どちらかといえば優れている」(60.3%)を合わせて77.4%となっており、優れていると感じている割合が多くなっています。優れていると感じる景観としては、「筑波山」(71.9%)が最も多く、次いで「研究学園都市の街並み」(53.2%)、「公園」(50.1%)、「街路樹」(45.9%)、「田園風景」(42.6%)などが多くなっています。

## (3) 普段の生活について

### ① 心配ごとや困っていること

心配ごとや困っていることについては、「老後のこと」(55.7%)が最も多く、次いで、「健康のこと」(39.1%)、「お金のこと」(32.6%)となっています。年齢別に見ると、20歳代では「仕事や職場のこと」、30歳代以上では、「老後のこと」が最も多くなっており、年代が上になるにつれて「健康のこと」の割合も多くなっています。



## ② 地域活動

現在参加している地域活動については、「特にない」(42.3%)が最も多く、次いで「区会・自治会」(31.3%)となっています。年齢別に見ると20歳代や30歳代、地区別に見ると、研究学園地区やTX沿線地区では「特にない」が半数を超えています。また、40歳代以上では「区会・自治会」が多くなっています。地域活動に参加していない主な理由は、「仕事で忙しい」(42.3%)が最も多く、次いで「情報がない」(29.7%)、「特に理由はない」(27.6%)となっています。

## ③ 防災・防犯対策

防災対策として実践しているものは、「防災用品や食料・水の備蓄」(58.4%)が最も多く、次いで「災害時の避難経路や避難場所の確認」(24.1%)となっています。一方で、「何もしていない」(25.0%)が前回調査(27.9%)から約3ポイント減少しています。

また、地域の防犯活動への参加状況については、「参加していない」(83.2%)が最も多く、「いつも参加している」(3.5%)と「ときどき参加している」(10.9%)を合わせても14.4%となっています。防犯活動に参加しない理由としては、「組織があるかわからない」(34.5%)となっており、周知が十分ではないことがうかがえます。また、「時間がない」(24.6%)も多くなっており、参加しやすくなるような工夫も求められています。

## ④ 地球温暖化対策

地球温暖化対策として実施していることは、「ごみの適正分別」(73.4%)が最も多く、次いで「エコバッグの持参」(72.9%)、「電気・ガス・水等の節約」(50.8%)となっています。

## (4) つくば市の現状やまちづくりへの取り組みについて

### ① 日常生活の満足度

項目別の満足度を点数化すると、満足度が相対的に高い項目として「病院・診療所などの医療機関」、「ごみ処理」、「健康診断などの保健サービス」があげられています。一方、満足度が相対的に低い項目としては、「雇用促進(就業支援)」、「交通安全環境(通学路の安全など)の整備」、「行財政改革の推進(健全な財政運営)」となっていますが、「雇用促進(就業支援)」や「行財政改革の推進(健全な財政運営)」は「わからない」と回答している割合が50%を超えており、満足度について判断できない人が多いのも特徴となっています。

なお、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた回答割合をみると、「病院・診療所などの医療機関」、「ごみ処理」は70%を超えています。一方で、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた回答割合をみると、「交通安全環境(通学路の安全など)の整備」、「道路整備」が30%を超えています。

不満と感じる理由として意見が多かったのは、「交通安全環境(通学路の安全など)の整備」、「道路整備」、「上水道整備」などとなっています。

### ② つくば市のイメージ

現在のつくば市のイメージは、「科学技術のまち」(70.8%)が最も多く、次いで「自然環境と都市環境が調和したまち」(50.7%)、「国際交流が盛んなまち」(25.0%)、「教育のまち」(23.0%)となっています。また、今後目指していくべきまちづくりについては、「防犯・防災体制の整った安全・安心なまち」(39.2%)、「生活が便利で快適なまち」(36.7%)が多くなっています。特に、20歳代~40歳代では「子育てしやすいまち」の割合が、60歳代以上では「健康増進・福祉のまち」が上位3位までに入っています。

## (5) 少子高齢化への取組について

### ① 少子化対策

つくば市には安心して子どもを生み育てられる環境が整っているかについては、「そう思う」(10.4%)と「どちらかといえばそう思う」(43.4%)を合わせて53.8%となっており、前回調査(56.8%)と比較して3ポイント減少しています。子育てに関して不足しているものについては、「子育て世帯への経済的支援」(28.2%)が最も多くなっており、次いで「産

婦人科・小児科医」(19.2%)、「夜間・休日・病後時の保育」(12.0%)などとなっています。

## ② 高齢者福祉

つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っているかについては、「そう思わない」(11.5%)と「どちらかといえばそう思わない」(27.2%)を合わせて38.7%となっており、「そう思う」(4.7%)と「どちらかといえばそう思う」(25.3%)を合わせた30%を上回っています。高齢者福祉に関して不足しているものについては、「送迎・買い物など日常生活支援」(36.2%)、「地域で高齢者を支える仕組み」(15.7%)が最も多くなっています。

## (6) 公共交通について

### ① 市内の公共交通

市内の公共交通については、「不満」(23.8%)と「どちらかといえば不満」(33.5%)を合わせて57.3%となっています。特に、荃崎地区では「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせて66.3%となっています。公共交通に不満である理由としては、「運行本数」(36.2%)が最も多く、次いで「路線」(21.5%)となっています。

### ② 日常利用する交通手段

日常利用する交通手段については、「自家用車」(86.0%)が最も多く、次いで「自転車」(28.6%)、「鉄道」(26.9%)となっています。

## (7) 中心地区の活性化について

### ① つくばセンター地区(つくば駅周辺)への来訪

つくばセンター地区を訪れる頻度については、「月1, 2回程度」(31.5%)が最も多く、次いで「年数回程度」(24.6%)となっています。つくばセンター地区を訪れる目的は、「日常の用事」(47.0%)が最も多く、次いで「娯楽」(16.7%)、「移動・乗り換え」(15.2%)となっています。

### ② つくばセンター地区の活性化策

にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取り組みは、「駐車場の拡充」(17.5%)が最も多く、次いで「公共交通でのアクセスの向上」(13.1%)、「商業施設の誘致」(11.1%)などの多様な取組が求められています。

## (8) その他の取組について

### ① 国際都市

「国際都市」としてつくば市が取り組むべきことについては、「学校での国際教育」(44.3%)が最も多く、「外国人と交流する機会の提供」(41.6%)、「海外の芸術・文化・芸能公演」(31.3%)となっています。

### ② 科学技術

科学技術振興のためにつくば市が取り組むべきことについては、「子どもへの科学教育」(45.6%)が最も多く、次いで「研究活動の支援」(33.7%)、「イベント・講演会」(29.0%)となっています。

### ③ 平成25年度つくば市が重点的に進めている事業

つくば市が平成25年度に重点的に進めている事業で知っているものについては、「つくバス・つくタクの運行」(62.2%)が最も多く、次いで「ロボットの街つくば」(59.6%)、「小児医療福祉費支給制度(マル福)の対象年齢拡充」(30.5%)となっています。

### ④ コンビニエンスストアでの証明書交付サービス

コンビニエンスストアでの証明書交付サービスについては、知っている人の割合は54.4%となっていますが、「知っていて、利用したことがある」はわずか1.7%にとどまり、「知っているが、利用したことがない」(52.7%)が最も多くなっています。また、「知らなかった」は42.5%となっているため、サービスの更なる周知と利用促進を図る必要があることがうかがえます。

## 2 あなた自身のことについて（回答者の属性）

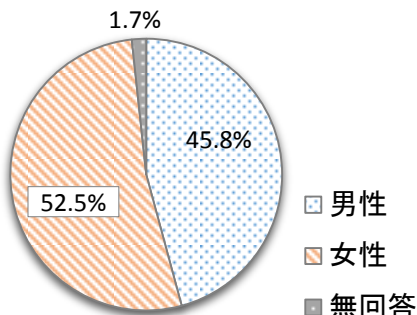
1 あなたの性別を教えてください。

<〇は1つ>

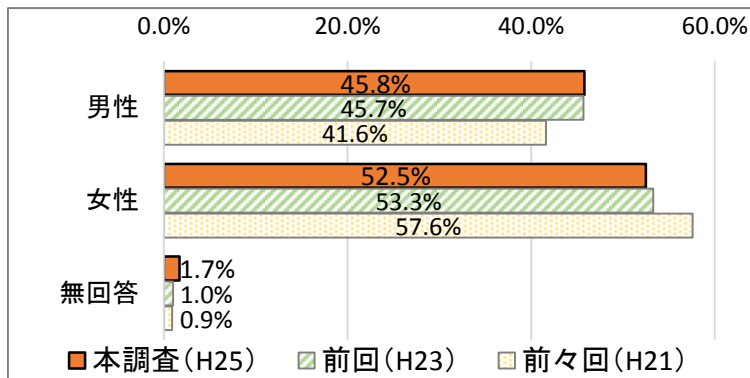
### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査（H25）		前回（H23）	前々回（H21）
	回答数	構成比	構成比	構成比
男性	603	45.8%	45.7%	41.6%
女性	692	52.5%	53.3%	57.6%
無回答	23	1.7%	1.0%	0.9%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

#### <本調査での構成比>



#### <過年度調査との比較>



- 「男性」が45.8%、「女性」が52.5%となっています。
- 前回調査と比べると、「女性」は約1ポイント減少しています。

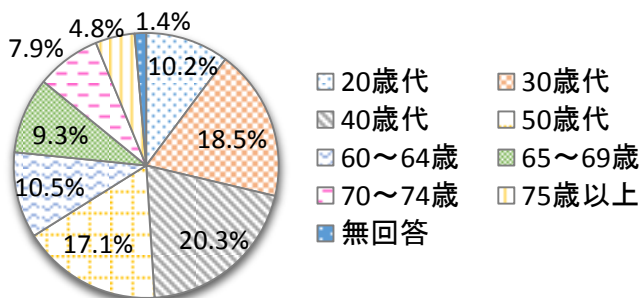
2 あなたの年齢を教えてください。

<〇は1つ>

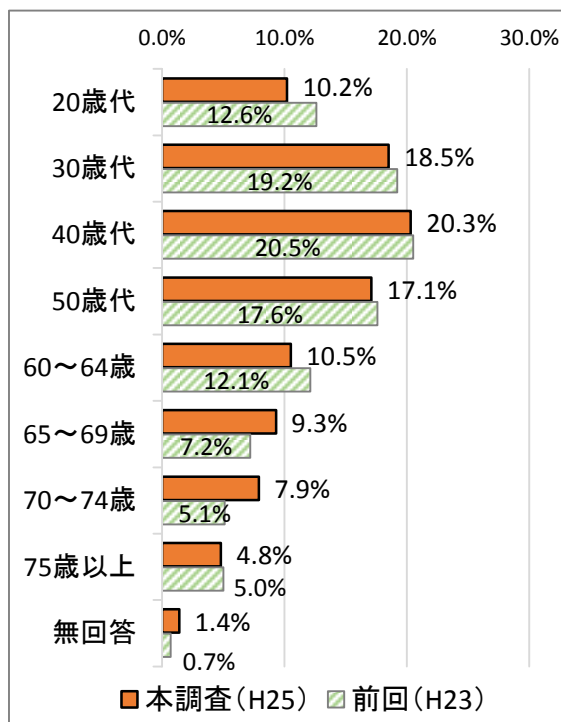
### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査（H25）		前回（H23）
	回答数	構成比	構成比
20歳代	135	10.2%	12.6%
30歳代	244	18.5%	19.2%
40歳代	267	20.3%	20.5%
50歳代	226	17.1%	17.6%
60～64歳	138	10.5%	12.1%
65～69歳	122	9.3%	7.2%
70～74歳	104	7.9%	5.1%
75歳以上	63	4.8%	5.0%
無回答	19	1.4%	0.7%
合計	1,318	100.0%	100.0%

#### <本調査での構成比>



#### <過年度調査との比較>



- 「40歳代」が20.3%と最も多く、次いで「30歳代」が18.5%となっています。
- 前回調査と比べると「70歳～74歳」が約3ポイント増加し、「20歳代」が約2ポイント減少しています。

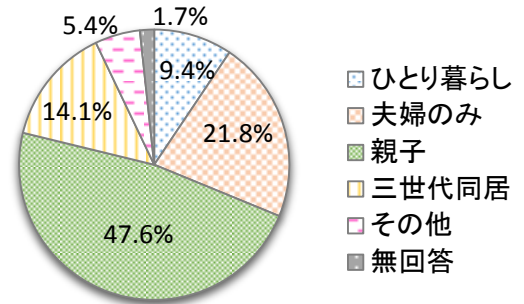
3 あなたの世帯構成を教えてください。

<○は1つ>

① 全体集計の結果と傾向

<本調査での構成比>

選択肢	本調査 (H25)	
	回答数	構成比
ひとり暮らし	124	9.4%
夫婦のみ	287	21.8%
親子	627	47.6%
三世帯同居	186	14.1%
その他	71	5.4%
無回答	23	1.7%
合計	1,318	100.0%



※本調査で新たに追加した設問です。

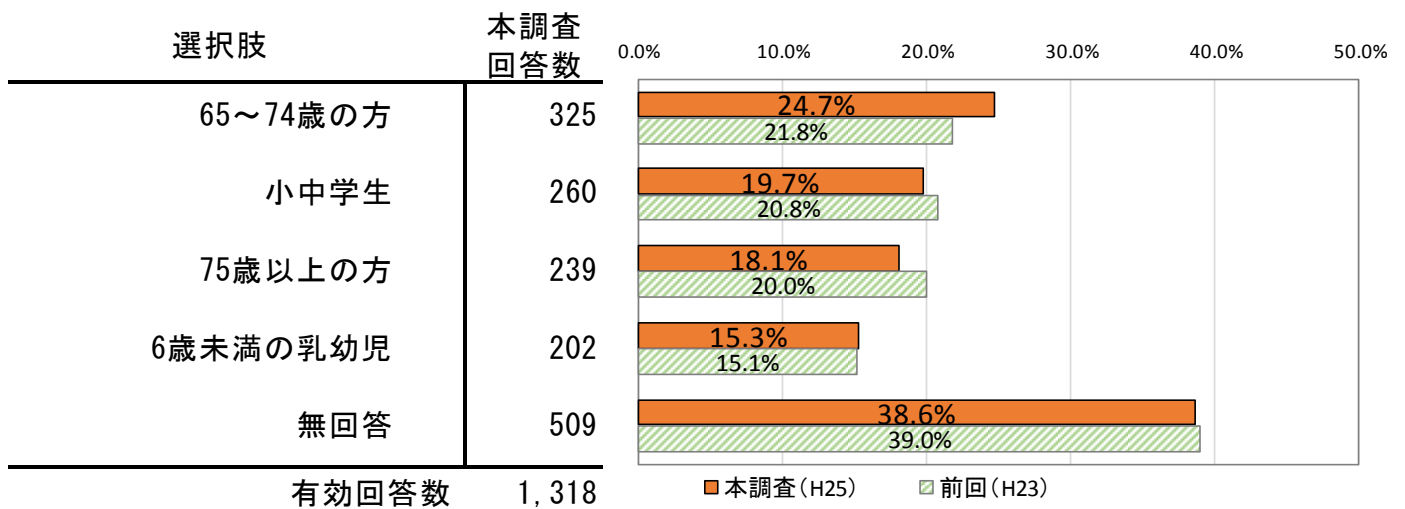
- 「親子」の世帯構成が47.6%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が21.8%となっています。
- 「ひとり暮らし」は、「その他」、「無回答」を除けば最も少なく、9.4%となっています。

4 あなたの世帯（あなた自身も含めて）には、次に当てはまる方はいますか。

<○は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果と傾向

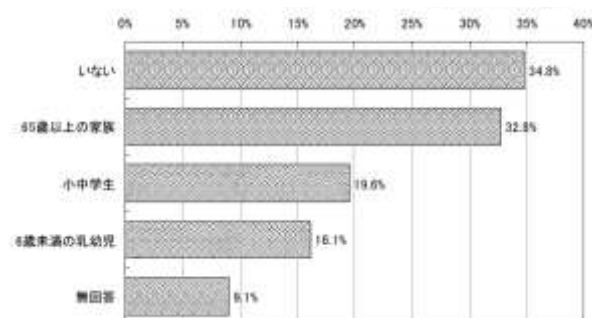
<本調査と過年度調査との構成比>



- 「65～74歳の方」がいる世帯が24.7%となっており、前回調査と比較して約3ポイント増加しています。
- 「6歳未満の乳幼児」、「小中学生」がいる世帯は、ほぼ横ばいの状態です。

<<前々回 (H21) 調査の結果>>

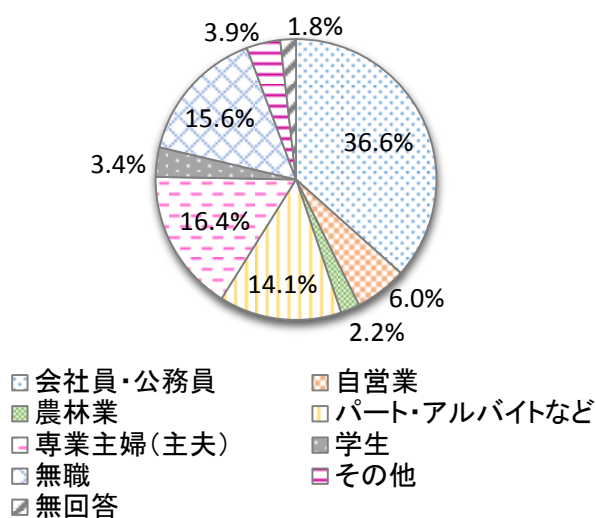
- 「65歳以上の家族」がいる世帯が32.8%、「小中学生」がいる世帯が19.6%などとなっています。
- ※前々回調査では、「いない」という選択肢が含まれています。また、回答者自身を含めない回答となっています。



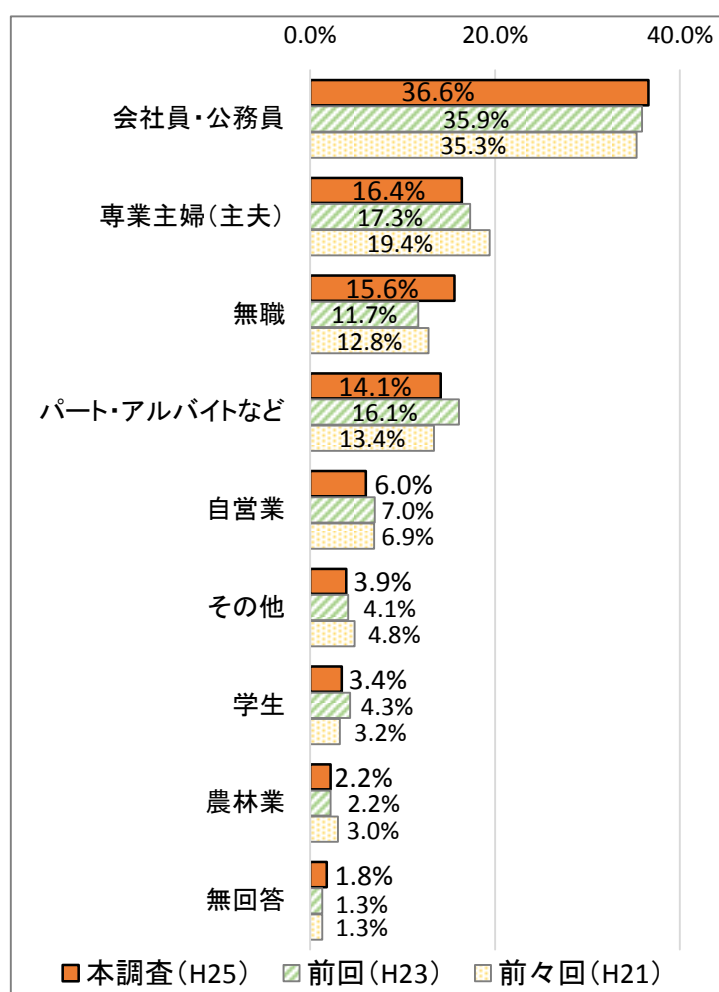
## ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査（H25）		前回（H23）	前々回（H21）
	回答数	構成比	構成比	構成比
会社員・公務員	482	36.6%	35.9%	35.3%
自営業	79	6.0%	7.0%	6.9%
農林業	29	2.2%	2.2%	3.0%
パート・アルバイトなど	186	14.1%	16.1%	13.4%
専業主婦（主夫）	216	16.4%	17.3%	19.4%
学生	45	3.4%	4.3%	3.2%
無職	205	15.6%	11.7%	12.8%
その他	52	3.9%	4.1%	4.8%
無回答	24	1.8%	1.3%	1.3%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

## &lt;本調査での構成比&gt;



## &lt;過年度調査との比較&gt;

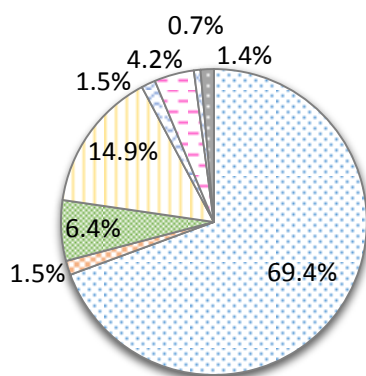


- 「会社員・公務員」が36.6%と最も多く、次いで「専業主婦（主夫）」が、16.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「無職」が約4ポイント増加し、「パート・アルバイト」が2ポイント減少しています。
- 「その他」は、「大学職員・団体職員」、「自由業」などとなっています。

## ① 全体集計の結果と傾向

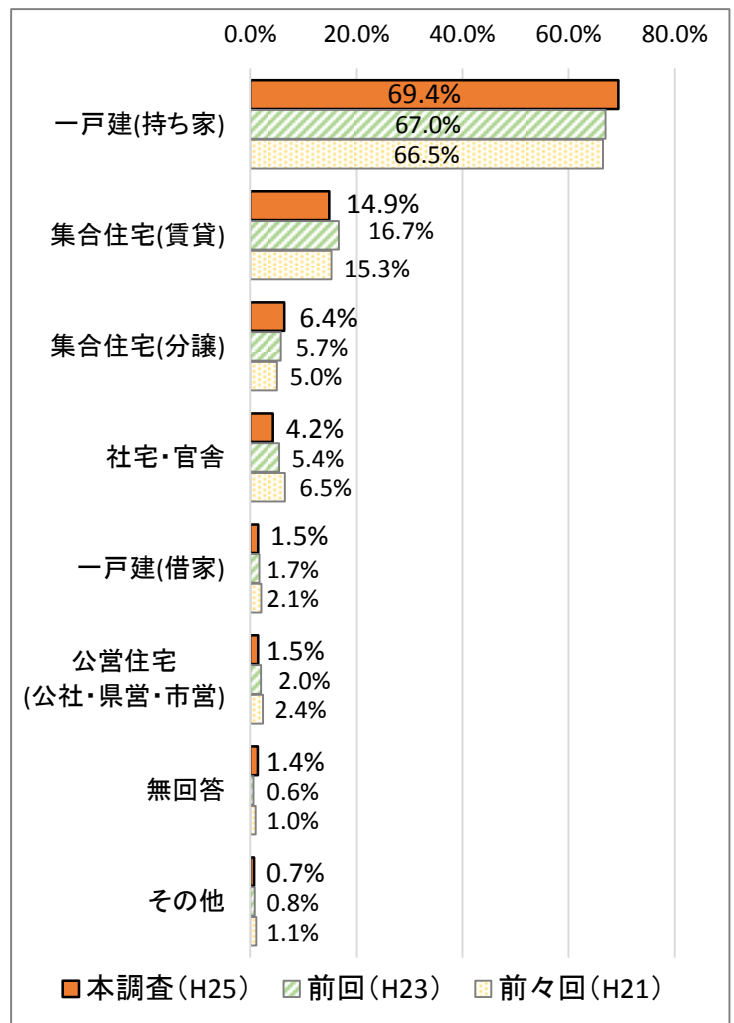
選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
一戸建(持ち家)	915	69.4%	67.0%	66.5%
一戸建(借家)	20	1.5%	1.7%	2.1%
集合住宅(分譲)	84	6.4%	5.7%	5.0%
集合住宅(賃貸)	196	14.9%	16.7%	15.3%
公営住宅(公社・県営・市営)	20	1.5%	2.0%	2.4%
社宅・官舎	56	4.2%	5.4%	6.5%
その他	9	0.7%	0.8%	1.1%
無回答	18	1.4%	0.6%	1.0%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

&lt;本調査での構成比&gt;



- 一戸建(持ち家)
- 集合住宅(分譲)
- 公営住宅(公社・県営・市営)
- その他
- 一戸建(借家)
- 集合住宅(賃貸)
- 社宅・官舎
- 無回答

&lt;過年度調査との比較&gt;

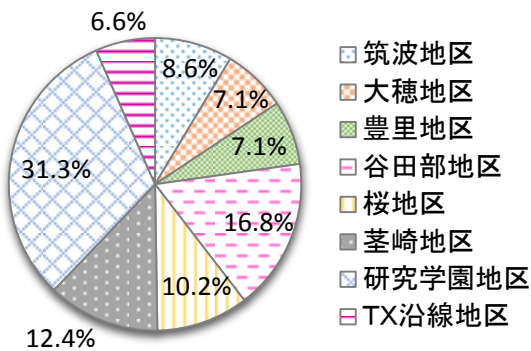


- 「一戸建(持ち家)」が69.4%と最も多く、次いで「集合住宅(賃貸)」が14.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「一戸建(持ち家)」が約2ポイント増加し、「集合住宅(賃貸)」は約2ポイント減少しています。

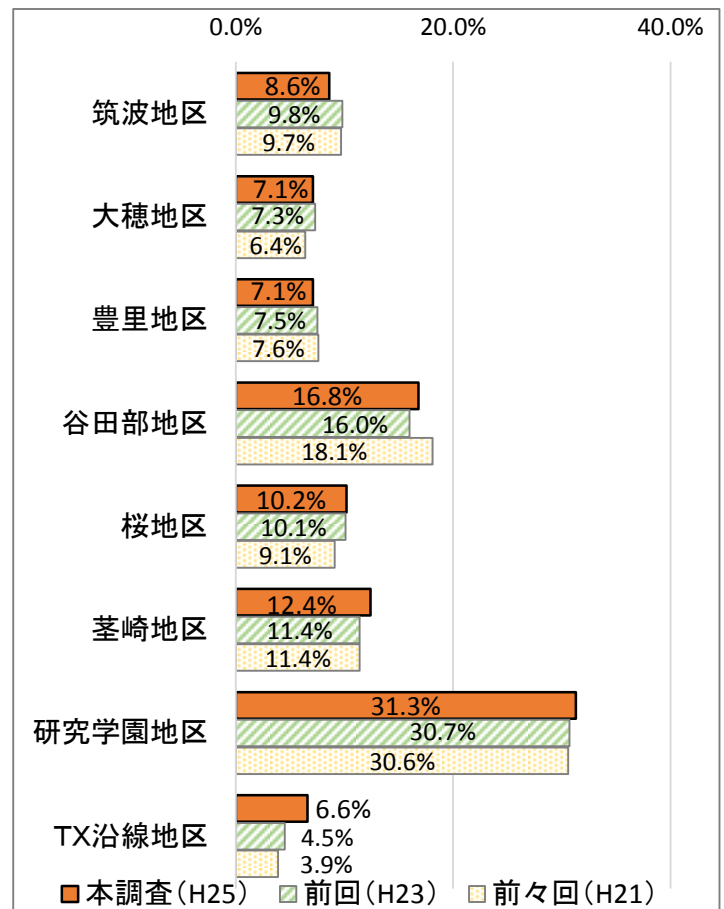
## ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
筑波地区	113	8.6%	9.8%	9.7%
大穂地区	93	7.1%	7.3%	6.4%
豊里地区	93	7.1%	7.5%	7.6%
谷田部地区	222	16.8%	16.0%	18.1%
桜地区	134	10.2%	10.1%	9.1%
荃崎地区	163	12.4%	11.4%	11.4%
研究学園地区	413	31.3%	30.7%	30.6%
T X 沿線地区	87	6.6%	4.5%	3.9%
無回答	-	-	2.7%	3.3%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

## ＜本調査での構成比＞



## ＜過年度調査との比較＞



- 「研究学園地区」が31.3%と最も多く、次いで「谷田部地区」が16.8%となっています。
- 前回調査と比べると、「T X 沿線地区」が約2ポイント、「荃崎地区」が1ポイント増加し、「筑波地区」は1ポイント減少しています。

## — 地区の分類について —

- ・ 研究学園地区とT X 沿線地区に分類した地域以外の地区については、合併前の旧町村単位で分類しています。
- ・ 研究学園地区に分類した地域は、下記のとおりです。  
春日、東新井、二の宮、小野川、松代、観音台、東、稲荷前、高野台、天王台、天久保、吾妻、竹園、千現、並木、梅園、花畑、牧園、若葉
- ・ T X 沿線地区に分類した地域は、下記のとおりです。  
研究学園、学園南、学園の森、香取台、諏訪、陣場、みどりの中央、みどりの、みどりの南、みどりの東、かみかわ、高山、万博公園西、春風台



### 3 現在の住環境について

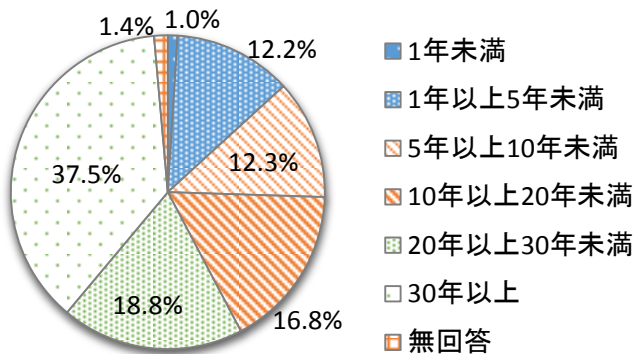
問1 あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。  
※合併前の旧市町村も含めてお答えください。

<〇は1つ>

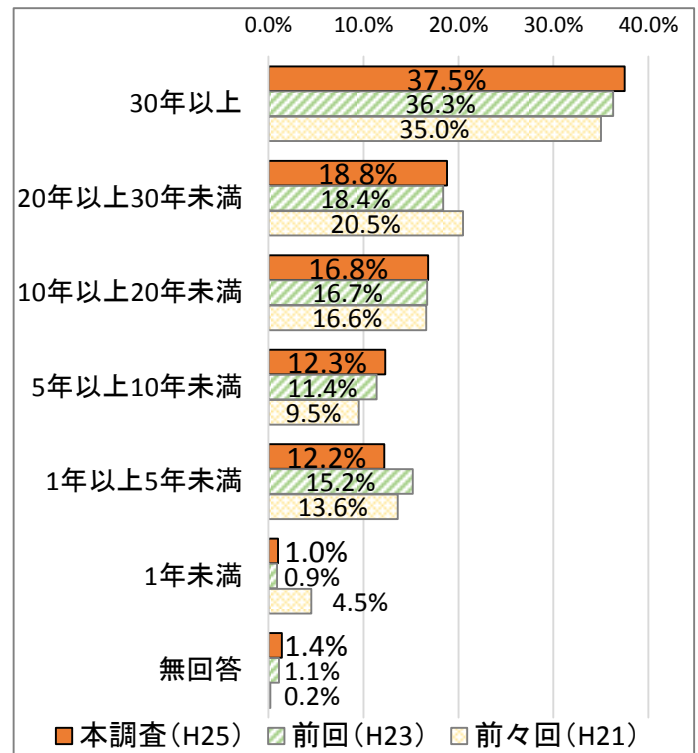
#### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
1年未満	13	1.0%	0.9%	4.5%
1年以上5年未満	161	12.2%	15.2%	13.6%
5年以上10年未満	162	12.3%	11.4%	9.5%
10年以上20年未満	222	16.8%	16.7%	16.6%
20年以上30年未満	248	18.8%	18.4%	20.5%
30年以上	494	37.5%	36.3%	35.0%
無回答	18	1.4%	1.1%	0.2%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



<過年度調査との比較>

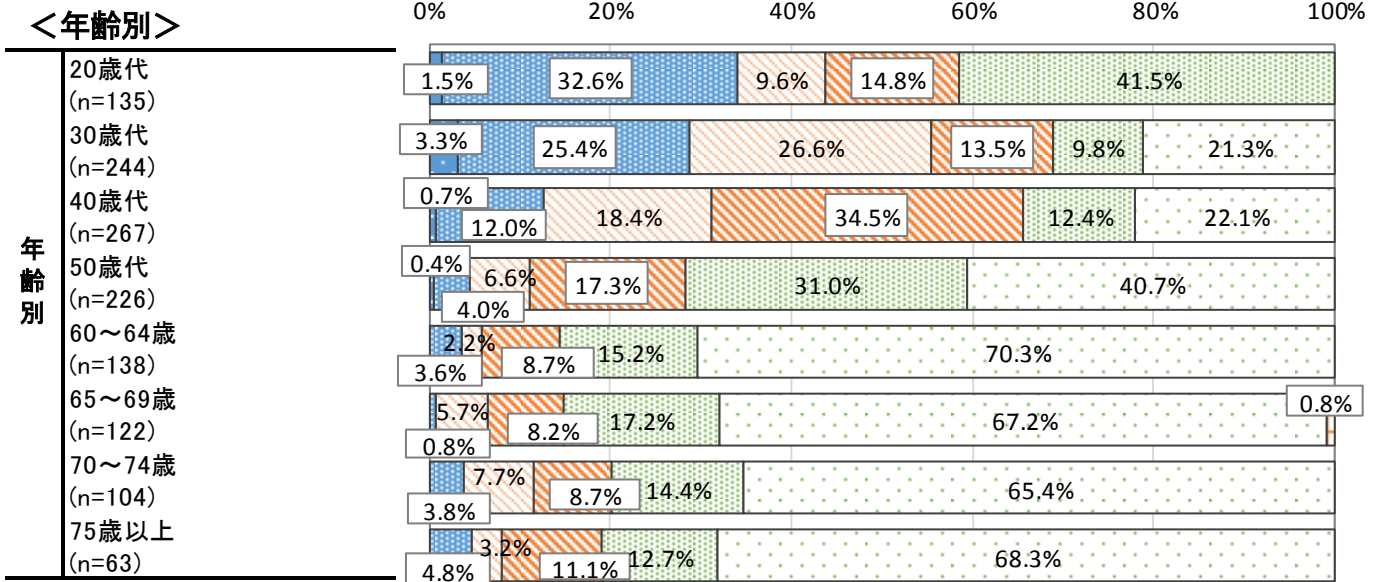


#### 《全体の傾向》

- 「30年以上」が37.5%と最も多く、次いで「20年以上30年未満」が18.8%となっており、居住歴が20年以上である割合は50%を超えています。
- 前回調査と比べると、「5年以上10年未満」、「30年以上」が約1ポイント増加し、「1年以上5年未満」は3ポイント減少しています。

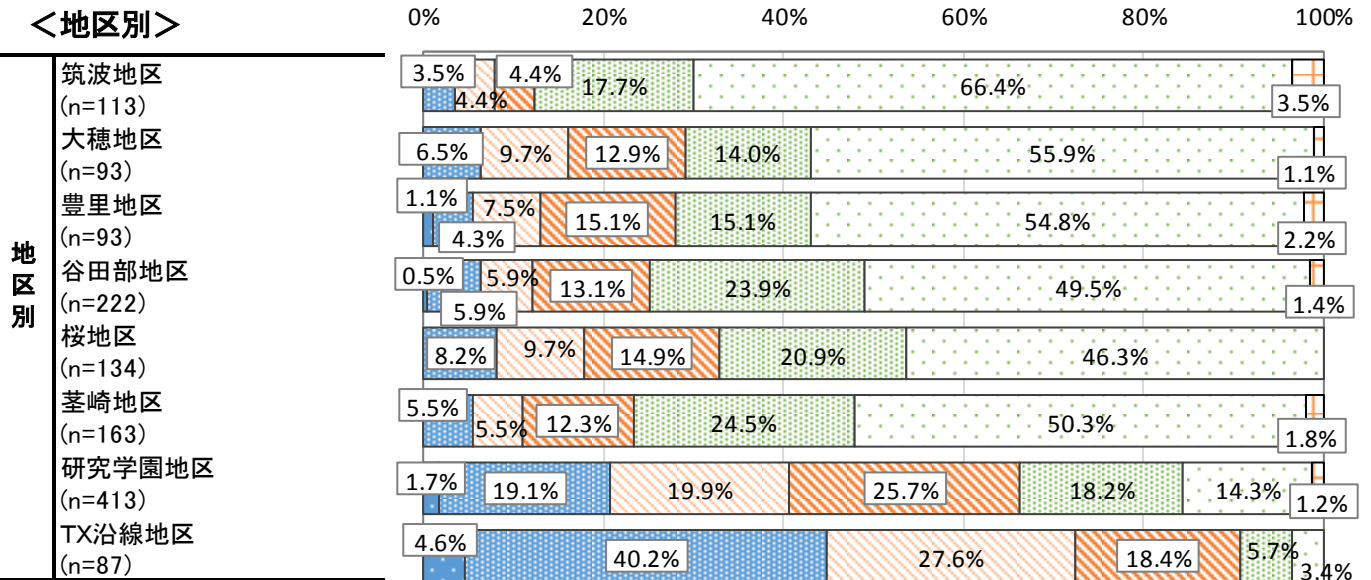


②-1 クロス集計の結果（居住年数と年齢別・地区別）



＜年齢別の傾向＞

●年齢が高くなるにつれ、住んでからの年数が長くなる傾向がみられます。



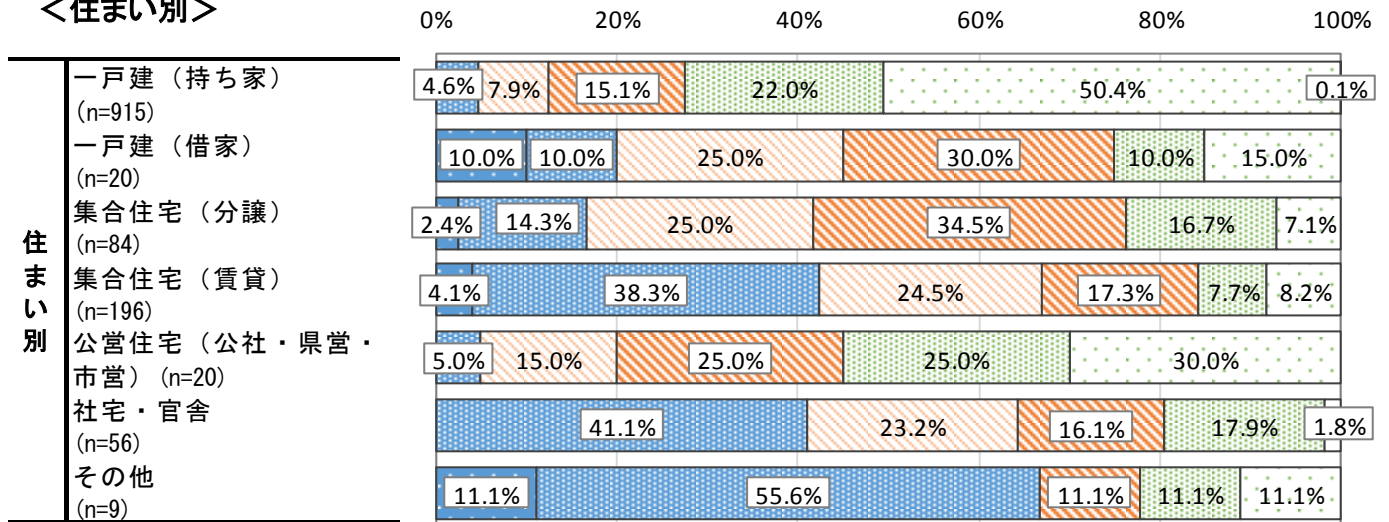
＜地区別の傾向＞

- 居住歴が20年未満である割合は、研究学園地区で60%、TX沿線地区では90%を超えています。
- 研究学園地区とTX沿線地区以外の地区では、居住歴が20年以上である割合が高く、いずれも60%を超えています。
- 筑波地区では、「30年以上」が65%を超えています。

## ②-2 クロス集計の結果（居住年数と住まい別）



### <住まい別>



### 《住まい別の傾向》

- 居住歴が20年以上である割合は、一戸建（持ち家）が70%以上、公営住宅（公社・県営・市営）で50%以上となっています。
- 一戸建（持ち家）、公営住宅（公社・県営・市営）以外では、すべて居住歴が20年未満である割合が70%以上となっています。
- 社宅・官舎、集合住宅（賃貸）では、「1年以上5年未満」が最も多くなっています。

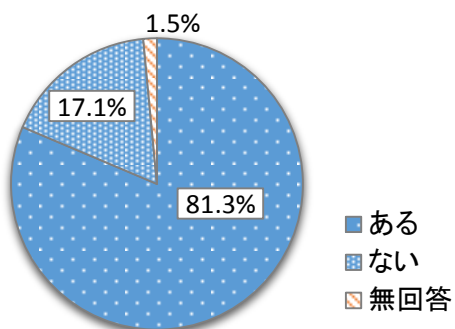
問2 あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。

<○は1つ>

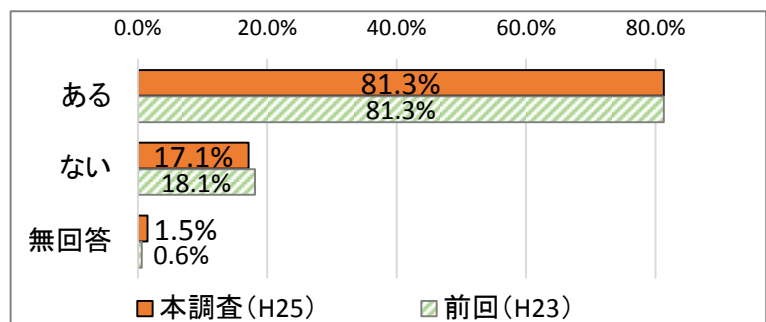
### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)
	回答数	構成比	構成比
ある	1,072	81.3%	81.3%
ない	226	17.1%	18.1%
無回答	20	1.5%	0.6%
合計	1,318	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



<過年度調査との比較>



#### 《全体の傾向》

- 「ある」が81.3%、「ない」が17.1%となっています。
- 前回調査と比べると、「ない」が約1ポイント減少しています。

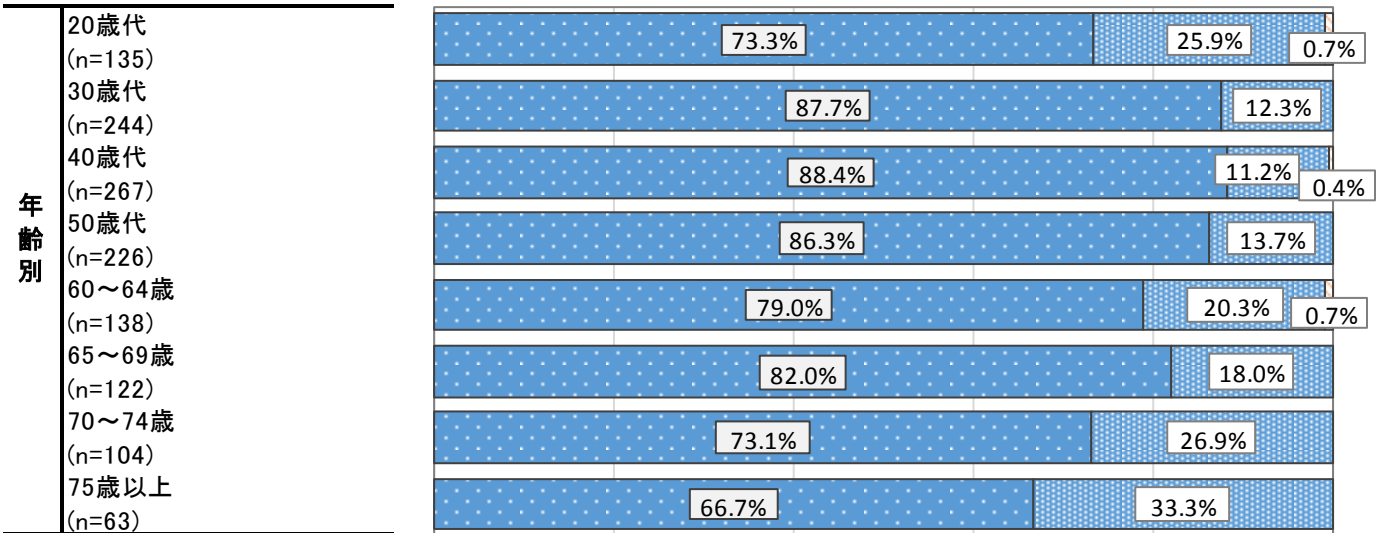
② クロス集計の結果（つくば市以外の居住経験と年齢別・地区別）

ある                      ない                      無回答



<年齢別>

0%                      20%                      40%                      60%                      80%                      100%

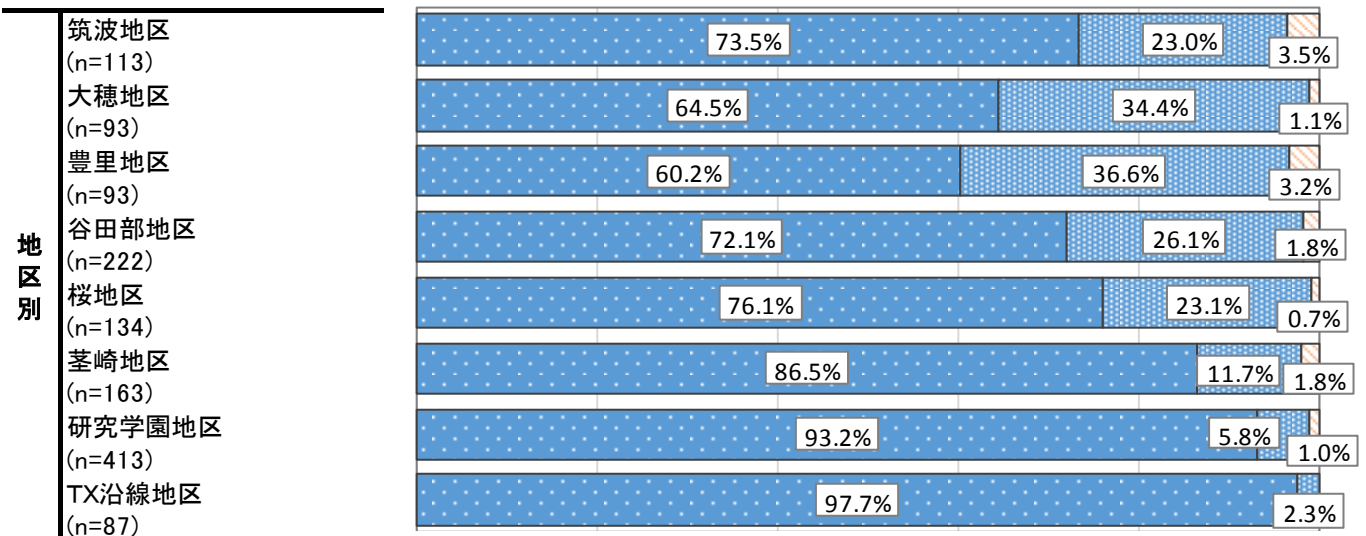


《年齢別の傾向》

- すべての年齢で、「ある」が60%を超えています。
- 30歳代～50歳代では、「ある」が85%を超えています。

<地区別>

0%                      20%                      40%                      60%                      80%                      100%



《地区別の傾向》

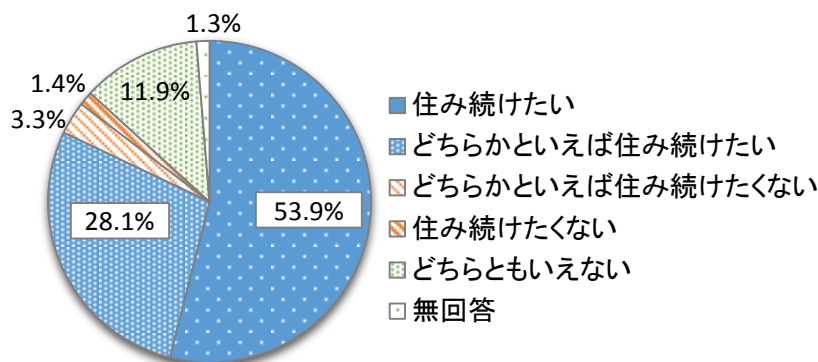
- すべての地区で、「ある」が60%を超えています。
- 研究学園地区、TX沿線地区では、「ある」が90%を超えています。
- 大穂地区、豊里地区では、「ない」が30%を超えています。

① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)	
	回答数	構成比
住み続けたい	710	53.9%
どちらかといえば住み続けたい	371	28.1%
どちらかといえば住み続けたくない	44	3.3%
住み続けたくない	19	1.4%
どちらともいえない	157	11.9%
無回答	17	1.3%
合計	1,318	100.0%

※本調査で新たに追加した設問です。

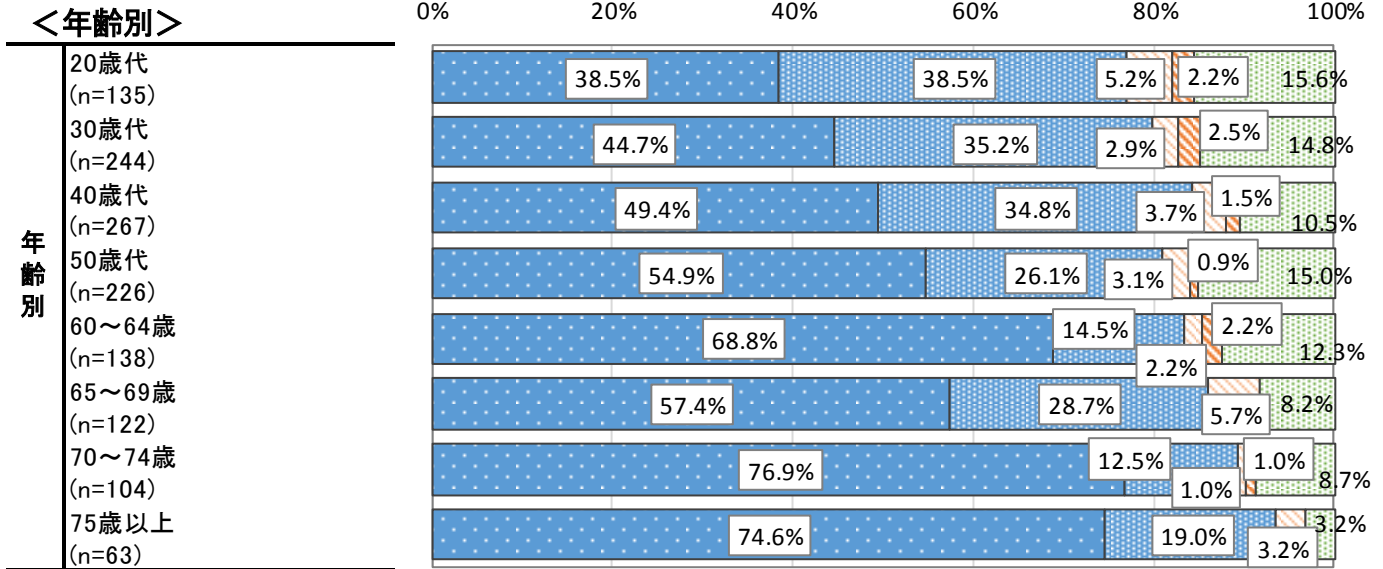
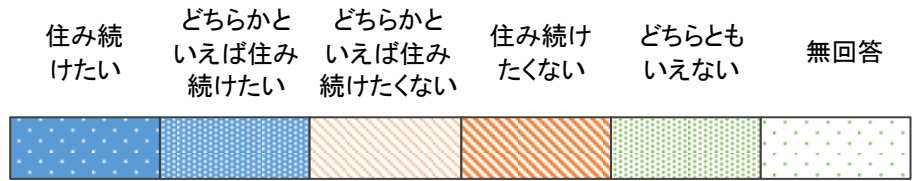
<構成比>



《全体の傾向》

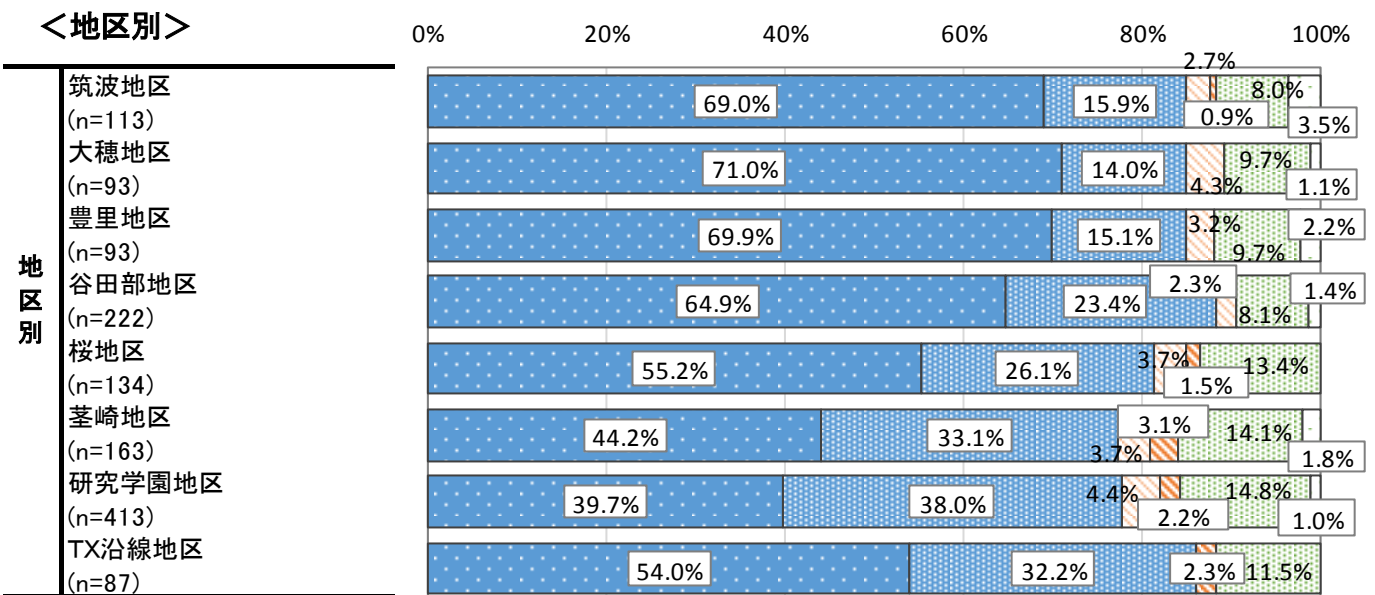
- 「住み続けたい」が53.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が28.1%となっています。
- 「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計は、82.0%、「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」の合計は、4.7%となっています。

②-1 クロス集計の結果（定住意向と年齢別・地区別）



《年齢別の傾向》

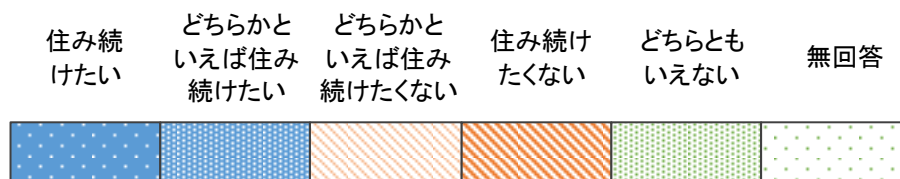
●すべての年齢で「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計が70%を超えています。



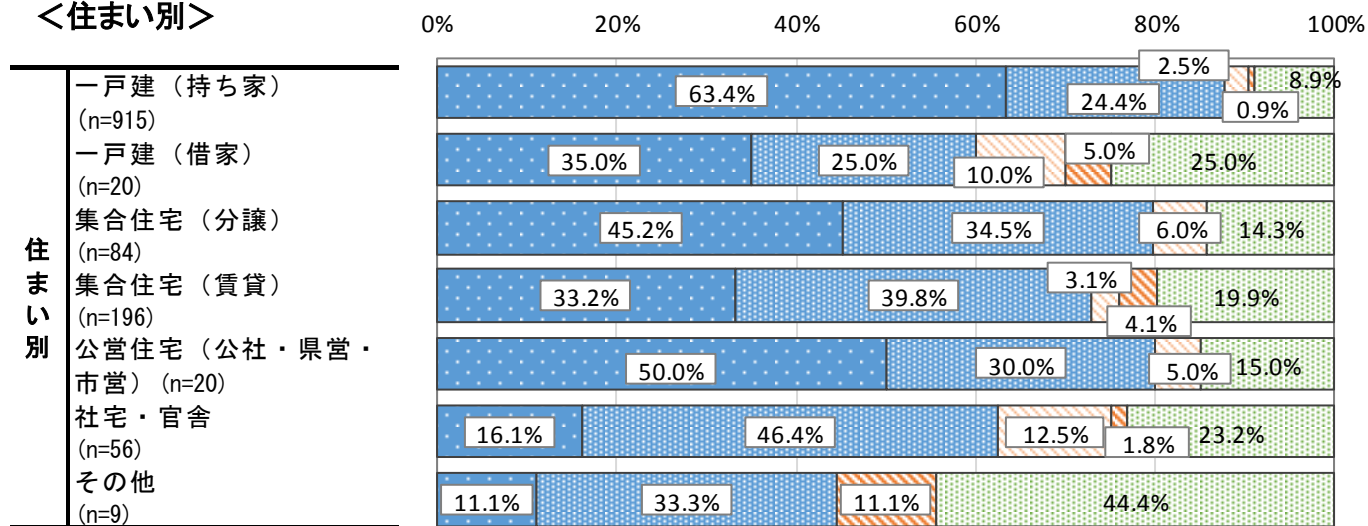
《地区別の傾向》

●すべての地区で「住み続けたい」が最も多くなっています。

## ②-2 クロス集計の結果（定住意向と住まい別）



### <住まい別>



### 《住まい別の傾向》

- 一戸建（持ち家）は、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計が85%を超えています。



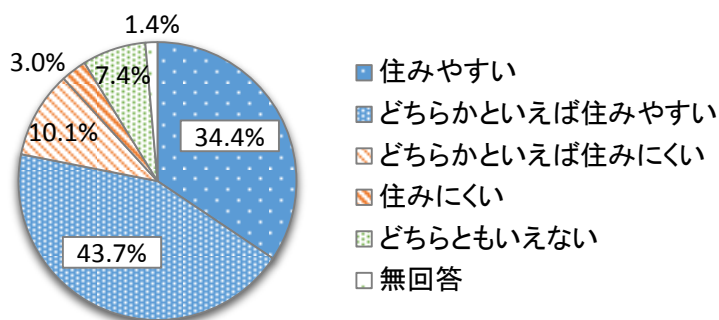
問4 あなたは、つくば市の「住み心地」についてどう感じていますか。

<〇は1つ>

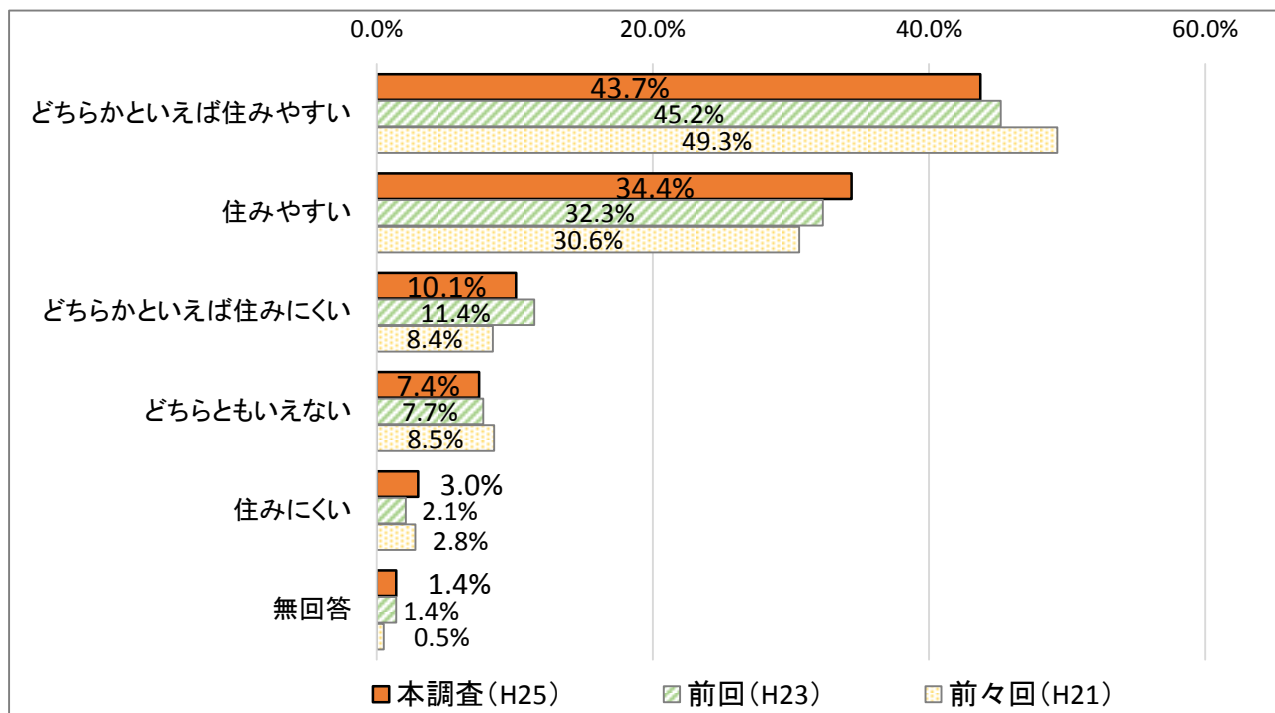
① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
住みやすい	454	34.4%	32.3%	30.6%
どちらかといえば住みやすい	576	43.7%	45.2%	49.3%
どちらかといえば住みにくい	133	10.1%	11.4%	8.4%
住みにくい	40	3.0%	2.1%	2.8%
どちらともいえない	97	7.4%	7.7%	8.5%
無回答	18	1.4%	1.4%	0.5%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



<過年度調査との比較>

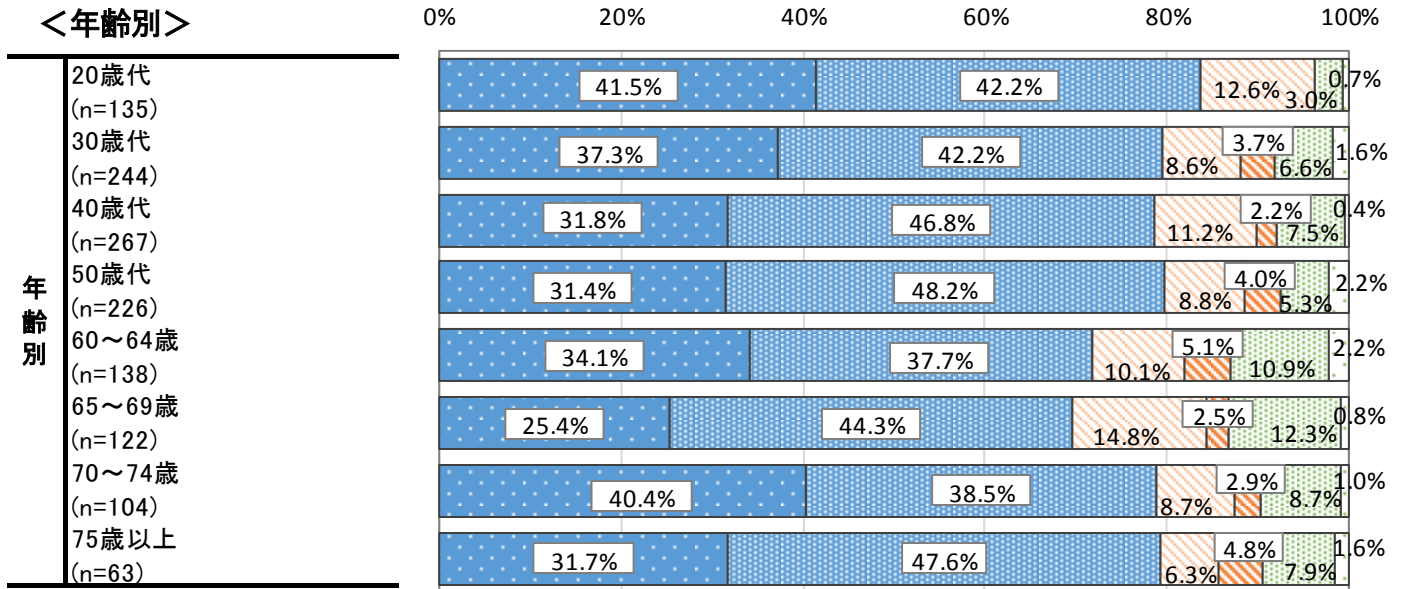
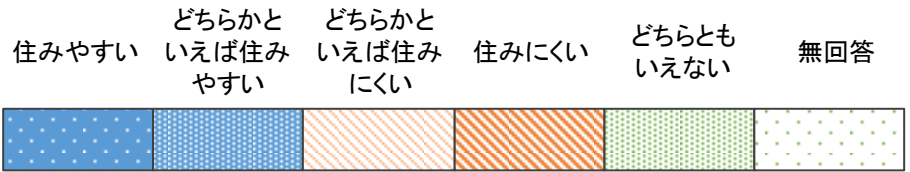


《全体の傾向》

- 「どちらかといえば住みやすい」が43.7%と最も多く、次いで「住みやすい」が34.4%となっています。
- 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計は78.1%、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計は13.1%となっています。
- 前回調査と比べると、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計は約1ポイント増加しています。

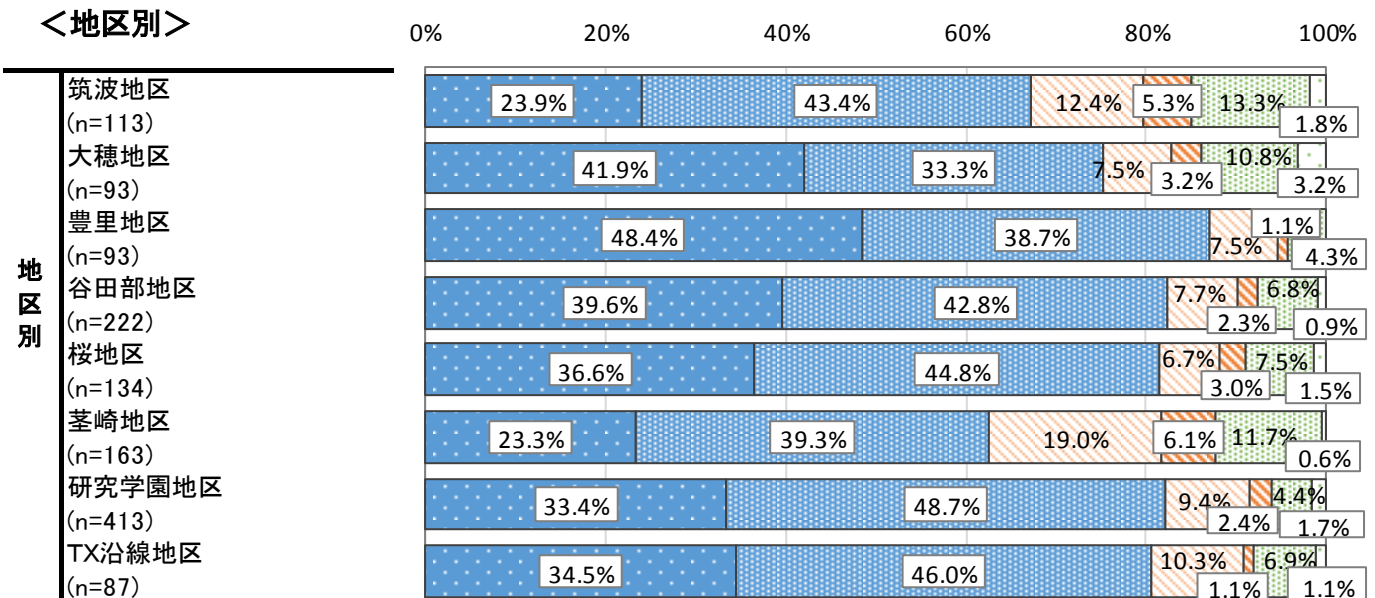


②-1 クロス集計の結果（住み心地と年齢別・地区別）



<<年齢別の傾向>>

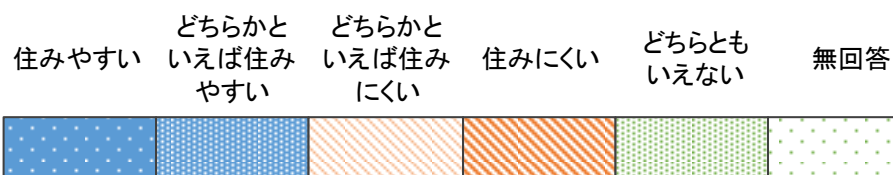
- すべての年齢で「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計が「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計より多くなっています。
- 70～74歳では、「住みやすい」が最も多くなっています。



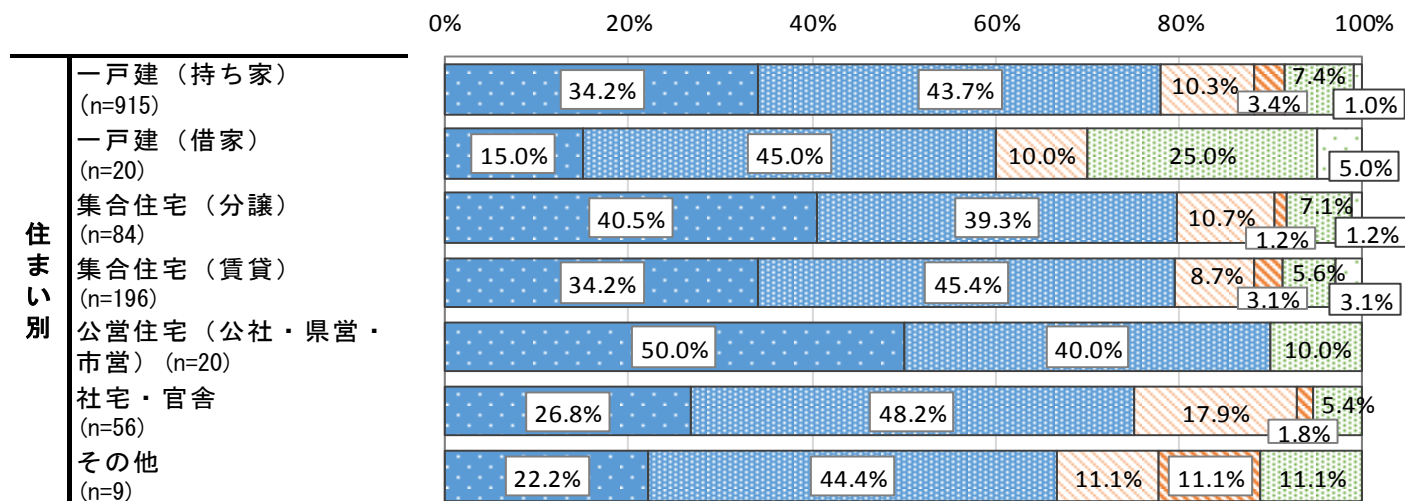
<<地区別の傾向>>

- すべての地区で「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計が「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計より多くなっています。
- 筑波地区と荃崎地区では、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計が他の地区に比べて多く、それぞれ17.7%、25.1%となっています。

## ②-2 クロス集計の結果（住み心地と住まい別）



### <住まい別>



### <<住まい別の傾向>>

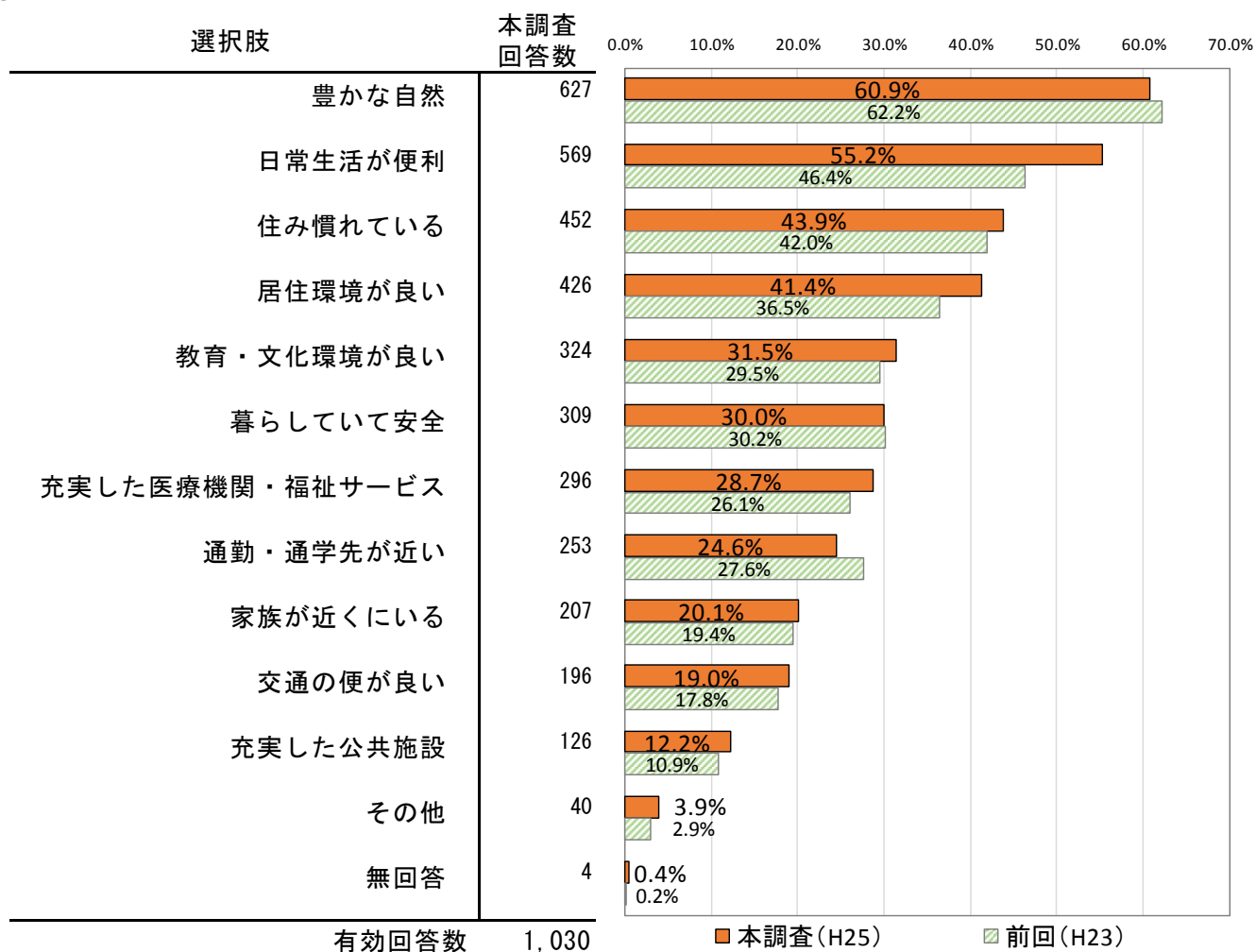
- 公営住宅（公社・県営・市営）は、「住みやすい」の割合が50%と最も多くなっています。

【問4で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】

問5 住みやすいと感じる主な理由は何ですか。

<〇は当てはまるものすべて>

### ① 全体集計の結果と傾向

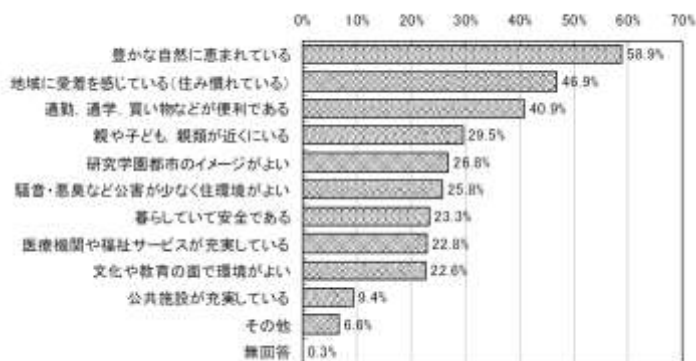


#### 《全体の傾向》

- 「豊かな自然」が60.9%と最も多く、次いで「日常生活が便利」が55.2%となっています。
- 前回調査と比べると、「日常生活が便利」は約9ポイント、「居住環境が良い」が約5ポイント増加し、「通勤・通学先が近い」は3ポイント減少しています。
- 「その他」は、「適度な田舎だから」、「東京に近い」などがあります。

#### 《前々回(H21)の調査結果》

- 「豊かな自然に恵まれている」が58.9%と最も多く、次いで「地域に愛着を感じている(住み慣れている)」が46.9%となっています。
- ※前々回調査では、「住み続けたい理由」という設問となっています。



② クロス集計の結果（住みやすいと感じる理由と年齢別・地区別構成比 上位5位）

＜年齢別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=114)	日常生活が便利		豊かな自然		住み慣れている		居住環境が良い		通勤・通学先が近い	
	63	55.3%	61	53.5%	56	49.1%	42	36.8%	37	32.5%
30歳代 (n=194)	日常生活が便利		豊かな自然		住み慣れている		通勤・通学先が近い／居住環境が良い			
	115	59.3%	113	58.2%	73	37.6%	71		36.6%	
40歳代 (n=210)	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		教育・文化環境が良い		住み慣れている	
	132	62.9%	127	60.5%	85	40.5%	83	39.5%	76	36.2%
50歳代 (n=180)	豊かな自然		日常生活が便利		住み慣れている		居住環境が良い		暮らしていて安全	
	112	62.2%	100	55.6%	86	47.8%	75	41.7%	59	32.8%
60～64歳 (n=100)	豊かな自然		住み慣れている		日常生活が便利		居住環境が良い		充実した医療機関・福祉サービス	
	61	61.0%	55	55.0%	52	52.0%	44	44.0%	43	43.0%
65～69歳 (n=85)	豊かな自然		住み慣れている		居住環境が良い		日常生活が便利		暮らしていて安全	
	55	64.7%	40	47.1%	39	45.9%	38	44.7%	35	41.2%
70～74歳 (n=82)	豊かな自然		日常生活が便利		住み慣れている／居住環境が良い				充実した医療機関・福祉サービス	
	55	67.1%	39	47.6%	38		46.3%		33	
75歳以上 (n=50)	豊かな自然		住み慣れている		居住環境が良い／充実した医療機関・福祉サービス				日常生活が便利	
	32	64.0%	25	50.0%	24		48.0%		19	

＜年齢別の傾向＞

- すべての年齢で「豊かな自然」が上位に入っています。
- 20歳代～40歳代までは「日常生活が便利」、50歳代以上は「豊かな自然」が最も多くなっています。

＜地区別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=76)	豊かな自然		住み慣れている		居住環境が良い		暮らしていて安全		充実した医療機関・福祉サービス	
	56	73.7%	48	63.2%	31	40.8%	27	35.5%	26	34.2%
大穂地区 (n=70)	住み慣れている		豊かな自然		日常生活が便利		居住環境が良い		充実した医療機関・福祉サービス	
	44	62.9%	42	60.0%	40	57.1%	28	40.0%	23	32.9%
豊里地区 (n=81)	豊かな自然		住み慣れている		日常生活が便利		充実した医療機関・福祉サービス		暮らしていて安全	
	54	66.7%	49	60.5%	41	50.6%	40	49.4%	28	34.6%
谷田部地区 (n=183)	日常生活が便利		豊かな自然		住み慣れている		居住環境が良い		充実した医療機関・福祉サービス	
	108	59.0%	100	54.6%	92	50.3%	70	38.3%	59	32.2%
桜地区 (n=109)	豊かな自然		日常生活が便利		住み慣れている		居住環境が良い		暮らしていて安全	
	69	63.3%	60	55.0%	52	47.7%	45	41.3%	34	31.2%
荃崎地区 (n=102)	豊かな自然		住み慣れている		日常生活が便利		居住環境が良い		暮らしていて安全	
	69	67.6%	51	50.0%	42	41.2%	40	39.2%	37	36.3%
研究学園地区 (n=339)	日常生活が便利		豊かな自然		教育・文化環境が良い／居住環境が良い				通勤・通学先が近い	
	211	62.2%	204	60.2%	162		47.8%		126	
TX沿線地区 (n=70)	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		教育・文化環境が良い		交通の便が良い	
	44	62.9%	33	47.1%	28	40.0%	24	34.3%	20	28.6%

＜地区別の傾向＞

- すべての地区で「豊かな自然」が上位に入っています。
- 谷田部地区、研究学園地区、TX沿線地区では「日常生活が便利」が最も多くなっています。

【問4で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」とお答えの方にお聞きします】

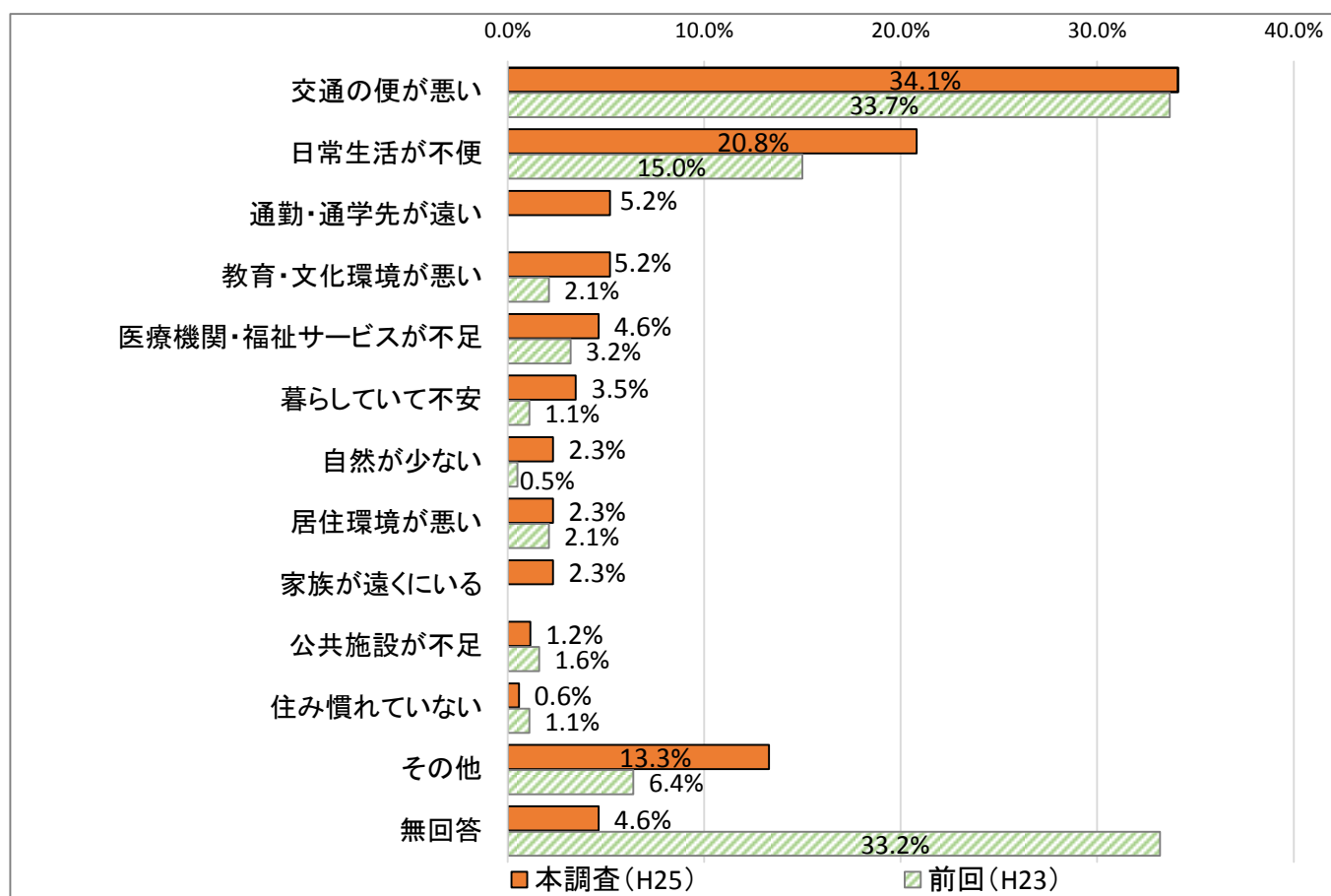
問6 住みにくいとを感じる主な理由は何ですか。

<〇は1つ>

### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)
	回答数	構成比	構成比
自然が少ない	4	2.3%	0.5%
日常生活が不便	36	20.8%	15.0%
通勤・通学先が遠い	9	5.2%	0.0%
交通の便が悪い	59	34.1%	33.7%
教育・文化環境が悪い	9	5.2%	2.1%
居住環境が悪い	4	2.3%	2.1%
医療機関・福祉サービスが不足	8	4.6%	3.2%
公共施設が不足	2	1.2%	1.6%
暮らしていて不安	6	3.5%	1.1%
家族が遠くにいる	4	2.3%	0.0%
住み慣れていない	1	0.6%	1.1%
その他	23	13.3%	6.4%
無回答	8	4.6%	33.2%
合計	173	100.0%	100.0%

### <本調査での構成比と過年度調査との比較>

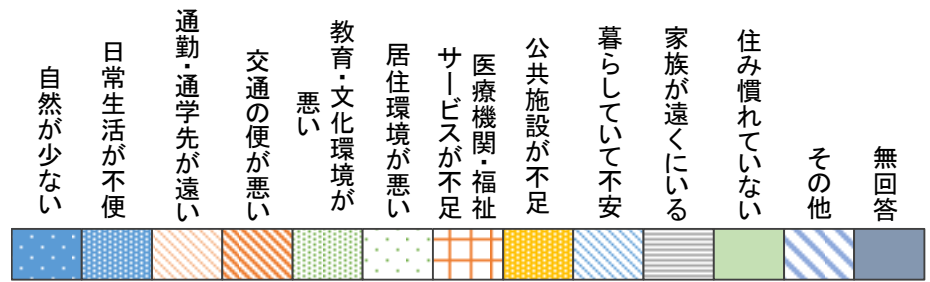


#### 《全体の傾向》

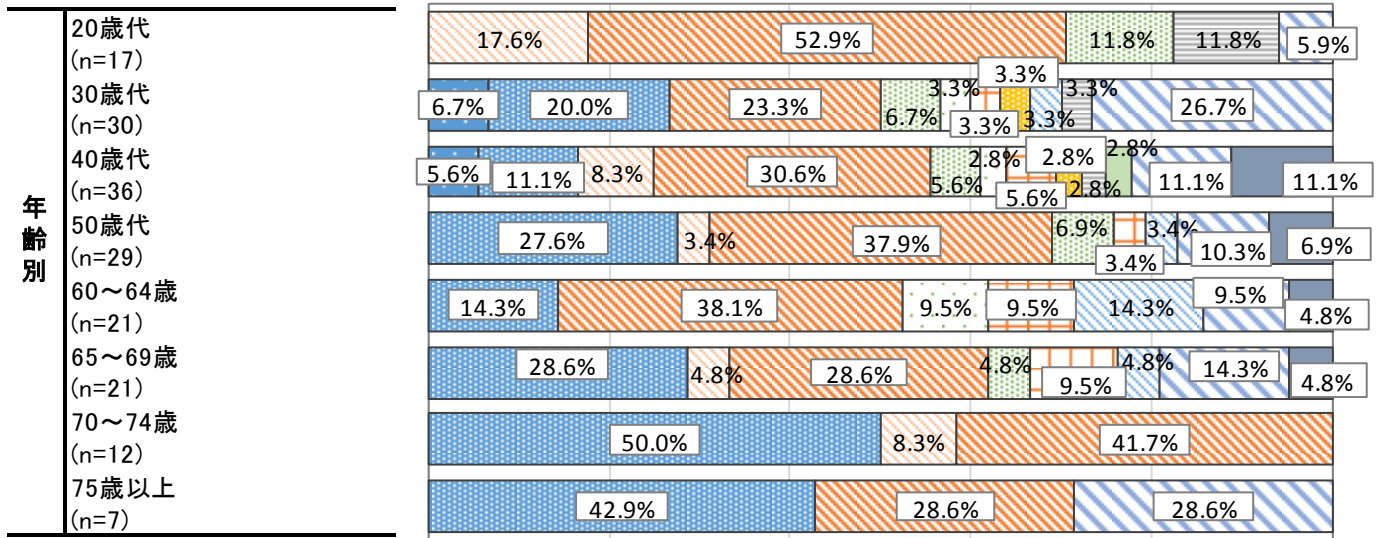
- 「交通の便が悪い」が、34.1%と最も多く、次いで「日常生活が不便」が、20.8%となっています。
- 前回調査と比べると、「通勤・通学先が遠い」が約5ポイント増加し、「日常生活が不便」が約6ポイント増加しています。
- 「その他」は、「税金が高い」、「防犯」などとなっています。



## ② クロス集計の結果（住みにくいと感じる理由と年齢別・地区別）



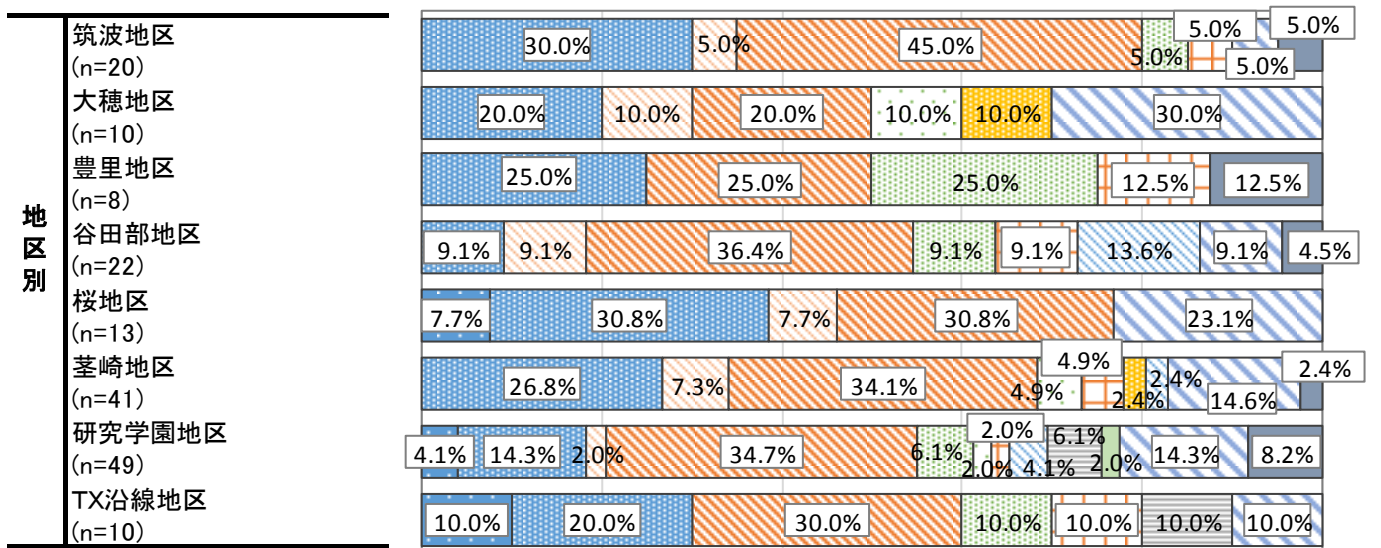
### <年齢別>



### <<年齢別の傾向>>

●20歳代は、「交通の便が悪い」の割合が50%を超えています。

### <地区別>



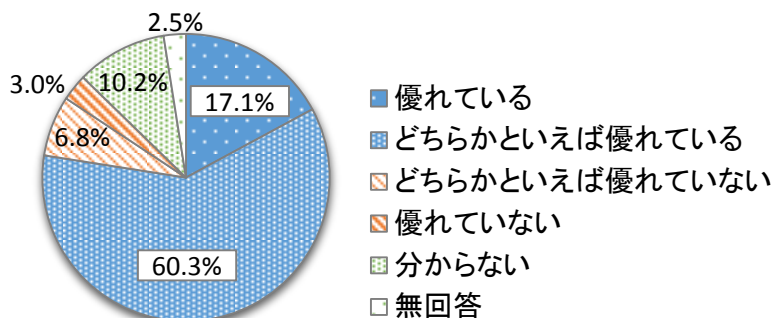
### <<地区別の傾向>>

●筑波地区, 桜地区, 荃崎地区では、「日常生活が不便」及び「交通の便が悪い」の割合が高く, 合計で60%を超えています。

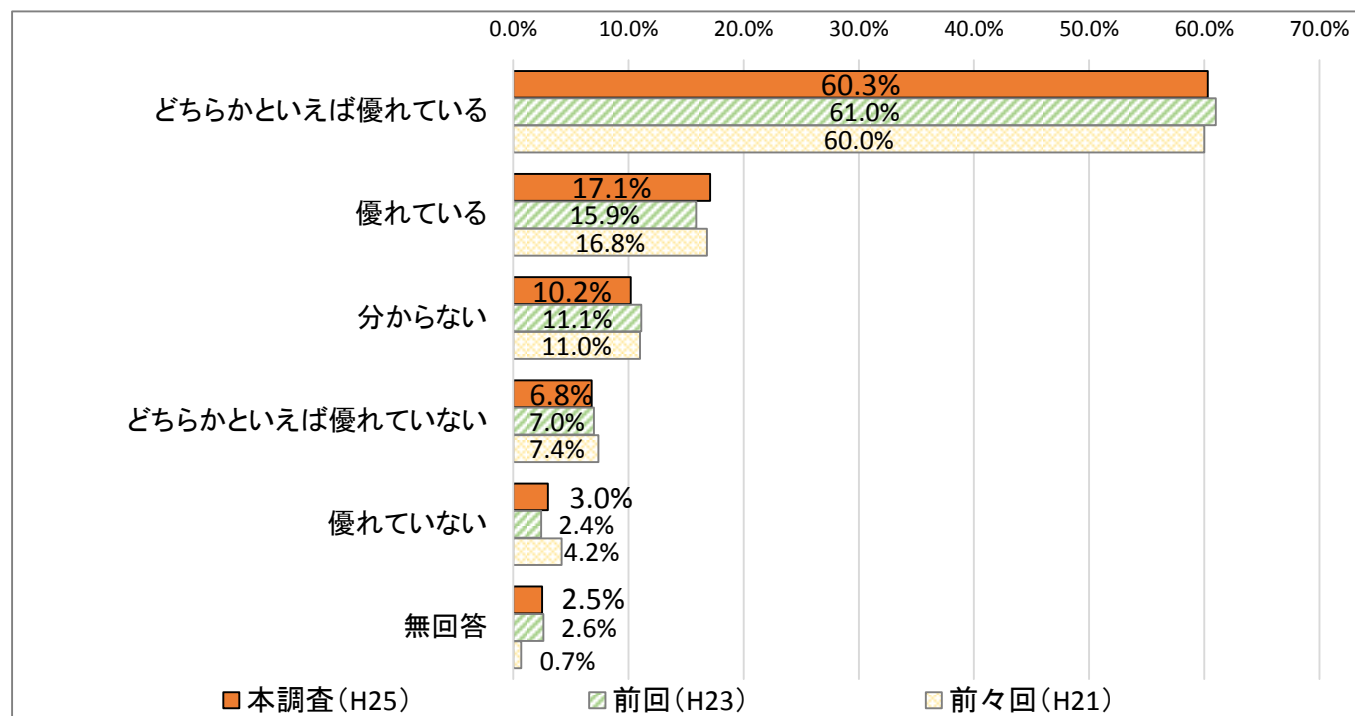
① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
優れている	225	17.1%	15.9%	16.8%
どちらかといえば優れている	795	60.3%	61.0%	60.0%
どちらかといえば優れていない	90	6.8%	7.0%	7.4%
優れていない	40	3.0%	2.4%	4.2%
分からない	135	10.2%	11.1%	11.0%
無回答	33	2.5%	2.6%	0.7%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



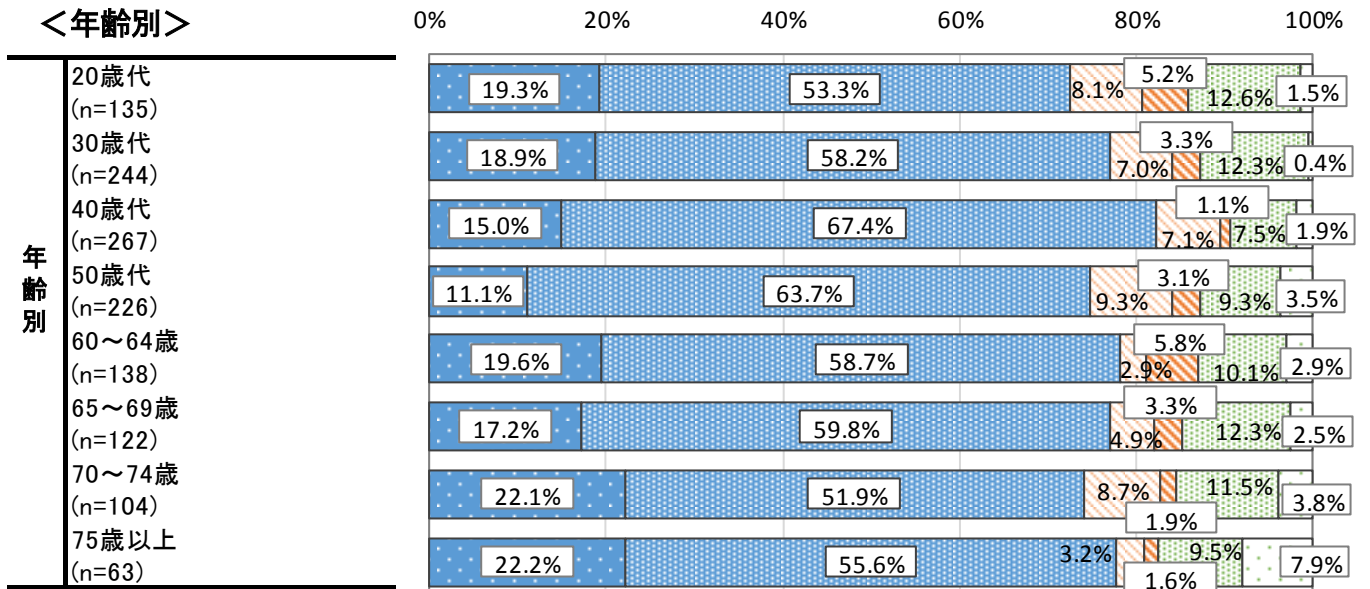
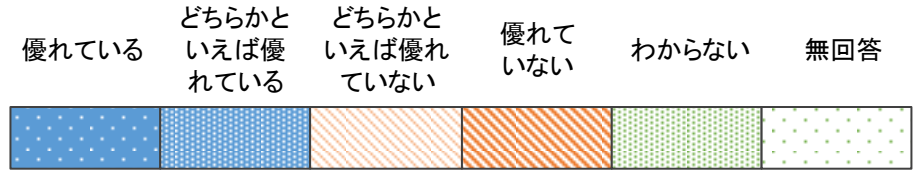
<過年度調査との比較>



《全体の傾向》

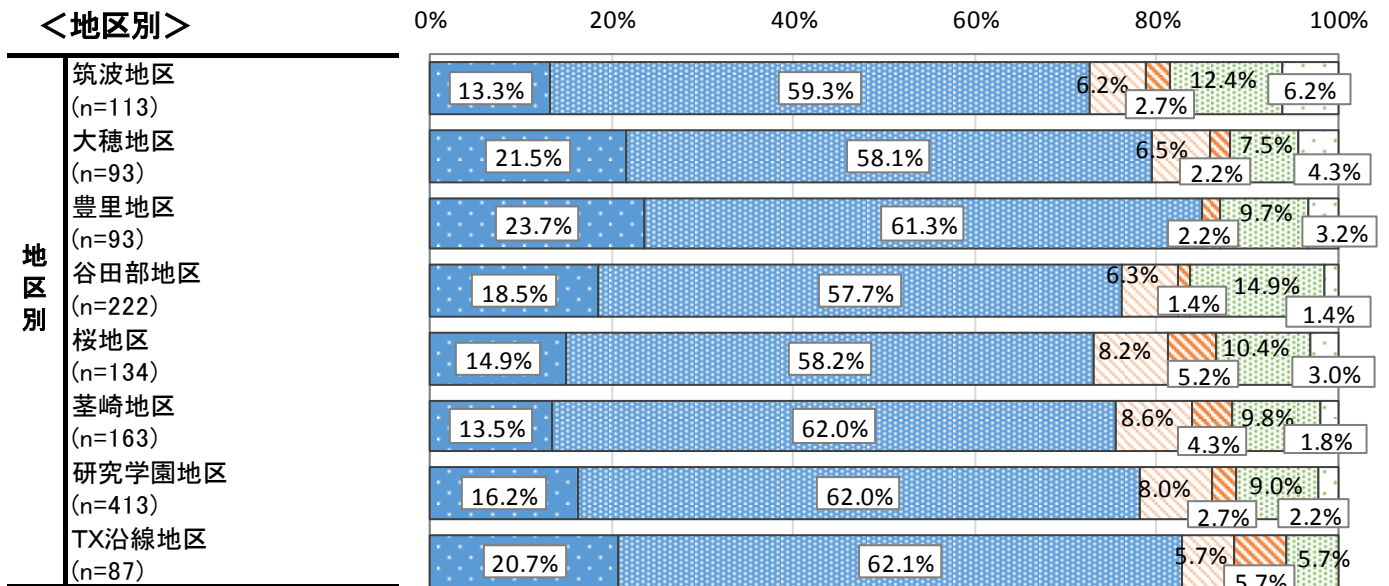
- 「どちらかといえば優れている」が60.3%と最も多く、次いで「優れている」が17.1%となっています。
- 「優れている」と「どちらかといえば優れている」の合計は77.4%、「優れていない」と「どちらかといえば優れていない」の合計は9.8%となっています。
- 前回調査と比べると、「優れている」と「どちらかといえば優れている」の合計は約1ポイント増加しています。

## ② クロス集計の結果（景観と年齢別・地区別）



### 《年齢別の傾向》

●すべての年齢で、「優れている」と「どちらかといえば優れている」の合計が70%を超えています。



### 《地区別の傾向》

●すべての地区で、「優れている」と「どちらかといえば優れている」の合計が70%を超えています。

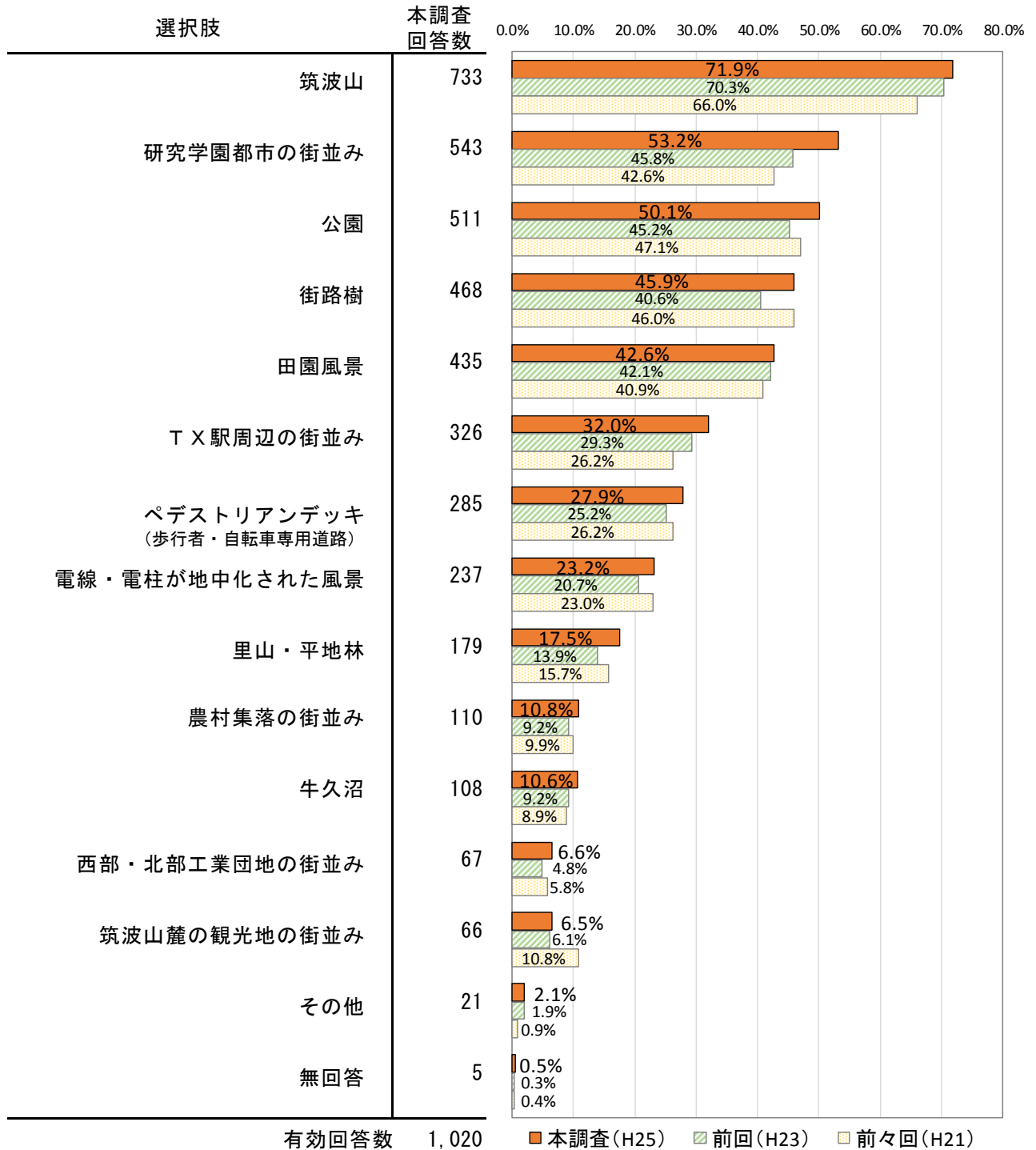


【問7で「優れている」または「どちらかといえば優れている」とお答えの方にお聞きします】

問8 優れていると感じる景観を教えてください。

<〇は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果と傾向



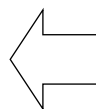
《全体の傾向》

- 「筑波山」が71.9%と最も多く、次いで「研究学園都市の街並み」が53.2%となっています。
- 前回調査と比べると、「研究学園都市の街並み」は約7ポイント、「街路樹」、「公園」は約5ポイント増加しています。

本調査と前々回調査で名称が異なる選択肢は以下のとおり

<本調査>

研究学園都市の街並み  
つくばエクスプレス駅周辺の街並み  
農村集落の街並み  
筑波山麓の観光地の街並み



<前々回調査>

研究学園地区の街並み  
つくばエクスプレス駅周辺の開発地域の街並み  
田園周辺地の集落の街並み  
筑波山や山麓の観光地の街並み

② クロス集計の結果（優れていると感じる景観と年齢別・地区別構成比 上位5位）

＜年齢別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=99)	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		TX駅周辺の街並み		田園風景／ペデストリアンデッキ	
	69	69.7%	47	47.5%	44	44.4%	43	43.4%	31	31.3%
30歳代 (n=189)	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		街路樹		田園風景	
	141	74.6%	94	49.7%	92	48.7%	77	40.7%	70	37.0%
40歳代 (n=221)	筑波山		公園		研究学園都市の街並み		街路樹		田園風景	
	149	67.4%	123	55.7%	113	51.1%	103	46.6%	86	38.9%
50歳代 (n=170)	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		田園風景		街路樹	
	123	72.4%	99	58.2%	91	53.5%	82	48.2%	80	47.1%
60～64歳 (n=108)	筑波山		研究学園都市の街並み		公園／街路樹				田園風景	
	79	73.1%	64	59.3%	58		53.7%		48	44.4%
65～69歳 (n=95)	筑波山		研究学園都市の街並み		田園風景		街路樹		公園	
	65	68.4%	52	54.7%	45	47.4%	43	45.3%	37	38.9%
70～74歳 (n=77)	筑波山		研究学園都市の街並み		田園風景		街路樹		公園	
	56	72.7%	44	57.1%	41	53.2%	37	48.1%	36	46.8%
75歳以上 (n=49)	筑波山		田園風景		研究学園都市の街並み		公園／街路樹			
	39	79.6%	24	49.0%	23	46.9%	21		42.9%	

＜年齢別の傾向＞

- すべての年齢で「筑波山」が最も多くなっており、次いで「研究学園都市の街並み」が上位に入っています。

＜地区別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=82)	筑波山		田園風景		研究学園都市の街並み		TX駅周辺の街並み		公園	
	74	90.2%	51	62.2%	40	48.8%	25	30.5%	22	26.8%
大穂地区 (n=74)	筑波山		研究学園都市の街並み		田園風景／街路樹				TX駅周辺の街並み	
	56	75.7%	39	52.7%	32		43.2%		26	35.1%
豊里地区 (n=79)	筑波山		研究学園都市の街並み		田園風景		公園		TX駅周辺の街並み	
	58	73.4%	50	63.3%	43	54.4%	32	40.5%	31	39.2%
谷田部地区 (n=169)	筑波山		研究学園都市の街並み		街路樹		公園		TX駅周辺の街並み	
	122	72.2%	85	50.3%	84	49.7%	83	49.1%	61	36.1%
桜地区 (n=98)	筑波山		研究学園都市の街並み／田園風景				公園		街路樹	
	74	75.5%	54		55.1%		51	52.0%	47	48.0%
荃崎地区 (n=123)	筑波山		研究学園都市の街並み		田園風景		牛久沼		街路樹	
	89	72.4%	66	53.7%	61	49.6%	58	47.2%	48	39.0%
研究学園地区 (n=323)	公園		筑波山		街路樹		研究学園都市の街並み		ペデストリアンデッキ	
	225	69.7%	210	65.0%	184	57.0%	163	50.5%	157	48.6%
TX沿線地区 (n=72)	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		街路樹		TX駅周辺の街並み	
	50	69.4%	46	63.9%	32	44.4%	28	38.9%	27	37.5%

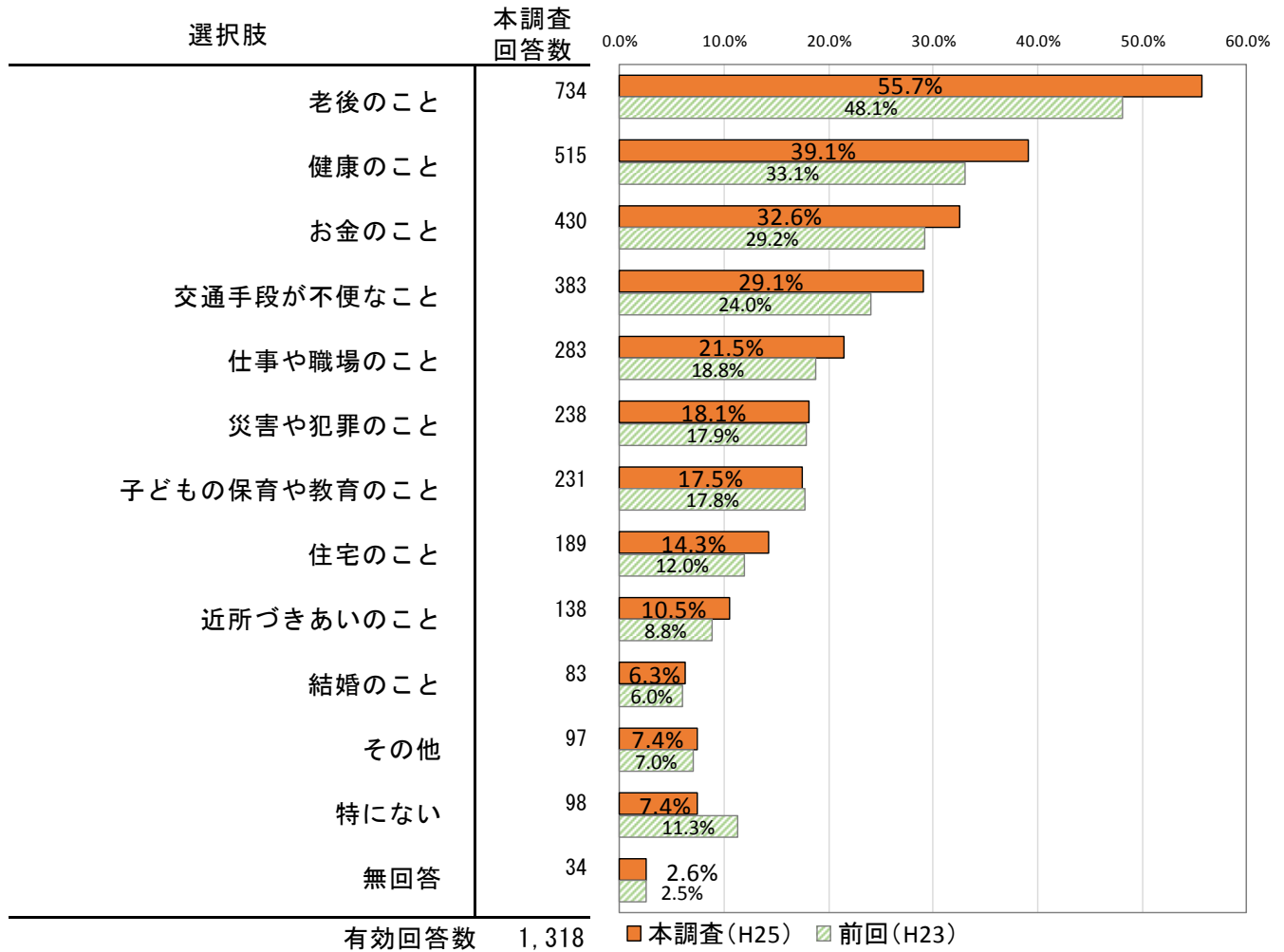
＜地区別の傾向＞

- 研究学園地区を除くすべての地区で、「筑波山」が最も多くなっています。
- 「研究学園都市の街並み」がすべての地区で上位に入っています。

## 4 普段の生活について

問9 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。 <〇は当てはまるものすべて>

### ① 全体集計の結果と傾向



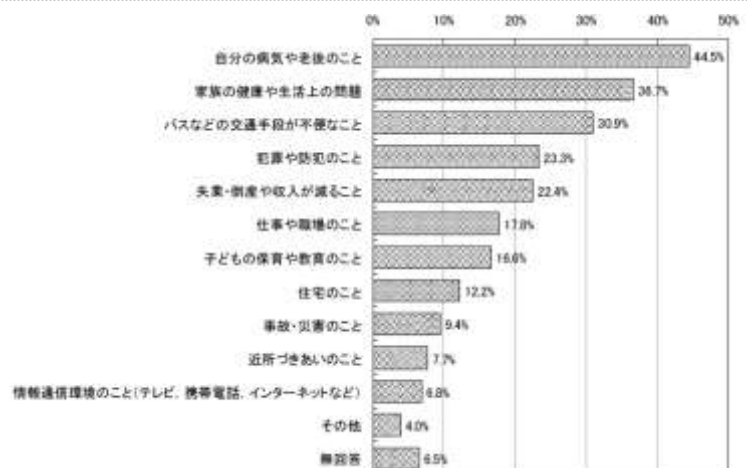
#### 《全体の傾向》

- 「老後のこと」が55.7%と最も多く、次いで「健康のこと」が39.1%となっています。
- 「その他」は、「子どもの将来」、「親の老後」、「放射能汚染」などとなっています。

#### 《前々回(H21)の調査結果》

- 「自分の病気や老後のこと」が44.5%と最も多く、次いで「家族の健康や生活上の問題」が36.7%などとなっています。

※前々回調査では、「近頃、ご自分やご家族のことで心配ごとや困っていることは何ですか。」という設問となっています。



② クロス集計の結果（心配ごとや困っていることと年齢別・地区別構成比 上位5位）

<年齢別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	仕事や職場のこと		お金のこと		老後のこと		交通手段が不便なこと		災害や犯罪のこと	
	60	44.4%	55	40.7%	43	31.9%	37	27.4%	33	24.4%
30歳代 (n=244)	老後のこと		子どもの保育や教育のこと		お金のこと		仕事や職場のこと		健康のこと	
	116	47.5%	99	40.6%	96	39.3%	85	34.8%	68	27.9%
40歳代 (n=267)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		子どもの保育や教育のこと		仕事や職場のこと	
	145	54.3%	102	38.2%	93	34.8%	80	30.0%	76	28.5%
50歳代 (n=226)	老後のこと		健康のこと		お金のこと／交通手段が不便なこと		災害や犯罪のこと			
	153	67.7%	94	41.6%	68	30.1%	47	20.8%		
60～64歳 (n=138)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		災害や犯罪のこと	
	86	62.3%	67	48.6%	44	31.9%	41	29.7%	18	13.0%
65～69歳 (n=122)	老後のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		お金のこと		災害や犯罪のこと	
	76	62.3%	59	48.4%	53	43.4%	35	28.7%	14	11.5%
70～74歳 (n=104)	老後のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		お金のこと		近所づきあいのこと	
	64	61.5%	59	56.7%	32	30.8%	19	18.3%	9	8.7%
75歳以上 (n=63)	老後のこと／健康のこと				交通手段が不便なこと		お金のこと		近所づきあいのこと	
	43	68.3%			35	55.6%	8	12.7%	5	7.9%

<<年齢別の傾向>>

●20歳代では、「仕事や職場のこと」、30歳代以上では、「老後のこと」が最も多くなっています。

<地区別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	老後のこと		健康のこと／交通手段が不便なこと		お金のこと		災害や犯罪のこと			
	68	60.2%	49	43.4%	37	32.7%	19	16.8%		
大穂地区 (n=93)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	60	64.5%	37	39.8%	32	34.4%	27	29.0%	17	18.3%
豊里地区 (n=93)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		子どもの保育や教育のこと	
	54	58.1%	42	45.2%	32	34.4%	22	23.7%	20	21.5%
谷田部地区 (n=222)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		災害や犯罪のこと	
	134	60.4%	93	41.9%	73	32.9%	51	23.0%	47	21.2%
桜地区 (n=134)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	76	56.7%	52	38.8%	45	33.6%	38	28.4%	31	23.1%
荃崎地区 (n=163)	老後のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		お金のこと		仕事や職場のこと	
	98	60.1%	80	49.1%	77	47.2%	50	30.7%	31	19.0%
研究学園地区 (n=413)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		仕事や職場のこと		交通手段が不便なこと	
	210	50.8%	147	35.6%	130	31.5%	113	27.4%	101	24.5%
TX沿線地区 (n=87)	子どもの保育や教育のこと		老後のこと		お金のこと		仕事や職場のこと		災害や犯罪のこと	
	36	41.4%	34	39.1%	26	29.9%	25	28.7%	23	26.4%

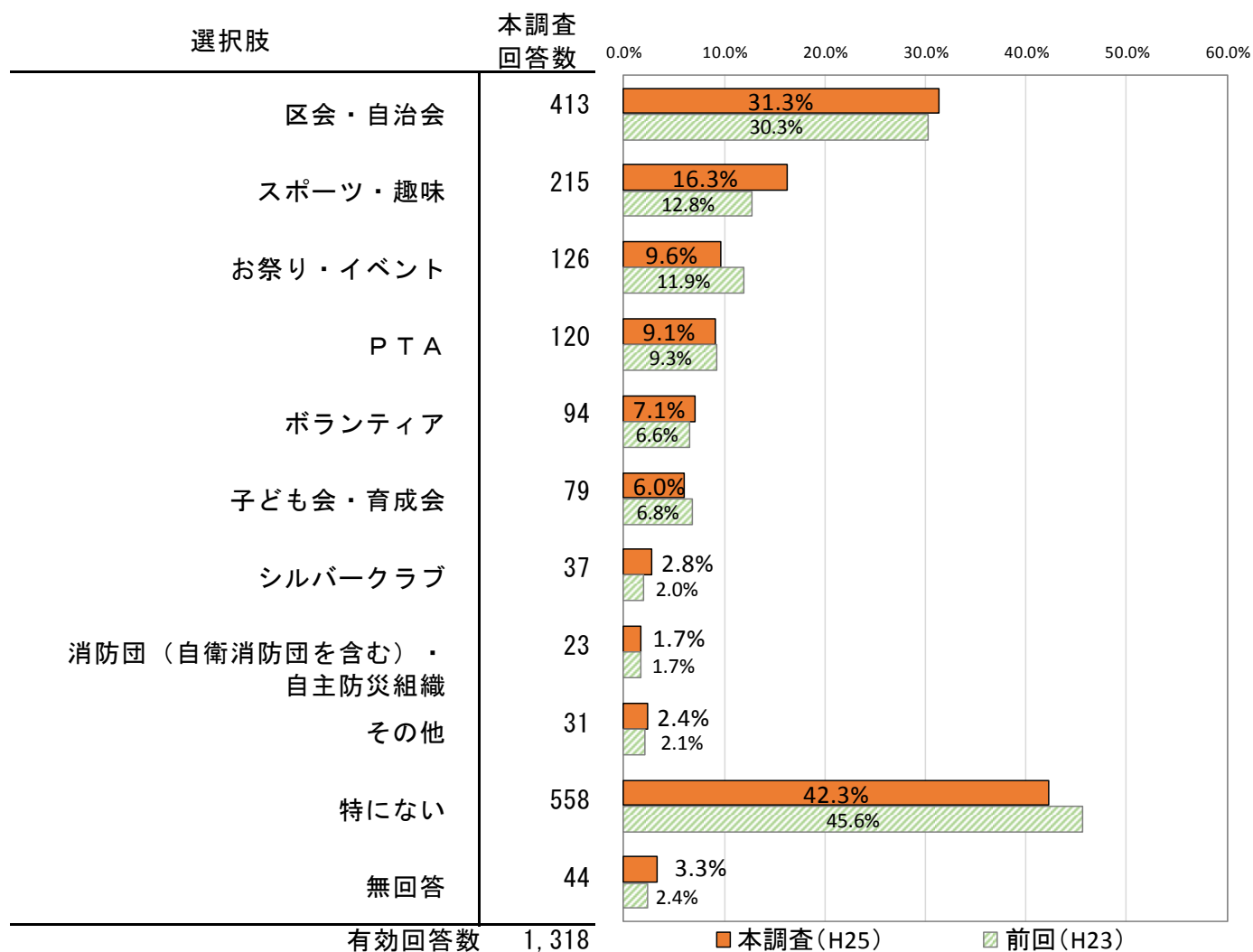
<<地区別の傾向>>

●TX沿線地区以外のすべての地区で「老後のこと」が最も多くなっています。

問10 あなたは、現在、どのような地域活動に参加していますか。

<〇は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果と傾向



《全体の傾向》

- 「特にない」が42.3%と最も多く、次いで「区会・自治会」が31.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「スポーツ・趣味」が約4ポイント増加し、「特にない」が約3ポイント減少しています。
- 「その他」は、「植樹」や「農業活動」などとなっています。

## ② クロス集計の結果（地域活動への参加と年齢別・地区別構成比 上位5位）

### <年齢別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	特にない		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		区会・自治会		子ども会・育成会	
	95	70.4%	19	14.1%	18	13.3%	7	5.2%	3	2.2%
30歳代 (n=244)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		子ども会・育成会		お祭り・イベント	
	130	53.3%	45	18.4%	33	13.5%	32	13.1%	31	12.7%
40歳代 (n=267)	区会・自治会		特にない		PTA		スポーツ・趣味		子ども会・育成会	
	101	37.8%	97	36.3%	73	27.3%	37	13.9%	33	12.4%
50歳代 (n=226)	区会・自治会		特にない		スポーツ・趣味		ボランティア／PTA			
	99	43.8%	84	37.2%	35	15.5%	14		6.2%	
60～64歳 (n=138)	区会・自治会		特にない		スポーツ・趣味		ボランティア		お祭り・イベント	
	56	40.6%	53	38.4%	22	15.9%	16	11.6%	10	7.2%
65～69歳 (n=122)	区会・自治会		特にない		スポーツ・趣味		ボランティア		お祭り・イベント	
	49	40.2%	33	27.0%	21	17.2%	19	15.6%	13	10.7%
70～74歳 (n=104)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		ボランティア		お祭り・イベント／シルバークラブ	
	42	40.4%	33	31.7%	27	26.0%	13	12.5%	8	7.7%
75歳以上 (n=63)	区会・自治会		特にない		スポーツ・趣味		シルバークラブ		ボランティア／お祭り・イベント／その他	
	19	30.2%	18	28.6%	17	27.0%	16	25.4%	6	9.5%

### 《年齢別の傾向》

●40歳代から69歳、75歳以上で「区会・自治会」が最も多くなっています。

### <地区別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	区会・自治会		特にない		お祭り・イベント		スポーツ・趣味		ボランティア	
	40	35.4%	37	32.7%	18	15.9%	14	12.4%	10	8.8%
大穂地区 (n=93)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		子ども会・育成会		お祭り・イベント	
	33	35.5%	30	32.3%	13	14.0%	8	8.6%	7	7.5%
豊里地区 (n=93)	区会・自治会		特にない		お祭り・イベント		スポーツ・趣味／子ども会・育成会			
	33	35.5%	30	32.3%	12	12.9%	10		10.8%	
谷田部地区 (n=222)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		ボランティア／お祭り・イベント／PTA			
	89	40.1%	65	29.3%	31	14.0%	19		8.6%	
桜地区 (n=134)	区会・自治会		特にない		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		子ども会・育成会	
	54	40.3%	51	38.1%	25	18.7%	14	10.4%	11	8.2%
茎崎地区 (n=163)	区会・自治会		特にない		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		ボランティア	
	61	37.4%	60	36.8%	37	22.7%	20	12.3%	13	8.0%
研究学園地区 (n=413)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		PTA		お祭り・イベント	
	211	51.1%	111	26.9%	71	17.2%	54	13.1%	28	6.8%
TX沿線地区 (n=87)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		お祭り・イベント／PTA			
	47	54.0%	19	21.8%	14	16.1%	8		9.2%	

### 《地区別の傾向》

●研究学園地区、TX沿線地区では、「特にない」が50%を超えています。

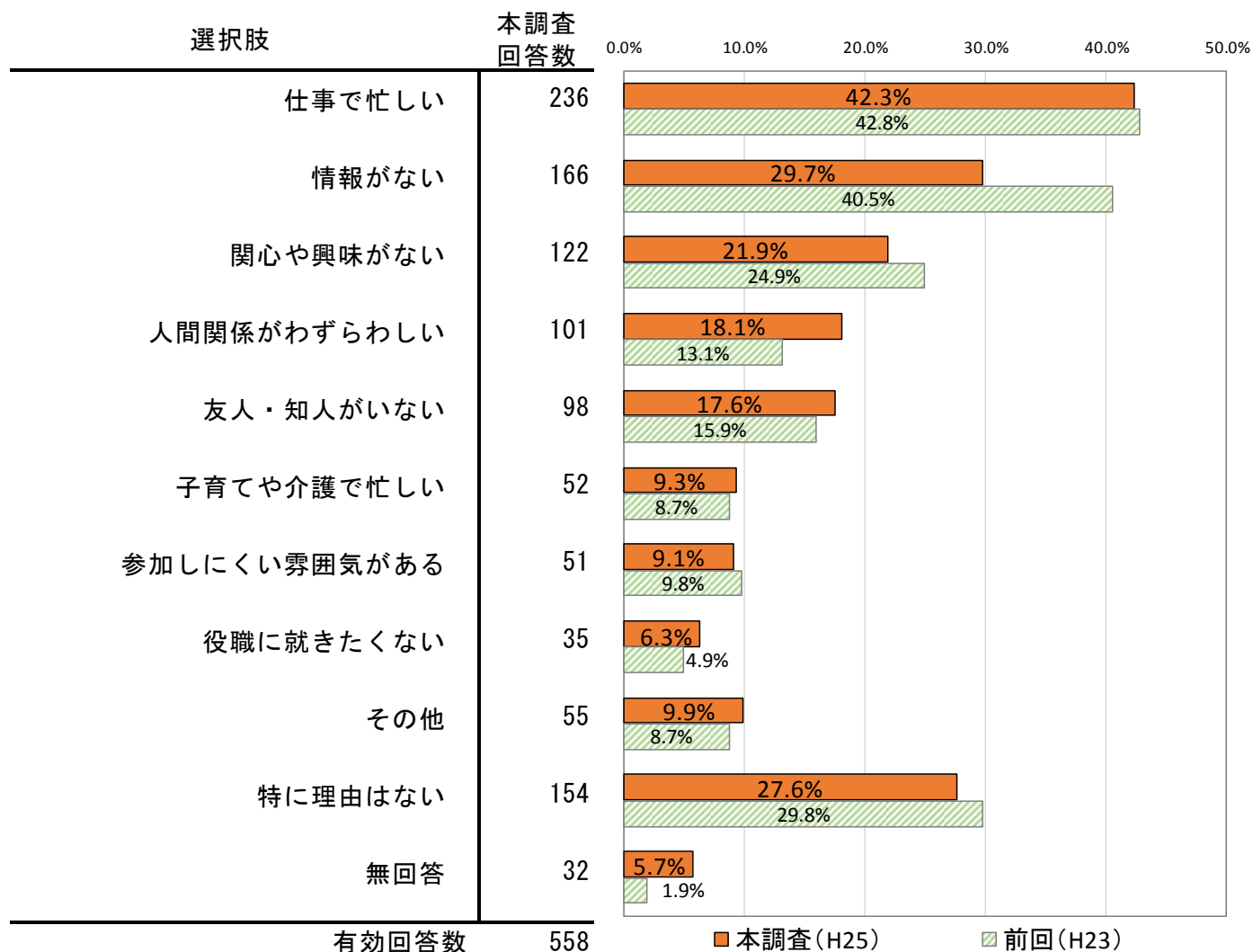


【問10で「特になし」とお答えの方にお聞きします】

問11 地域活動に参加していない主な理由は何ですか。

<3つまで>

① 全体集計の結果と傾向



《全体の傾向》

- 「仕事で忙しい」が42.3%と最も多く、次いで「情報がない」が29.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「人間関係がわずらわしい」が5ポイント増加し、「情報がない」が約11ポイント減少しています。
- 「その他」は、「健康上の理由・病気」、「きっかけがない」などとなっています。

② クロス集計の結果（地域活動に参加していない理由と年齢別・地区別構成比 上位5位）

＜年齢別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=95)	情報がない		仕事で忙しい		関心や興味が無い		特に理由はない		友人・知人がいない	
	40	42.1%	38	40.0%	28	29.5%	25	26.3%	16	16.8%
30歳代 (n=130)	仕事で忙しい		情報がない		友人・知人がいない		特に理由はない		子育てや介護で忙しい	
	64	49.2%	50	38.5%	29	22.3%	26	20.0%	25	19.2%
40歳代 (n=97)	仕事で忙しい		特に理由はない		関心や興味が無い		情報がない		人間関係がわずらわしい	
	50	51.5%	24	24.7%	23	23.7%	22	22.7%	21	21.6%
50歳代 (n=84)	仕事で忙しい		情報がない		特に理由はない／関心や興味が無い				友人・知人がいない ／人間関係がわずらわしい	
	44	52.4%	23	27.4%	20	23.8%			16	19.0%
60～64歳 (n=53)	仕事で忙しい		特に理由はない		情報がない／人間関係がわずらわしい				友人・知人がいない ／関心や興味が無い	
	20	37.7%	16	30.2%	15	28.3%			9	17.0%
65～69歳 (n=33)	特に理由はない		人間関係がわずらわしい		仕事で忙しい		友人・知人がいない／その他			
	11	33.3%	10	30.3%	8	24.2%	7	21.2%		
70～74歳 (n=42)	特に理由はない		関心や興味が無い		情報がない		仕事で忙しい／友人・知人がいない／人間関係がわずらわしい			
	21	50.0%	10	23.8%	9	21.4%	7	16.7%		
75歳以上 (n=18)	特に理由はない		人間関係がわずらわしい		関心や興味が無い		役職に就きたくない／その他			
	9	50.0%	6	33.3%	4	22.2%	3	16.7%		

《年齢別の傾向》

●20歳代では、「情報がない」、30歳代から64歳は、「仕事で忙しい」、「65歳以上」では、「特に理由はない」が最も多くなっています。

＜地区別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=37)	仕事で忙しい		特に理由はない		関心や興味が無い		情報がない		人間関係がわずらわしい	
	19	51.4%	12	32.4%	10	27.0%	9	24.3%	8	21.6%
大穂地区 (n=33)	特に理由はない		情報がない		仕事で忙しい／人間関係がわずらわしい／その他					
	14	42.4%	11	33.3%	7	21.2%				
豊里地区 (n=30)	仕事で忙しい／情報がない／関心や興味が無い						特に理由はない		人間関係がわずらわしい	
	11	36.7%			8	26.7%	5	16.7%		
谷田部地区 (n=89)	仕事で忙しい		特に理由はない		情報がない／関心や興味が無い				人間関係がわずらわしい／参加しにくい雰囲気がある	
	34	38.2%	25	28.1%	20	22.5%			16	18.0%
桜地区 (n=51)	仕事で忙しい		関心や興味が無い		特に理由はない		情報がない		人間関係がわずらわしい	
	22	43.1%	19	37.3%	16	31.4%	9	17.6%	7	13.7%
荃崎地区 (n=60)	仕事で忙しい		特に理由はない		情報がない		人間関係がわずらわしい		関心や興味が無い	
	26	43.3%	19	31.7%	16	26.7%	15	25.0%	13	21.7%
研究学園地区 (n=211)	仕事で忙しい		情報がない		友人・知人がいない		特に理由はない		関心や興味が無い	
	102	48.3%	75	35.5%	53	25.1%	48	22.7%	41	19.4%
TX沿線地区 (n=47)	仕事で忙しい／情報がない				特に理由はない／子育てや介護で忙しい				友人・知人がいない	
	15	31.9%			12	25.5%			11	23.4%

《年齢別の傾向》

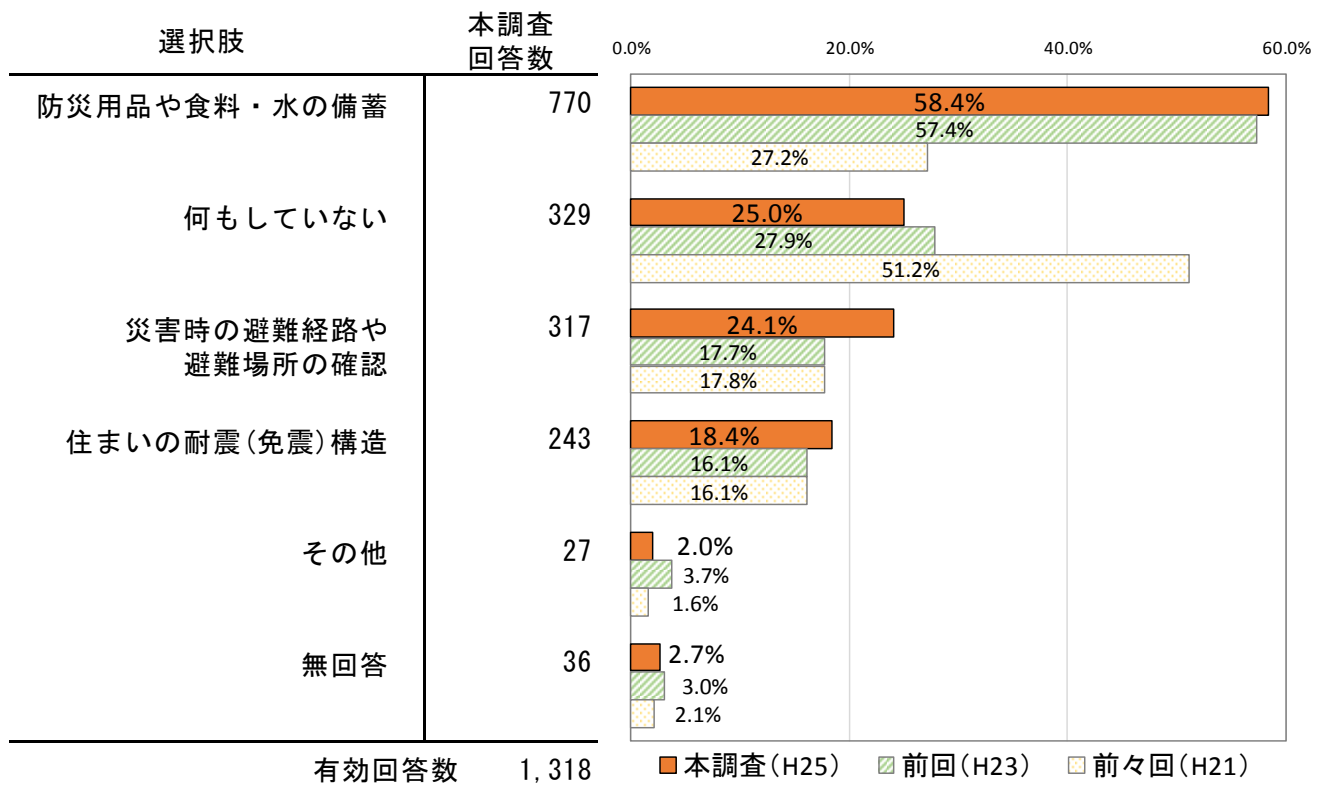
●大穂地区では、「特に理由はない」が、それ以外の地区では「仕事が忙しい」が最も多くなっています。



問12 あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。

<〇は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果と傾向



《全体の傾向》

- 「防災用品や食料・水の備蓄」が58.4%と最も多く、次いで「何もしていない」が25.0%となっています。
- 前回調査と比べると、「災害時の避難経路や避難場所の確認」が約6ポイント増加し、「何もしていない」が約3ポイント減少しています。
- 「その他」は、「家具などの転倒防止」、「家族との連絡手段や集合場所の確認」などとなっています。

② クロス集計の結果（防災対策の実践と年齢別・地区別構成比 上位5位）

＜年齢別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	59	43.7%	52	38.5%	27	20.0%	15	11.1%	1	0.7%
30歳代 (n=244)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	150	61.5%	57	23.4%	54	22.1%	53	21.7%	3	1.2%
40歳代 (n=267)	防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造		何もしていない		その他	
	175	65.5%	84	31.5%	69	25.8%	46	17.2%	7	2.6%
50歳代 (n=226)	防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	136	60.2%	57	25.2%	53	23.5%	38	16.8%	5	2.2%
60～64歳 (n=138)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない／災害時の避難経路や避難場所の確認		23.2%		住まいの耐震(免震)構造			
	83	60.1%	32				28	20.3%		
65～69歳 (n=122)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	72	59.0%	32	26.2%	23	18.9%	19	15.6%	6	4.9%
70～74歳 (n=104)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	57	54.8%	29	27.9%	21	20.2%	9	8.7%	2	1.9%
75歳以上 (n=63)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	33	52.4%	22	34.9%	17	27.0%	9	14.3%	2	3.2%

＜年齢別の傾向＞

●すべての年代で「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多くなっています。

＜地区別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		災害時の避難経路や避難場所の確認		その他	
	53	46.9%	37	32.7%	19	16.8%	17	15.0%	2	1.8%
大穂地区 (n=93)	防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	49	52.7%	17	18.3%	27	29.0%	12	12.9%	2	2.2%
豊里地区 (n=93)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	54	58.1%	27	29.0%	25	26.9%	11	11.8%	1	1.1%
谷田部地区 (n=222)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	110	49.5%	69	31.1%	42	18.9%	38	17.1%	6	2.7%
桜地区 (n=134)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造			
	77	57.5%	32	23.9%	31	23.1%	29	21.6%		
荃崎地区 (n=163)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	87	53.4%	44	27.0%	42	25.8%	26	16.0%	4	2.5%
研究学園地区 (n=413)	防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない		住まいの耐震(免震)構造		その他	
	277	67.1%	122	29.5%	81	19.6%	72	17.4%	12	2.9%
TX沿線地区 (n=87)	防災用品や食料・水の備蓄		住まいの耐震(免震)構造		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない			
	63	72.4%	36	41.4%	21	24.1%	12	13.8%		

＜地区別の傾向＞

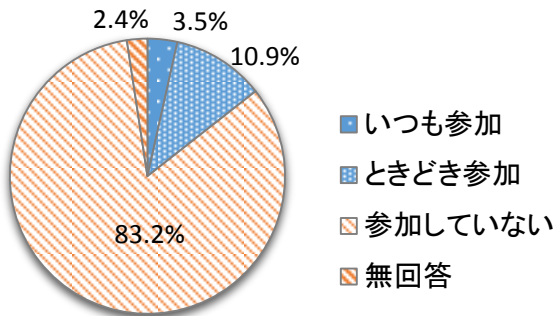
●すべての地区で「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多くなっています。

問13 あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。 <〇は1つ>

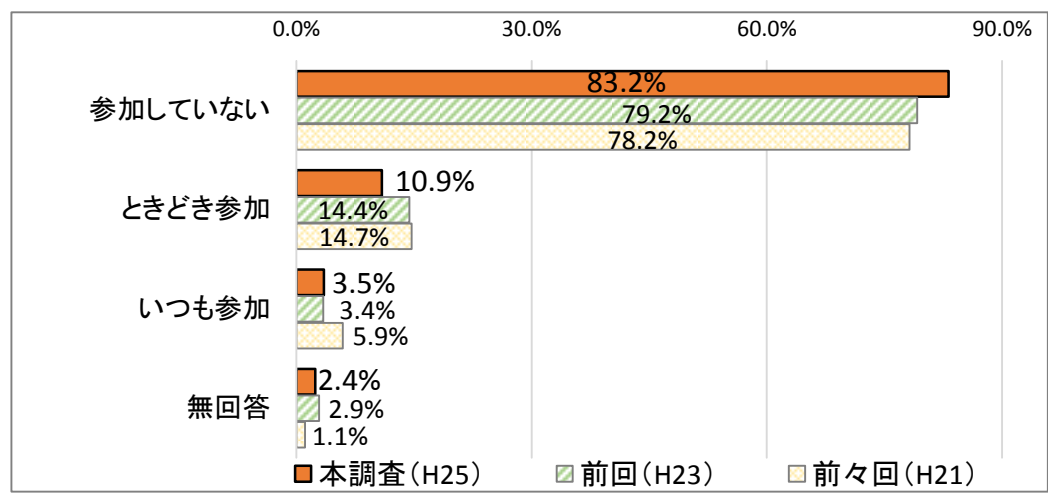
① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
いつも参加	46	3.5%	3.4%	5.9%
ときどき参加	144	10.9%	14.4%	14.7%
参加していない	1,097	83.2%	79.2%	78.2%
無回答	31	2.4%	2.9%	1.1%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



<過年度調査との比較>

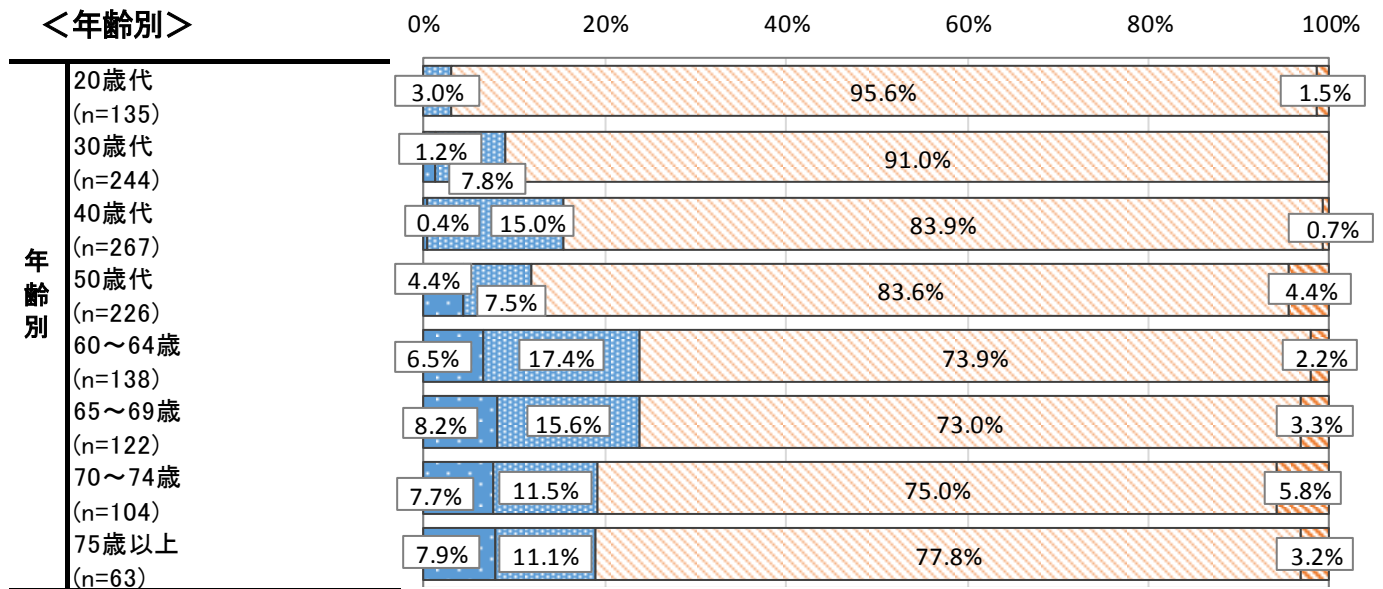


《全体の傾向》

- 「参加していない」が83.2%と最も多く、次いで「ときどき参加」が10.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「参加していない」が4ポイント増加し、「ときどき参加」が約4ポイント減少しています。

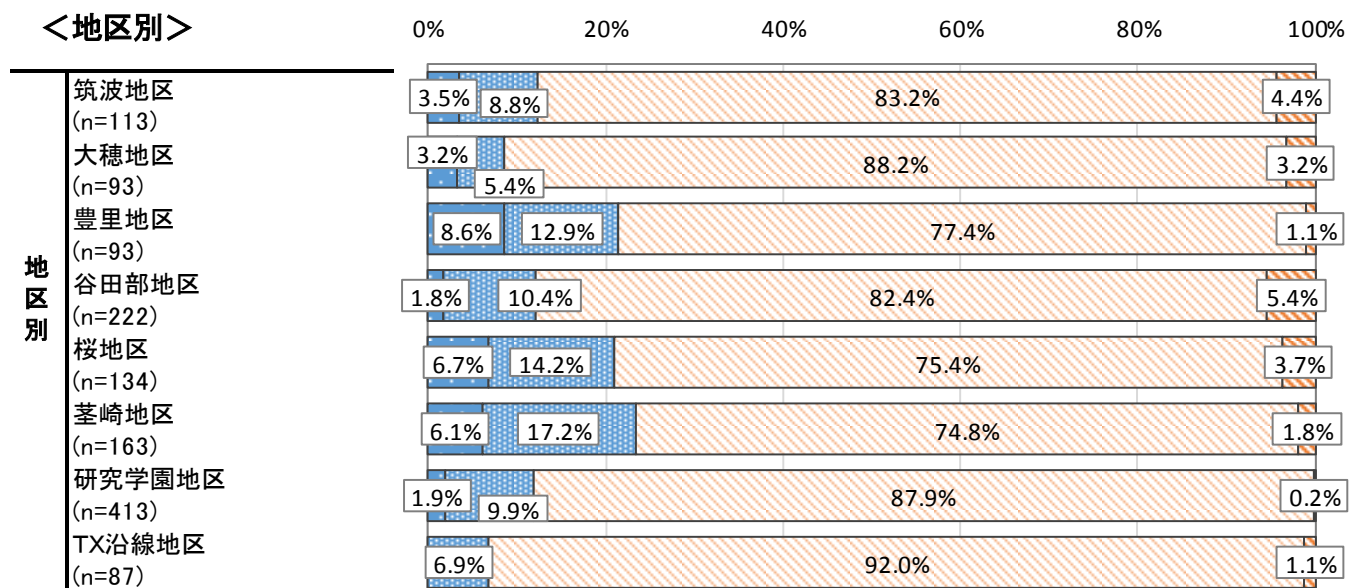
## ② クロス集計の結果（防犯活動への参加と年齢別・地区別）

いつも参加      ときどき参加      参加していない      無回答



### 《年齢別の傾向》

●すべての年代で「参加していない」が最も多くなっています。



### 《地区別の傾向》

●すべての地区で「参加していない」が最も多くなっています。

【問13で「参加していない」とお答えの方にお聞きします】

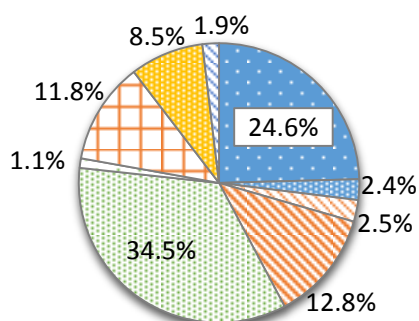
問14 防犯活動に参加しない理由は何ですか。

<〇は1つ>

① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
時間がない	270	24.6%	12.0%	26.4%
活動がわずらわしい	26	2.4%	1.2%	2.5%
人間関係がわずらわしい	27	2.5%	1.9%	-
組織がない	140	12.8%	12.7%	10.8%
組織があるかわからない	379	34.5%	41.4%	39.2%
必要だと思わない	12	1.1%	1.2%	1.1%
わからない	129	11.8%	12.2%	9.7%
その他	93	8.5%	8.9%	9.3%
無回答	21	1.9%	8.5%	0.4%
合計	1,097	100.0%	100.0%	-

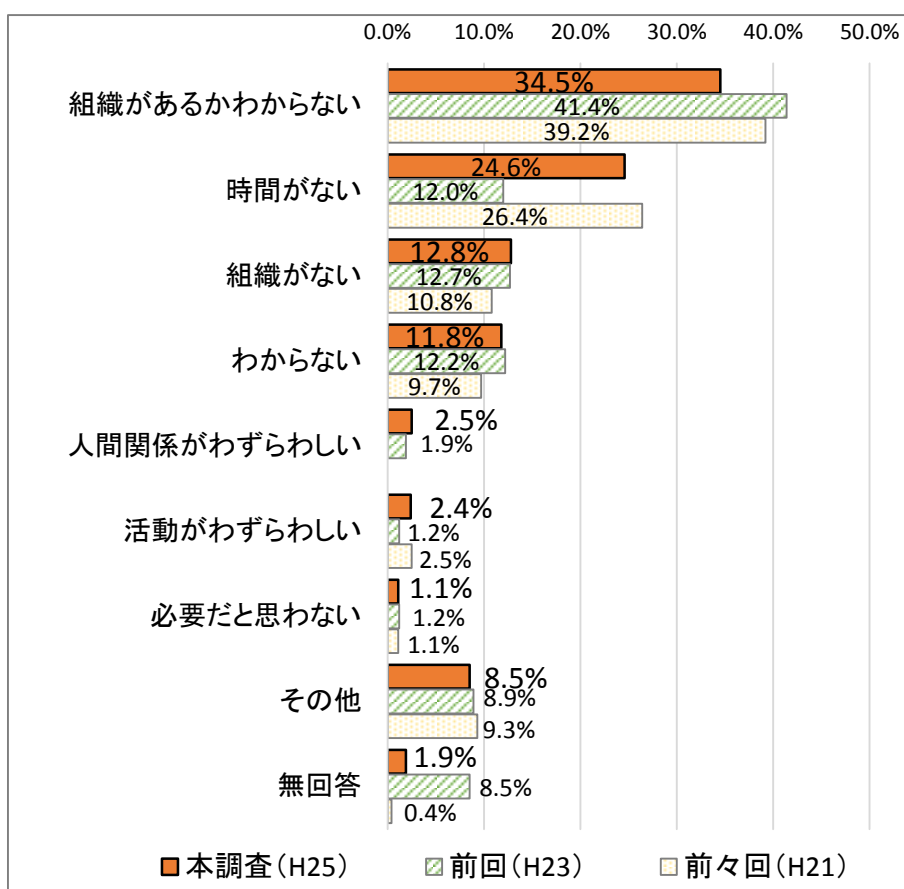
<本調査での構成比>



- 時間がない
- 活動がわずらわしい
- 人間関係がわずらわしい
- 組織がない
- 組織があるかわからない
- 必要だと思わない
- わからない
- その他
- 無回答

※前々回 (H21) の設問では、「人間関係がわずらわしい」という選択肢はない。

<過年度調査との比較>



本調査と前々回調査で名称が異なる選択肢は以下のとおり

<本調査>

- 組織があるかわからない
- 組織がない
- 時間がない
- 必要だと思わない



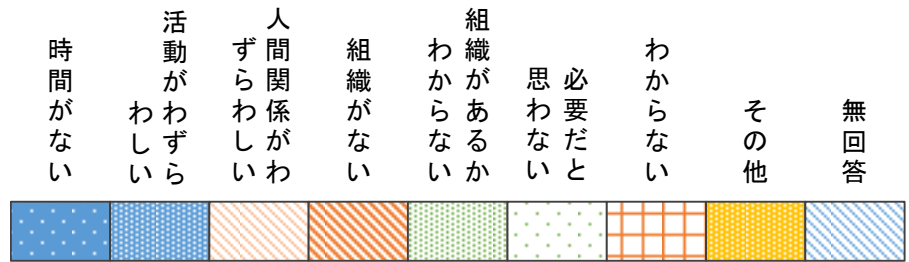
<前々回調査>

- 防犯活動組織があるかどうかかわからない
- 防犯活動組織がない
- 活動する時間がない
- 住民による防犯活動が必要だと思わない

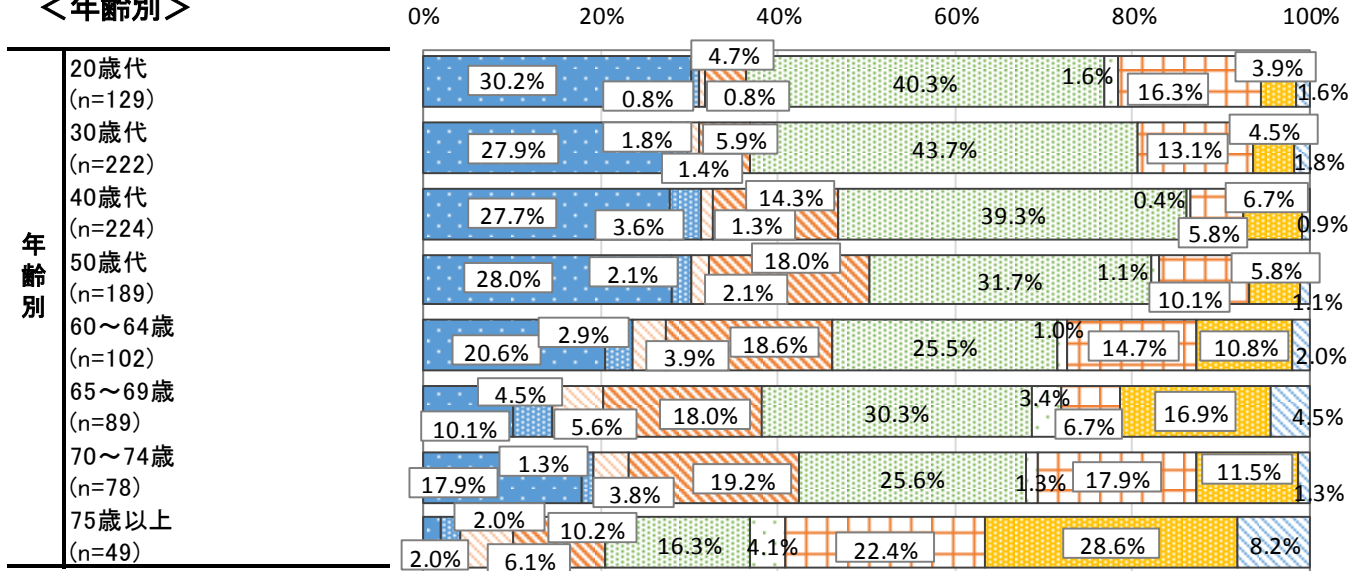
《全体の傾向》

- 「組織があるかわからない」が34.5%と最も多く、次いで「時間がない」が24.6%となっています。
- 前回調査と比べると「時間がない」が約13ポイント%増加し、「組織があるかわからない」が約7ポイント減少しています。
- 「その他」は、「要請がない」、「情報が少ない」などとなっています。

② クロス集計の結果（防犯活動に参加しない理由と年齢別・地区別）



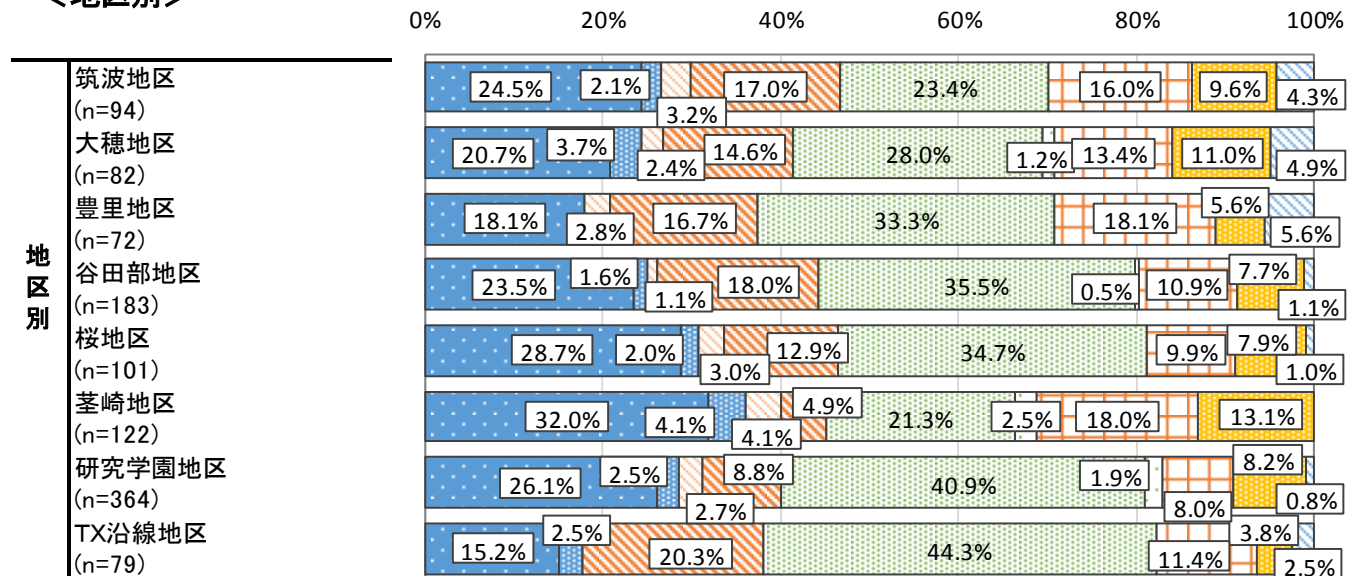
<年齢別>



《年齢別の傾向》

●20歳代、30歳代では、「組織があるかわからない」が他の年代に比べ多く、40%以上となっています。

<地区別>



《地区別の傾向》

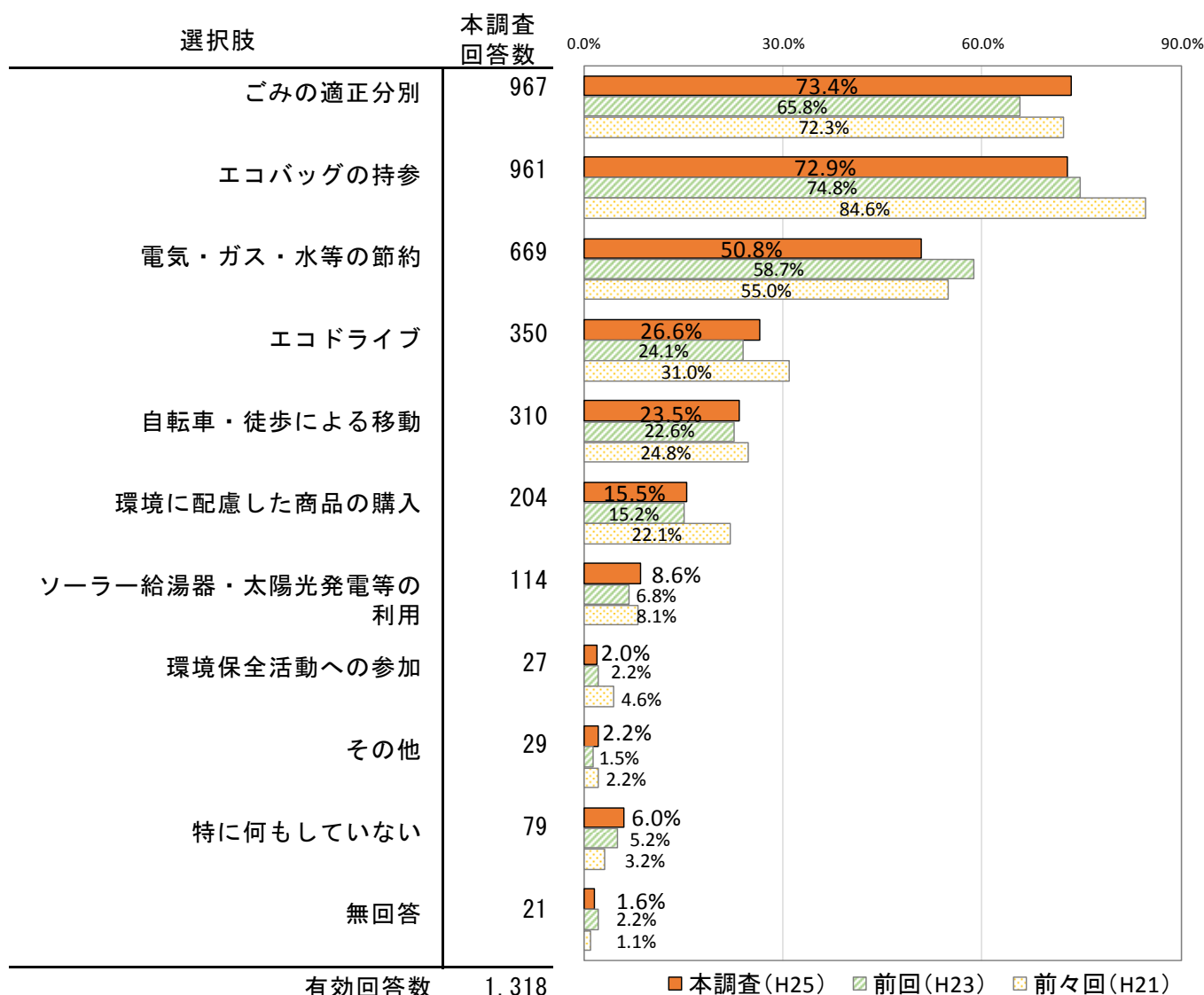
●研究学園地区、TX沿線地区では、「組織があるかわからない」が他の地区に比べて多く 40%以上となっています。



問15 あなたが、地球温暖化対策として実施していることは何ですか。  
 <〇は当てはまるものすべて>

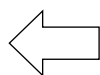
① 全体集計の結果と傾向

<本調査での構成比と過年度調査との比較>



本調査と前々回調査で名称が異なる選択肢は以下のとおり

<本調査>  
 エコバッグの持参  
 エコドライブ  
 環境に配慮した商品の購入  
 ソーラー給湯器・太陽光発電等の利用



<前々回調査>  
 買い物袋(マイバック)の持参  
 エコドライブの心がけ  
 環境に配慮した商品・製品の購入  
 クリーンエネルギー(ソーラー給湯器・太陽光発電等)の利用

<<全体の傾向>>

- 「ごみの適正分別」が73.4%と最も多く、次いで「エコバッグの持参」が72.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「ごみの適正分別」が約8ポイント増加し、「電気・ガス・水等の節約」は約8ポイント減少しています。
- 「その他」は、「緑化・植樹」、「物を大切にし、長く使う」などとなっています。



② クロス集計の結果（地球温暖化対策と年齢別・地区別構成比 上位5位）

＜年齢別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		自転車・徒歩による移動		エコドライブ	
	87	64.4%	72	53.3%	49	36.3%	41	30.4%	30	22.2%
30歳代 (n=244)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	185	75.8%	167	68.4%	105	43.0%	69	28.3%	43	17.6%
40歳代 (n=267)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	208	77.9%	192	71.9%	132	49.4%	89	33.3%	70	26.2%
50歳代 (n=226)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		環境に配慮した商品の購入	
	180	79.6%	179	79.2%	121	53.5%	73	32.3%	46	20.4%
60～64歳 (n=138)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	118	85.5%	102	73.9%	89	64.5%	37	26.8%	30	21.7%
65～69歳 (n=122)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		自転車・徒歩による移動		エコドライブ	
	105	86.1%	85	69.7%	74	60.7%	31	25.4%	27	22.1%
70～74歳 (n=104)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		自転車・徒歩による移動		エコドライブ／環境に配慮した商品の購入	
	74	71.2%	66	63.5%	55	52.9%	30	28.8%	13	12.5%
75歳以上 (n=63)	ごみの適正分別		エコバッグの持参／電気・ガス・水等の節約		自転車・徒歩による移動		エコドライブ／環境に配慮した商品の購入		エコドライブ／環境に配慮した商品の購入	
	46	73.0%	34	54.0%	22	34.9%	7	11.1%		

《年齢別の傾向》

- 20歳代から50歳代で「エコバッグの持参」が最も多く、60歳以上では「ごみの適正分別」が最も多くなっています。

＜地区別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		環境に配慮した商品の購入	
	79	69.9%	75	66.4%	56	49.6%	27	23.9%	19	16.8%
大穂地区 (n=93)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		ソーラー給湯器・太陽光発電等の利用	
	66	71.0%	65	69.9%	47	50.5%	27	29.0%	14	15.1%
豊里地区 (n=93)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	70	75.3%	62	66.7%	45	48.4%	27	29.0%	16	17.2%
谷田部地区 (n=222)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	160	72.1%	155	69.8%	110	49.5%	52	23.4%	46	20.7%
桜地区 (n=134)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	103	76.9%	102	76.1%	74	55.2%	36	26.9%	25	18.7%
荃崎地区 (n=163)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	131	80.4%	111	68.1%	77	47.2%	38	23.3%	32	19.6%
研究学園地区 (n=413)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		自転車・徒歩による移動		エコドライブ	
	316	76.5%	302	73.1%	223	54.0%	157	38.0%	120	29.1%
TX沿線地区 (n=87)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	69	79.3%	62	71.3%	37	42.5%	23	26.4%	19	21.8%

《地区別の傾向》

- すべての地区で、「エコバッグの持参」、「ごみの適正分別」が多くなっています。

## 5 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

問16 あなたは、普段の生活の中で、次の1)～37)の項目について、どの程度満足していますか。  
直接関係がない項目についても、お答えください。 <〇は1つつ>

### ① 全体集計の結果

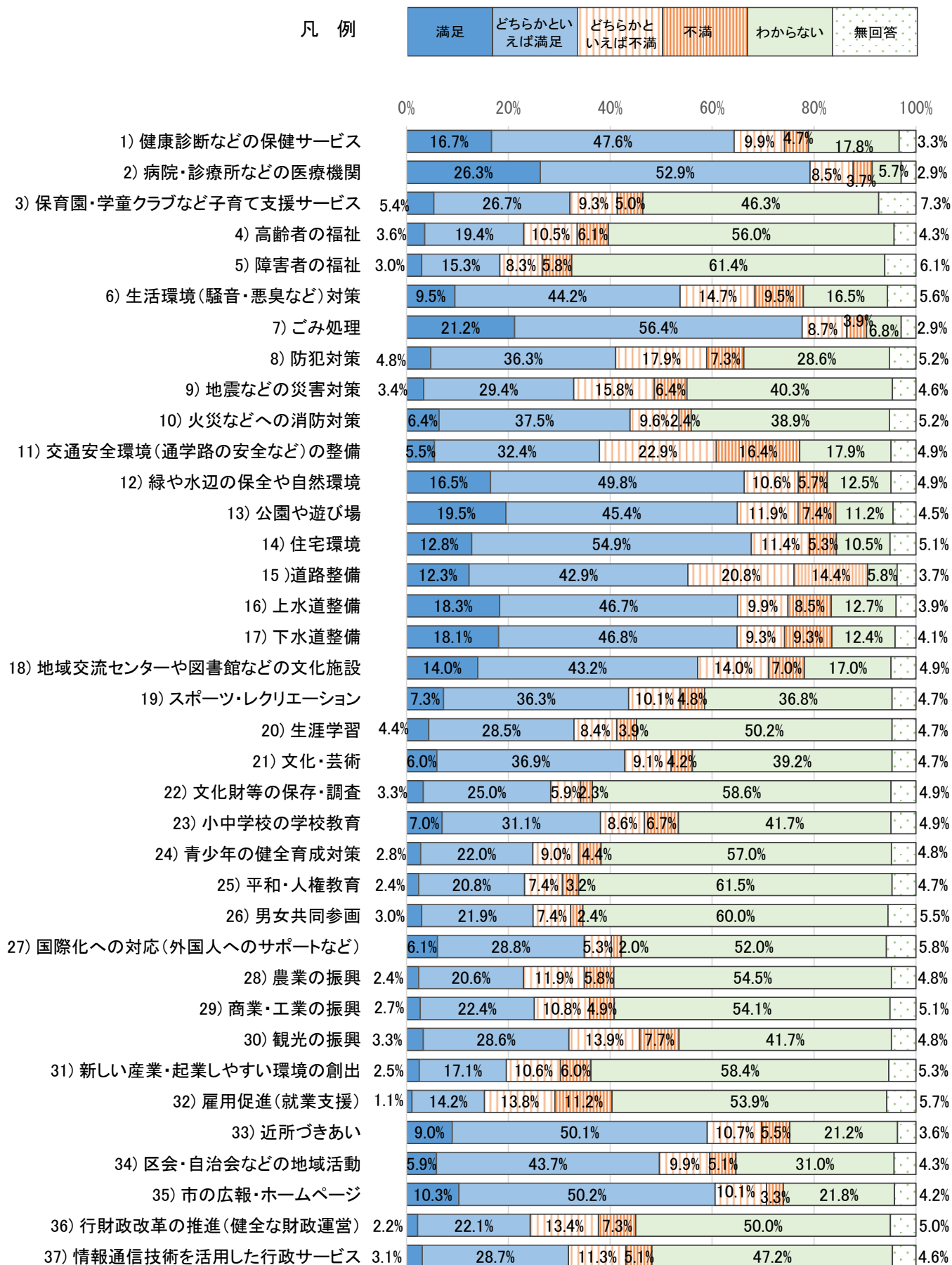
「満足」の回答割合が10%以上  「不満」の回答割合が10%以上  「わからない」が50%以上

つくば市の取組内容		選択肢	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	わから ない	無回答	合計
健康・福祉	1) 健康診断などの保健サービス	回答数	220	628	130	62	234	44	1,318
		割合	16.7%	47.6%	9.9%	4.7%	17.8%	3.3%	100.0%
	2) 病院・診療所などの医療機関	回答数	347	697	112	49	75	38	1,318
		割合	26.3%	52.9%	8.5%	3.7%	5.7%	2.9%	100.0%
	3) 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス	回答数	71	352	123	66	610	96	1,318
割合		5.4%	26.7%	9.3%	5.0%	46.3%	7.3%	100.0%	
4) 高齢者の福祉	回答数	48	256	139	80	738	57	1,318	
	割合	3.6%	19.4%	10.5%	6.1%	56.0%	4.3%	100.0%	
5) 障害者の福祉	回答数	39	202	110	77	809	81	1,318	
	割合	3.0%	15.3%	8.3%	5.8%	61.4%	6.1%	100.0%	
生活環境・防犯・防災・まちづくり	6) 生活環境(騒音・悪臭など)対策	回答数	125	582	194	125	218	74	1,318
		割合	9.5%	44.2%	14.7%	9.5%	16.5%	5.6%	100.0%
	7) ごみ処理	回答数	280	744	115	52	89	38	1,318
		割合	21.2%	56.4%	8.7%	3.9%	6.8%	2.9%	100.0%
	8) 防犯対策	回答数	63	478	236	96	377	68	1,318
		割合	4.8%	36.3%	17.9%	7.3%	28.6%	5.2%	100.0%
	9) 地震などの災害対策	回答数	45	388	208	85	531	61	1,318
		割合	3.4%	29.4%	15.8%	6.4%	40.3%	4.6%	100.0%
	10) 火災などへの消防対策	回答数	84	494	127	31	513	69	1,318
		割合	6.4%	37.5%	9.6%	2.4%	38.9%	5.2%	100.0%
	11) 交通安全環境(通学路の安全など)の整備	回答数	72	427	302	216	236	65	1,318
		割合	5.5%	32.4%	22.9%	16.4%	17.9%	4.9%	100.0%
	12) 緑や水辺の保全や自然環境	回答数	217	657	140	75	165	64	1,318
		割合	16.5%	49.8%	10.6%	5.7%	12.5%	4.9%	100.0%
	13) 公園や遊び場	回答数	257	599	157	98	148	59	1,318
		割合	19.5%	45.4%	11.9%	7.4%	11.2%	4.5%	100.0%
	14) 住宅環境	回答数	169	724	150	70	138	67	1,318
割合		12.8%	54.9%	11.4%	5.3%	10.5%	5.1%	100.0%	
15) 道路整備	回答数	162	566	274	190	77	49	1,318	
	割合	12.3%	42.9%	20.8%	14.4%	5.8%	3.7%	100.0%	
16) 上水道整備	回答数	241	615	131	112	167	52	1,318	
	割合	18.3%	46.7%	9.9%	8.5%	12.7%	3.9%	100.0%	
17) 下水道整備	回答数	238	617	123	123	163	54	1,318	
	割合	18.1%	46.8%	9.3%	9.3%	12.4%	4.1%	100.0%	

つくば市の取組内容		選択肢	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	わから ない	無回答	合計
18) 地域交流センターや図書館などの文化施設	回答数	184	569	185	92	224	64	1,318	
	割合	14.0%	43.2%	14.0%	7.0%	17.0%	4.9%	100.0%	
19) スポーツ・レクリエーション	回答数	96	479	133	63	485	62	1,318	
	割合	7.3%	36.3%	10.1%	4.8%	36.8%	4.7%	100.0%	
20) 生涯学習	回答数	58	375	111	51	661	62	1,318	
	割合	4.4%	28.5%	8.4%	3.9%	50.2%	4.7%	100.0%	
21) 文化・芸術	回答数	79	486	120	55	516	62	1,318	
	割合	6.0%	36.9%	9.1%	4.2%	39.2%	4.7%	100.0%	
22) 文化財等の保存・調査	回答数	44	329	78	30	773	64	1,318	
	割合	3.3%	25.0%	5.9%	2.3%	58.6%	4.9%	100.0%	
23) 小中学校の学校教育	回答数	92	410	114	88	550	64	1,318	
	割合	7.0%	31.1%	8.6%	6.7%	41.7%	4.9%	100.0%	
24) 青少年の健全育成対策	回答数	37	290	119	58	751	63	1,318	
	割合	2.8%	22.0%	9.0%	4.4%	57.0%	4.8%	100.0%	
25) 平和・人権教育	回答数	32	274	97	42	811	62	1,318	
	割合	2.4%	20.8%	7.4%	3.2%	61.5%	4.7%	100.0%	
26) 男女共同参画	回答数	39	288	97	31	791	72	1,318	
	割合	3.0%	21.9%	7.4%	2.4%	60.0%	5.5%	100.0%	
27) 国際化への対応(外国人へのサポートなど)	回答数	80	379	70	27	685	77	1,318	
	割合	6.1%	28.8%	5.3%	2.0%	52.0%	5.8%	100.0%	
28) 農業の振興	回答数	32	272	157	76	718	63	1,318	
	割合	2.4%	20.6%	11.9%	5.8%	54.5%	4.8%	100.0%	
29) 商業・工業の振興	回答数	36	295	142	65	713	67	1,318	
	割合	2.7%	22.4%	10.8%	4.9%	54.1%	5.1%	100.0%	
30) 観光の振興	回答数	43	377	183	102	550	63	1,318	
	割合	3.3%	28.6%	13.9%	7.7%	41.7%	4.8%	100.0%	
31) 新しい産業・起業しやすい環境の創出	回答数	33	226	140	79	770	70	1,318	
	割合	2.5%	17.1%	10.6%	6.0%	58.4%	5.3%	100.0%	
32) 雇用促進(就業支援)	回答数	15	187	182	148	711	75	1,318	
	割合	1.1%	14.2%	13.8%	11.2%	53.9%	5.7%	100.0%	
33) 近所づきあい	回答数	118	660	141	72	280	47	1,318	
	割合	9.0%	50.1%	10.7%	5.5%	21.2%	3.6%	100.0%	
34) 区会・自治会などの地域活動	回答数	78	576	131	67	409	57	1,318	
	割合	5.9%	43.7%	9.9%	5.1%	31.0%	4.3%	100.0%	
35) 市の広報・ホームページ	回答数	136	662	133	44	287	56	1,318	
	割合	10.3%	50.2%	10.1%	3.3%	21.8%	4.2%	100.0%	
36) 行財政改革の推進(健全な財政運営)	回答数	29	291	177	96	659	66	1,318	
	割合	2.2%	22.1%	13.4%	7.3%	50.0%	5.0%	100.0%	
37) 情報通信技術を活用した行政サービス	回答数	41	378	149	67	622	61	1,318	
	割合	3.1%	28.7%	11.3%	5.1%	47.2%	4.6%	100.0%	

<全体集計グラフ（項目順）>

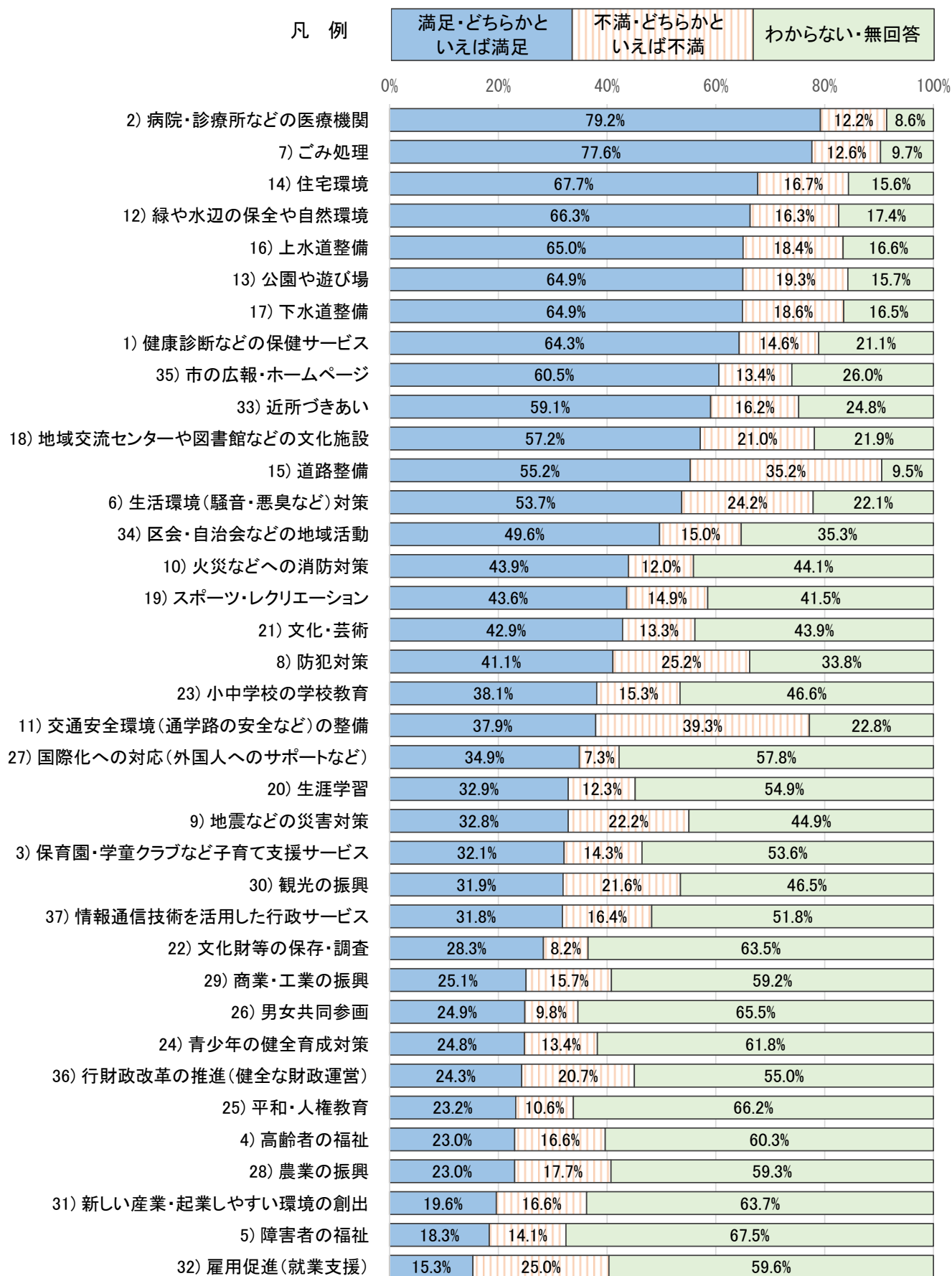
n=1,318



## <全体集計グラフ（満足の割合が多い順）>

「満足」、「どちらかといえば満足」の回答割合の合計が多い順に並べ替えて示しています。

n=1,318





## ② 満足度

下記のような基準で点数化し、「満足度」を算出しました。

### 満足度の算出方法

以下の方法で回答数に点数をつけ、「わからない」「無回答」を除く回答者数で割って算出

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない・無回答
各回答の点数	2点	1点	-1点	-2点	対象外

### <満足度の傾向>

上記の方法で算出した「満足度」について、全体集計に加えて、年齢別・地区別のクロス集計を実施しました。

#### 《全体の傾向》

- 満足度が高い項目として、「2) 病院・診療所などの医療機関」、「7) ごみ処理」、及び「1) 健康診断などの保健サービス」などが挙げられます。
- 満足度が低い項目として、「32) 雇用促進（就業支援）」、「11) 交通安全環境（通学路の安全など）の整備」、「36) 行財政改革の推進（健全な財政運営）」などが挙げられます。
- 前回調査と比べると、満足度が増加した項目は、「9) 地震などの災害対策」、「2) 病院・診療所などの医療機関」、「7) ごみ処理」などの20項目となっています。満足度が減少した項目は、「12) 緑や水辺の保全や自然環境」、「13) 公園や遊び場」などの6項目となっています。

#### 《年齢別の傾向》

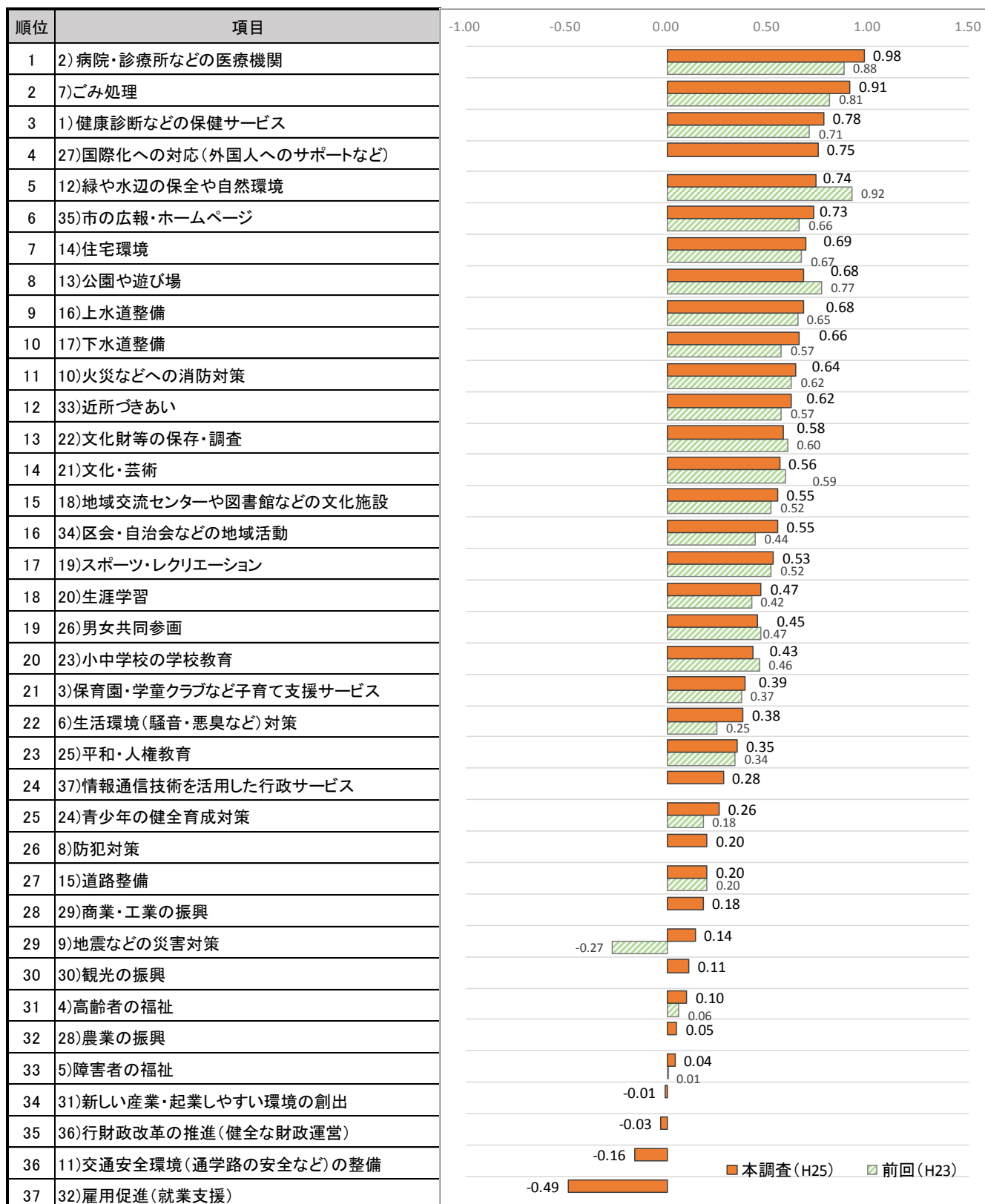
- 20歳代では、教育・文化に関する項目で、満足度が他の年齢に比べ高い傾向がみられます。
- 30歳代では、健康・福祉、地域・行政に関する項目で、満足度が他の年齢に比べ低い傾向がみられます。
- 60～64歳では、教育・文化に関する項目で、満足度が他の年齢に比べ低い傾向がみられます。
- 70～74歳では、健康・福祉、地域・行政に関する項目で、満足度が他の年齢に比べ高い傾向が見られます。
- 75歳以上では、生活環境・防犯・防災・まちづくり、産業に関する項目で、満足度が他の年齢に比べ低い傾向がみられます。

#### 《地区別の傾向》

- 筑波地区、荃崎地区では、教育・文化に関する項目で、満足度が他の地区に比べ低い傾向がみられます。一方、TX沿線地区では、教育・文化に関する項目で、他の地区に比べ高い傾向がみられます。
- 豊里地区では、健康・福祉に関する項目で、満足度が他の地区に比べ高い傾向がみられます。
- 筑波地区では、産業に関する項目で満足度が他の地区に比べ低い傾向がみられます。一方、TX沿線地区、豊里地区では、産業に関する項目で他の地区に比べ高い傾向がみられます。
- 研究学園地区では、地域・行政に関する項目で、他の地区に比べ低い傾向がみられます。

## <満足度の計算結果(全体集計)>

前頁の「満足度」の算出方法に従い点数化した結果をグラフ化し、「満足度が高い順」に表示



### 本調査で新たに追加した項目:

「8)防犯対策」、「11)交通安全環境(通学路の安全など)の整備」、「27)国際化への対応(外国人へのサポートなど)」、「28)農業の振興」、「29)商業・工業の振興」、「30)観光の振興」、「31)新しい産業・起業しやすい環境の創出」、「32)雇用促進(就業支援)」、「36)行財政改革の推進(健全な財政運営)」、「37)情報通信技術を活用した行政サービス」



### ③-1 満足度の計算結果（年齢別クロス集計）

項目ごとの満足割合，不満割合，満足度の年齢別クロス集計を行いました。  
満足割合，不満割合の考え方は以下に示すとおりです。

満足割合：「満足」の回答割合＋「どちらかといえば満足」の回答割合  
不満割合：「どちらかといえば不満」の回答割合＋「不満」の回答割合

満足度が最も高い年齢：

満足度が最も低い年齢：

#### 健康・福祉

		全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
1)健康診断などの保健サービス	満足割合(%)	64.3	57.0	54.9	62.9	62.8	76.1	63.9	81.7	73.0
	不満割合(%)	14.6	12.6	18.0	19.1	15.0	8.0	17.2	3.8	12.7
	満足度	0.78	0.83	0.63	0.60	0.69	0.98	0.69	1.39	0.98
2)病院・診療所などの医療機関	満足割合(%)	79.2	79.3	76.6	79.6	84.1	79.5	81.7	76.2	73.7
	不満割合(%)	12.2	7.4	14.8	16.1	14.6	9.4	9.0	4.8	12.7
	満足度	0.98	1.11	0.88	0.85	0.90	1.11	1.06	1.28	1.09
3)保育園・学童クラブなど子育て支援サービス	満足割合(%)	32.1	28.9	34.0	39.7	32.3	29.7	24.6	26.0	22.2
	不満割合(%)	14.3	8.1	23.4	18.0	15.0	8.7	9.0	8.7	11.1
	満足度	0.39	0.68	0.16	0.39	0.33	0.57	0.54	0.53	0.29
4)高齢者の福祉	満足割合(%)	23.1	21.5	8.2	18.7	23.5	33.3	23.8	46.2	34.9
	不満割合(%)	16.6	8.1	11.1	11.2	23.0	20.3	23.0	18.3	34.9
	満足度	0.10	0.45	-0.26	0.19	-0.18	0.23	-0.05	0.51	-0.07
5)障害者の福祉	満足割合(%)	18.3	17.0	9.8	16.1	18.6	26.8	18.9	27.9	23.8
	不満割合(%)	14.2	8.1	13.5	12.4	19.0	15.9	15.6	15.4	14.3
	満足度	0.04	0.44	-0.40	-0.05	-0.13	0.22	-0.05	0.44	0.17

#### 生活環境・防犯・防災・まちづくり

		全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
6)生活環境(騒音・悪臭など)対策	満足割合(%)	53.6	54.8	53.7	56.9	57.1	54.3	47.5	49.0	36.5
	不満割合(%)	24.2	23.0	27.5	24.7	23.5	22.5	24.6	22.1	25.4
	満足度	0.38	0.46	0.31	0.40	0.40	0.44	0.28	0.42	0.13
7)ごみ処理	満足割合(%)	77.7	75.6	73.8	80.1	77.4	79.7	73.8	85.6	76.2
	不満割合(%)	12.7	9.6	12.7	13.5	15.0	15.2	14.8	4.8	11.1
	満足度	0.91	1.03	0.87	0.84	0.81	0.89	0.80	1.31	1.07
8)防犯対策	満足割合(%)	41.0	40.0	38.1	39.0	42.5	46.4	41.0	47.1	33.3
	不満割合(%)	25.2	20.7	28.7	30.0	29.2	26.1	14.8	15.4	23.8
	満足度	0.20	0.32	0.09	0.07	0.09	0.22	0.51	0.63	0.11
9)地震などの災害対策	満足割合(%)	32.9	37.8	34.4	34.5	28.8	35.5	26.2	35.6	27.0
	不満割合(%)	22.2	14.8	20.5	26.2	25.7	26.8	19.7	16.3	23.8
	満足度	0.14	0.49	0.25	0.05	-0.11	0.09	0.07	0.41	-0.06
10)火災などへの消防対策	満足割合(%)	43.9	44.4	34.4	41.9	46.0	54.3	49.2	52.9	33.3
	不満割合(%)	12.0	6.7	13.9	13.5	11.1	11.6	12.3	7.7	20.6
	満足度	0.64	0.90	0.49	0.53	0.63	0.74	0.68	0.97	0.32
11)交通安全環境(通学路の安全など)の整備	満足割合(%)	37.9	45.9	37.3	35.6	37.6	40.6	27.0	45.2	27.0
	不満割合(%)	39.3	30.4	43.4	47.6	40.7	37.7	36.1	27.9	41.3
	満足度	-0.16	0.17	-0.24	-0.36	-0.22	-0.06	-0.25	0.21	-0.37
12)緑や水辺の保全や自然環境	満足割合(%)	66.3	69.6	75.4	72.7	63.3	58.7	60.7	54.8	52.4
	不満割合(%)	16.3	14.8	14.8	13.5	18.1	21.7	17.2	15.4	20.6
	満足度	0.74	0.92	0.86	0.81	0.59	0.54	0.58	0.81	0.46
13)公園や遊び場	満足割合(%)	64.9	68.9	72.5	74.5	65.0	58.7	53.3	48.1	49.2
	不満割合(%)	19.3	14.8	20.1	17.2	22.1	21.0	18.0	21.2	23.8
	満足度	0.68	0.93	0.76	0.80	0.57	0.58	0.46	0.50	0.48
14)住宅環境	満足割合(%)	67.8	70.4	71.7	74.2	65.9	65.9	61.5	63.5	47.6
	不満割合(%)	16.7	11.9	19.3	16.5	19.9	19.6	13.1	9.6	22.2
	満足度	0.69	0.94	0.69	0.70	0.57	0.64	0.68	0.87	0.32
15)道路整備	満足割合(%)	55.2	63.0	56.1	59.2	53.1	58.7	42.6	50.0	44.4
	不満割合(%)	35.2	23.7	38.1	35.6	38.5	32.6	45.1	31.7	33.3
	満足度	0.20	0.58	0.22	0.17	0.09	0.28	-0.16	0.20	0.16
16)上水道整備	満足割合(%)	64.9	59.3	66.0	71.2	65.9	60.1	61.5	65.4	60.3
	不満割合(%)	18.4	12.6	16.4	15.7	23.0	26.1	24.6	12.5	14.3
	満足度	0.68	0.86	0.78	0.75	0.53	0.43	0.50	0.91	0.77
17)下水道整備	満足割合(%)	64.9	63.0	66.4	68.5	66.8	62.3	57.4	64.4	58.7
	不満割合(%)	18.7	9.6	16.4	18.0	21.7	26.1	25.4	14.4	17.5
	満足度	0.66	0.99	0.74	0.68	0.56	0.39	0.43	0.84	0.73

## 教育・文化

		全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
18)地域交流センターや図書館などの文化施設	満足割合(%)	57.1	66.7	60.2	64.0	55.3	47.8	50.0	45.2	54.0
	不満割合(%)	21.0	11.9	22.5	21.3	23.0	28.3	20.5	18.3	17.5
	満足度	0.55	0.96	0.54	0.57	0.45	0.34	0.45	0.55	0.56
19)スポーツ・レクリエーション	満足割合(%)	43.6	41.5	43.9	50.6	45.6	41.3	36.9	39.4	38.1
	不満割合(%)	14.9	7.4	16.8	14.6	16.8	19.6	15.6	12.5	11.1
	満足度	0.53	0.82	0.49	0.60	0.43	0.36	0.50	0.63	0.61
20)生涯学習	満足割合(%)	32.9	29.6	25.8	34.5	35.0	38.4	35.2	35.6	33.3
	不満割合(%)	12.3	5.9	11.5	10.9	13.3	19.6	13.1	12.5	14.3
	満足度	0.47	0.69	0.37	0.54	0.42	0.28	0.53	0.60	0.47
21)文化・芸術	満足割合(%)	42.9	46.7	38.9	49.8	45.6	40.6	35.2	41.3	38.1
	不満割合(%)	13.3	8.9	13.5	12.0	15.5	18.1	11.5	11.5	12.7
	満足度	0.56	0.77	0.52	0.65	0.49	0.40	0.53	0.67	0.47
22)文化財等の保存・調査	満足割合(%)	28.3	28.9	24.6	33.7	29.2	34.1	18.9	25.0	27.0
	不満割合(%)	8.2	4.4	6.1	7.5	10.2	10.1	9.8	9.6	9.5
	満足度	0.58	0.93	0.68	0.63	0.42	0.62	0.31	0.53	0.39
23)小中学校の学校教育	満足割合(%)	38.1	35.6	36.9	43.8	43.8	31.2	28.7	36.5	36.5
	不満割合(%)	15.3	11.9	16.8	24.3	15.5	13.0	8.2	8.7	7.9
	満足度	0.43	0.66	0.32	0.24	0.49	0.43	0.56	0.79	0.64
24)青少年の健全育成対策	満足割合(%)	24.8	28.1	19.7	28.1	25.7	23.2	23.0	26.0	25.4
	不満割合(%)	13.4	10.4	9.8	17.6	16.8	15.9	9.0	10.6	14.3
	満足度	0.26	0.54	0.29	0.10	0.15	0.11	0.49	0.50	0.24
25)平和・人権教育	満足割合(%)	23.2	25.2	16.4	29.2	22.6	25.4	16.4	27.9	23.8
	不満割合(%)	10.5	5.2	7.4	12.0	14.2	13.0	10.7	9.6	11.1
	満足度	0.35	0.83	0.36	0.33	0.14	0.30	0.21	0.56	0.36
26)男女共同参画	満足割合(%)	24.8	27.4	18.9	29.2	27.9	25.4	18.9	27.9	20.6
	不満割合(%)	9.7	6.7	8.2	10.1	11.9	13.8	7.4	8.7	11.1
	満足度	0.45	0.76	0.42	0.46	0.40	0.30	0.50	0.61	0.15
27)国際化への対応(外国人へのサポートなど)	満足割合(%)	34.8	45.2	34.4	44.6	35.0	31.9	23.0	23.1	22.2
	不満割合(%)	7.4	3.7	9.0	7.9	6.6	9.4	5.7	6.7	9.5
	満足度	0.75	1.15	0.67	0.78	0.72	0.56	0.69	0.71	0.40

## 産業

		全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
28)農業の振興	満足割合(%)	23.1	34.8	22.5	25.5	21.2	18.8	18.0	21.2	20.6
	不満割合(%)	17.7	7.4	16.4	15.7	20.8	25.4	16.4	18.3	27.0
	満足度	0.05	0.86	0.07	0.17	-0.15	-0.31	-0.12	0.02	-0.33
29)商業・工業の振興	満足割合(%)	25.1	34.1	24.2	33.0	23.9	20.3	15.6	20.2	20.6
	不満割合(%)	15.7	6.7	14.3	12.7	19.0	24.6	14.8	18.3	19.0
	満足度	0.18	0.84	0.16	0.43	-0.01	-0.21	-0.14	0.08	-0.08
30)観光の振興	満足割合(%)	31.9	34.1	29.5	40.1	35.4	28.3	24.6	26.0	23.8
	不満割合(%)	21.6	20.0	26.6	22.5	19.0	25.4	16.4	16.3	23.8
	満足度	0.11	0.18	-0.03	0.20	0.24	-0.09	0.04	0.27	-0.17
31)新しい産業・起業しやすい環境の創出	満足割合(%)	19.7	25.9	18.9	24.7	19.9	15.9	11.5	17.3	15.9
	不満割合(%)	16.6	11.1	17.2	13.9	17.7	25.4	14.8	14.4	19.0
	満足度	-0.01	0.44	-0.06	0.21	-0.06	-0.46	-0.38	0.12	-0.14
32)雇用促進(就業支援)	満足割合(%)	15.3	17.8	13.1	18.7	15.9	15.9	12.3	13.5	11.1
	不満割合(%)	25.0	15.6	26.6	25.1	27.9	30.4	21.3	21.2	31.7
	満足度	-0.49	-0.13	-0.64	-0.35	-0.58	-0.55	-0.59	-0.31	-0.78

## 地域・行政

		全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
33)近所づきあい	満足割合(%)	59.0	50.4	45.9	65.5	56.6	66.7	70.5	67.3	54.0
	不満割合(%)	16.2	11.9	16.0	13.9	22.1	17.4	15.6	13.5	20.6
	満足度	0.62	0.65	0.52	0.72	0.41	0.62	0.73	0.80	0.51
34)区会・自治会などの地域活動	満足割合(%)	49.6	37.0	32.4	55.1	51.3	60.9	61.5	53.8	52.4
	不満割合(%)	15.0	8.1	15.6	13.5	20.8	15.9	18.9	6.7	20.6
	満足度	0.55	0.64	0.30	0.58	0.40	0.64	0.57	0.98	0.48
35)市の広報・ホームページ	満足割合(%)	60.5	52.6	53.7	68.2	59.3	67.4	63.1	56.7	58.7
	不満割合(%)	13.4	11.9	18.0	11.2	16.4	11.6	10.7	9.6	14.3
	満足度	0.73	0.72	0.56	0.79	0.64	0.83	0.84	0.94	0.67
36)行財政改革の推進(健全な財政運営)	満足割合(%)	24.3	24.4	20.1	28.5	26.1	23.9	23.0	22.1	22.2
	不満割合(%)	20.7	10.4	23.0	22.1	21.2	25.4	20.5	16.3	23.8
	満足度	-0.03	0.30	-0.20	0.02	-0.03	-0.16	-0.21	0.30	-0.10
37)情報通信技術を活用した行政サービス	満足割合(%)	31.8	34.8	28.7	37.5	31.4	34.8	23.8	28.8	30.2
	不満割合(%)	16.4	8.9	20.9	17.2	16.4	18.1	13.9	12.5	17.5
	満足度	0.28	0.66	0.06	0.29	0.27	0.27	0.22	0.53	0.20

### ③-2 満足度の計算結果（地区別クロス集計）

項目ごとの満足割合，不満割合，満足度の年齢別クロス集計を行いました。  
満足割合，不満割合の考え方は以下に示すとおりです。

満足割合：「満足」の回答割合＋「どちらかといえば満足」の回答割合  
不満割合：「どちらかといえば不満」の回答割合＋「不満」の回答割合

満足度が最も高い地区：

満足度が最も低い地区：

#### 健康・福祉

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荃崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
1)健康診断などの保健サービス	満足割合(%)	64.3	61.9	71.0	77.4	67.2	67.1	64.4	59.1	59.8
	不満割合(%)	14.6	13.3	10.8	11.8	15.7	13.1	17.2	15.0	18.4
	満足度	0.78	0.79	0.89	1.00	0.81	0.84	0.76	0.70	0.62
2)病院・診療所などの医療機関	満足割合(%)	79.2	76.1	88.2	81.7	83.6	78.8	70.6	79.2	81.6
	不満割合(%)	12.2	11.5	5.4	11.8	10.4	13.1	17.8	12.1	11.5
	満足度	0.98	0.94	1.21	1.10	1.03	1.00	0.78	0.97	0.93
3)保育園・学童クラブなど子育て支援サービス	満足割合(%)	32.1	27.4	45.2	49.5	38.1	27.5	22.1	32.2	26.4
	不満割合(%)	14.3	15.9	9.7	12.9	9.0	15.8	17.2	11.9	29.9
	満足度	0.39	0.22	0.78	0.64	0.70	0.23	0.16	0.47	-0.20
4)高齢者の福祉	満足割合(%)	23.1	30.1	30.1	41.9	29.1	28.8	24.5	12.3	10.3
	不満割合(%)	16.6	21.2	16.1	16.1	12.7	18.5	25.8	14.0	8.0
	満足度	0.10	0.10	0.26	0.54	0.41	0.16	-0.12	-0.21	0.00
5)障害者の福祉	満足割合(%)	18.3	23.0	24.7	36.6	23.1	21.2	19.0	10.2	8.0
	不満割合(%)	14.2	14.2	18.3	16.1	14.2	12.2	21.5	12.1	9.2
	満足度	0.04	0.17	0.15	0.39	0.30	0.18	-0.24	-0.26	-0.27

#### 生活環境・防犯・防災・まちづくり

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荃崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
6)生活環境(騒音・悪臭など)対策	満足割合(%)	53.6	46.0	49.5	53.8	52.2	55.0	54.0	55.4	57.5
	不満割合(%)	24.2	22.1	26.9	26.9	23.1	22.1	23.3	24.5	28.7
	満足度	0.38	0.29	0.31	0.36	0.46	0.47	0.40	0.35	0.32
7)ごみ処理	満足割合(%)	77.7	69.9	72.0	80.6	73.9	77.5	82.8	78.9	81.6
	不満割合(%)	12.7	13.3	17.2	12.9	16.4	12.2	10.4	12.1	9.2
	満足度	0.91	0.87	0.78	0.99	0.85	0.97	1.00	0.86	1.01
8)防犯対策	満足割合(%)	41.0	38.1	46.2	49.5	42.5	42.3	39.3	39.2	36.8
	不満割合(%)	25.2	20.4	21.5	22.6	20.1	22.1	27.6	28.6	33.3
	満足度	0.20	0.26	0.37	0.45	0.38	0.31	0.17	0.06	-0.07
9)地震などの災害対策	満足割合(%)	32.9	26.5	34.4	47.3	32.8	32.4	31.9	30.8	36.8
	不満割合(%)	22.2	24.8	21.5	18.3	19.4	22.1	28.2	22.5	16.1
	満足度	0.14	-0.12	0.15	0.51	0.29	0.12	-0.06	0.08	0.48
10)火災などへの消防対策	満足割合(%)	43.9	46.9	54.8	59.1	54.5	42.3	49.1	34.1	35.6
	不満割合(%)	12.0	10.6	10.8	9.7	5.2	11.7	18.4	13.6	9.2
	満足度	0.64	0.69	0.79	0.88	0.99	0.63	0.53	0.43	0.69
11)交通安全環境(通学路の安全など)の整備	満足割合(%)	37.9	31.9	38.7	35.5	46.3	28.4	34.4	44.1	35.6
	不満割合(%)	39.3	36.3	44.1	44.1	35.8	43.7	42.3	35.1	41.4
	満足度	-0.16	-0.25	-0.21	-0.22	0.04	-0.43	-0.21	-0.01	-0.28
12)緑や水辺の保全や自然環境	満足割合(%)	66.3	57.5	58.1	65.6	68.7	59.5	58.9	76.3	67.8
	不満割合(%)	16.3	15.9	18.3	15.1	21.6	17.6	19.0	11.6	21.8
	満足度	0.74	0.64	0.59	0.76	0.64	0.65	0.63	0.93	0.58
13)公園や遊び場	満足割合(%)	64.9	36.3	55.9	64.5	67.2	59.0	55.8	79.9	70.1
	不満割合(%)	19.3	32.7	24.7	19.4	22.4	19.4	22.7	10.7	26.4
	満足度	0.68	-0.08	0.41	0.64	0.69	0.61	0.42	1.05	0.56
14)住宅環境	満足割合(%)	67.8	50.4	68.8	73.1	76.1	64.9	59.5	70.5	80.5
	不満割合(%)	16.7	19.5	17.2	12.9	14.9	11.7	23.9	18.6	9.2
	満足度	0.69	0.47	0.68	0.85	0.81	0.79	0.43	0.68	0.91
15)道路整備	満足割合(%)	55.2	42.5	58.1	55.9	61.9	50.9	41.1	59.8	73.6
	不満割合(%)	35.2	41.6	31.2	35.5	30.6	32.9	50.9	33.9	20.7
	満足度	0.20	-0.15	0.33	0.20	0.39	0.13	-0.22	0.28	0.72
16)上水道整備	満足割合(%)	64.9	53.1	46.2	53.8	73.9	54.5	71.2	73.6	72.4
	不満割合(%)	18.4	25.7	34.4	28.0	13.4	23.9	16.0	12.6	8.0
	満足度	0.68	0.36	0.07	0.37	0.91	0.40	0.77	0.88	1.09
17)下水道整備	満足割合(%)	64.9	43.4	57.0	57.0	75.4	49.1	73.6	74.3	72.4
	不満割合(%)	18.7	31.9	28.0	24.7	11.9	30.2	14.7	11.6	6.9
	満足度	0.66	0.05	0.39	0.50	0.93	0.15	0.82	0.90	1.12

## 教育・文化

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荃崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
18)地域交流センターや図書館などの文化施設	満足割合(%)	57.1	34.5	60.2	62.4	59.0	53.2	54.0	64.4	56.3
	不満割合(%)	21.0	27.4	19.4	17.2	23.1	17.1	22.1	19.9	28.7
	満足度	0.55	0.04	0.61	0.66	0.55	0.58	0.48	0.68	0.32
19)スポーツ・レクリエーション	満足割合(%)	43.6	31.9	49.5	47.3	44.8	43.2	37.4	46.7	44.8
	不満割合(%)	14.9	16.8	12.9	11.8	18.7	13.5	21.5	13.6	9.2
	満足度	0.53	0.27	0.71	0.53	0.42	0.54	0.27	0.63	0.83
20)生涯学習	満足割合(%)	32.9	26.5	36.6	40.9	35.1	32.4	35.6	31.2	28.7
	不満割合(%)	12.3	15.0	7.5	10.8	16.4	11.7	16.6	11.1	8.0
	満足度	0.47	0.19	0.66	0.58	0.36	0.49	0.40	0.50	0.59
21)文化・芸術	満足割合(%)	42.9	32.7	43.0	47.3	49.3	41.9	33.1	47.5	40.2
	不満割合(%)	13.3	15.0	11.8	12.9	11.9	10.8	19.6	12.6	12.6
	満足度	0.56	0.33	0.57	0.57	0.63	0.67	0.26	0.64	0.54
22)文化財等の保存・調査	満足割合(%)	28.3	24.8	29.0	39.8	36.6	27.9	25.2	25.9	25.3
	不満割合(%)	8.2	10.6	8.6	7.5	6.0	8.1	12.3	7.5	4.6
	満足度	0.58	0.35	0.54	0.70	0.79	0.64	0.33	0.57	0.81
23)小中学校の学校教育	満足割合(%)	38.1	31.9	40.9	39.8	47.0	38.7	27.6	39.2	40.2
	不満割合(%)	15.3	17.7	16.1	20.4	14.9	15.8	16.6	11.9	19.5
	満足度	0.43	0.11	0.47	0.30	0.57	0.43	0.22	0.61	0.25
24)青少年の健全育成対策	満足割合(%)	24.8	20.4	28.0	37.6	34.3	23.9	23.9	20.6	23.0
	不満割合(%)	13.4	15.0	14.0	17.2	13.4	13.5	16.0	12.3	6.9
	満足度	0.26	0.08	0.28	0.33	0.42	0.25	0.17	0.18	0.58
25)平和・人権教育	満足割合(%)	23.2	18.6	24.7	39.8	31.3	22.5	19.6	20.3	19.5
	不満割合(%)	10.5	12.4	9.7	7.5	12.7	11.3	12.9	9.2	9.2
	満足度	0.35	0.20	0.41	0.73	0.41	0.32	0.15	0.32	0.40
26)男女共同参画	満足割合(%)	24.8	20.4	24.7	40.9	32.1	24.8	20.2	23.0	19.5
	不満割合(%)	9.7	9.7	11.8	9.7	14.2	9.0	12.9	7.7	5.7
	満足度	0.45	0.24	0.29	0.66	0.47	0.49	0.22	0.51	0.68
27)国際化への対応(外国人へのサポートなど)	満足割合(%)	34.8	24.8	33.3	45.2	41.0	31.1	20.9	40.2	39.1
	不満割合(%)	7.4	8.0	7.5	4.3	6.0	5.0	10.4	8.7	5.7
	満足度	0.75	0.59	0.63	0.91	0.84	0.81	0.43	0.75	0.90

## 産業

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荃崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
28)農業の振興	満足割合(%)	23.1	18.6	19.4	28.0	26.9	23.9	19.6	22.0	31.0
	不満割合(%)	17.7	25.7	31.2	24.7	25.4	17.6	17.8	10.7	6.9
	満足度	0.05	-0.44	-0.38	0.04	0.01	0.03	-0.03	0.30	0.67
29)商業・工業の振興	満足割合(%)	25.1	20.4	30.1	37.6	25.4	25.2	18.4	23.7	31.0
	不満割合(%)	15.7	28.3	16.1	15.1	17.2	18.9	17.2	10.9	9.2
	満足度	0.18	-0.36	0.19	0.39	0.28	0.07	0.00	0.34	0.49
30)観光の振興	満足割合(%)	31.9	25.7	38.7	37.6	32.1	30.6	23.9	34.6	31.0
	不満割合(%)	21.6	30.1	22.6	18.3	19.4	23.9	20.9	18.6	26.4
	満足度	0.11	-0.29	0.19	0.37	0.26	0.01	-0.11	0.23	0.06
31)新しい産業・起業しやすい環境の創出	満足割合(%)	19.7	15.9	19.4	28.0	21.6	17.6	19.6	19.1	20.7
	不満割合(%)	16.6	24.8	17.2	14.0	15.7	20.3	19.0	13.6	10.3
	満足度	-0.01	-0.52	-0.03	0.33	0.18	-0.20	-0.11	0.09	0.33
32)雇用促進(就業支援)	満足割合(%)	15.3	15.9	16.1	26.9	14.9	15.3	14.7	12.1	18.4
	不満割合(%)	25.0	30.1	33.3	24.7	30.6	26.6	29.4	18.9	18.4
	満足度	-0.49	-0.63	-0.59	-0.08	-0.57	-0.55	-0.61	-0.47	-0.22

## 地域・行政

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荃崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
33)近所つきあい	満足割合(%)	59.0	63.7	68.8	71.0	65.7	63.5	66.9	47.9	46.0
	不満割合(%)	16.2	15.0	19.4	16.1	14.2	15.8	15.3	17.2	14.9
	満足度	0.62	0.76	0.61	0.73	0.71	0.65	0.67	0.47	0.51
34)区会・自治会などの地域活動	満足割合(%)	49.6	48.7	53.8	66.7	53.0	52.3	62.0	41.6	31.0
	不満割合(%)	15.0	15.0	15.1	14.0	17.9	14.0	19.6	13.8	11.5
	満足度	0.55	0.61	0.66	0.69	0.55	0.59	0.56	0.45	0.38
35)市の広報・ホームページ	満足割合(%)	60.5	54.9	62.4	63.4	63.4	59.5	62.0	57.9	71.3
	不満割合(%)	13.4	10.6	8.6	11.8	11.9	13.5	15.3	16.0	10.3
	満足度	0.73	0.78	0.83	0.83	0.82	0.72	0.71	0.63	0.85
36)行財政改革の推進(健全な財政運営)	満足割合(%)	24.3	22.1	25.8	34.4	27.6	24.8	22.7	20.3	29.9
	不満割合(%)	20.7	17.7	20.4	22.6	17.2	18.5	24.5	23.5	13.8
	満足度	-0.03	0.02	-0.07	0.15	0.18	0.04	-0.10	-0.25	0.32
37)情報通信技術を活用した行政サービス	満足割合(%)	31.8	27.4	31.2	45.2	37.3	28.4	27.0	30.8	37.9
	不満割合(%)	16.4	15.9	16.1	14.0	13.4	14.9	18.4	19.4	10.3
	満足度	0.28	0.12	0.25	0.53	0.56	0.28	0.16	0.15	0.55

【問16で「どちらかといえば不満」または「不満」とお答えの方にお聞きします】  
 問17 不満と感じる項目番号 1)～37)と、その理由を教えてください。

<3つまで>

### ① 回答数の結果と傾向

不満と感じる回答が多かった項目から順に並べています。

順位	項目	回答数	コメント数
1	11) 交通安全環境(通学路の安全など)の整備	211	198
2	15) 道路整備	152	143
3	16) 上水道整備	97	87
4	6) 生活環境(騒音・悪臭など)対策	92	82
5	8) 防犯対策	83	77
6	4) 高齢者の福祉	79	56
7	3) 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス	73	53
8	17) 下水道整備	67	55
9	30) 観光の振興	61	60
10	13) 公園や遊び場	60	53
11	18) 地域交流センターや図書館などの文化施設	54	51
12	23) 小中学校の学校教育	52	46
13	12) 緑や水辺の保全や自然環境	49	35
14	7) ごみ処理	48	47
15	9) 地震などの災害対策	40	38
16	28) 農業の振興	37	31
17	32) 雇用促進(就業支援)	35	31
18	36) 行財政改革の推進(健全な財政運営)	32	28
19	2) 病院・診療所などの医療機関	30	36
20	19) スポーツ・レクリエーション	29	27
21	5) 障害者の福祉	28	25
22	1) 健康診断などの保健サービス	27	27
22	34) 区会・自治会などの地域活動	27	26
24	35) 市の広報・ホームページ	26	26
25	21) 文化・芸術	23	23
26	14) 住宅環境	22	21
26	31) 新しい産業・起業しやすい環境の創出	22	19
28	33) 近所づきあい	20	17
29	37) 情報通信技術を活用した行政サービス	18	16
30	29) 商業・工業の振興	16	12
31	20) 生涯学習	15	10
32	24) 青少年の健全育成対策	10	9
32	10) 火災などへの消防対策	10	8
34	26) 男女共同参画	8	8
35	27) 国際化への対応(外国人へのサポートなど)	7	7
36	25) 平和・人権教育	6	6
37	22) 文化財等の保存・調査	4	3

#### 《全体の傾向》

●特にコメントが多かった項目は、「11)交通安全環境(通学路の安全など)の整備」、「15)道路整備」、「16)上水道整備」、「6)生活環境(騒音・悪臭など)対策」などとなっています。

## ② 不満の理由

不満の理由を設問項目順にまとめました。コメントの上位3位まで掲載しています。

不満項目		回答数	不満理由 順位	不満理由	コメント数	総コメント数
健康・福祉	1) 健康診断などの保健サービス	27	1位	健康診断の内容が良くない	9	27
			2位	健康診断の受診機会が少ない	5	
			3位	健康診断の手続きが良くない	3	
	2) 病院・診療所などの医療機関	30	1位	病院などの医療機関が少ない	12	36
			2位	診療の待ち時間が長い、混雑している	7	
			3位	医療機関に行くのが不便	4	
	3) 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス	73	1位	保育園が少ない(施設が少ない)	19	53
			2位	年齢などの利用制限がある	8	
			3位	子育て関連サービスが利用しにくい	6	
	4) 高齢者の福祉	79	1位	高齢者への支援が十分でない	27	56
			2位	福祉施設が少ない	12	
			3位	交通が不便	8	
	5) 障害者の福祉	28	1位	障害者への支援が十分でない	9	25
			2位	障害者の雇用の場などが少ない	6	
			3位	バリアフリー化などの環境整備が十分でない	5	
生活環境・防犯・防災・まちづくり	6) 生活環境(騒音・悪臭など)対策	92	1位	暴走族などの騒音・振動が迷惑である	49	82
			2位	ごみなどの焼却、野焼きが迷惑である	15	
			3位	悪臭が迷惑である	11	
	7) ごみ処理	48	1位	ごみ捨て場が少ない	12	47
			2位	ごみの収集回数が少ない	7	
			3位	粗大ごみの収集システムが良くない	5	
	8) 防犯対策	83	1位	街灯が少なく夜道が暗い	40	77
			2位	警察の対応が良くない	15	
			3位	犯罪が多い	12	
	9) 地震などの災害対策	40	1位	災害時の情報などの伝達が十分でない	14	38
			2位	市の災害対策がわかりにくい	11	
			3位	災害時に物資などの対応がなかった	9	
	10) 火災などへの消防対策	10	1位	消火栓などの消火設備が十分でない	4	8
			2位	消防訓練や避難訓練などが十分でない	2	
	11) 交通安全環境(通学路の安全など)の整備	211	1位	歩道の整備が不十分のため危険である	96	198
			2位	道路の維持管理(標識不足や草刈り)が良くない	33	
			3位	自動車の運転マナーが悪い	22	
	12) 緑や水辺の保全や自然環境	49	1位	緑の保全が十分でない	22	35
			2位	緑の手入れ、管理が十分でない	11	
	13) 公園や遊び場	60	1位	公園が少ない	24	53
			2位	公園に遊具などの施設が十分でない	14	
3位			公園の手入れが十分でない	10		
14) 住宅環境	22	1位	周辺の住宅環境が良くない	5	21	
		2位	宅地計画が良くない	4		
		3位	隣地の維持管理が良くない	3		
15) 道路整備	152	1位	歩道(自転車道)の整備が十分でない	36	143	
		2位	維持・管理が良くない	22		
		3位	道路(車道)の舗装や表面が良くない	20		
16) 上水道整備	97	1位	上水道が整備されていない	35	87	
		2位	水道料金が高い	22		
		3位	水質が良くない	18		
17) 下水道整備	67	1位	下水道が整備されていない	31	55	
		2位	下水道料金が高い	12		
		3位	地区間の格差が大きい	3		



不満 項目		回答数	不満理由 順位	不満理由	コメント数	総コメント数
教育・文化	18) 地域交流センターや図書館などの文化施設	54	1位	施設が利用しにくい	12	51
			2位	図書館などの施設が近くにない、数が少ない	10	
			2位	駐車場が使いにくく、料金がかかる	10	
	19) スポーツ・レクリエーション	29	1位	スポーツ施設が近くにない数が少ない	10	27
			2位	施設の使用料が高い	5	
			3位	施設の予約が取りにくい	2	
			3位	施設に関する情報が少ない	2	
			3位	維持・管理・運営が良くない	2	
	20) 生涯学習	15	1位	受講科目が少ない	4	10
			2位	時間が合わない	2	
			2位	休日の講座が少ない	2	
	21) 文化・芸術	23	1位	文化・芸術関連のイベントが少ない	7	23
			1位	施設に関する情報が少ない	7	
			2位	文化・芸術関連の施設が少ない	3	
	22) 文化財等の保存・調査	4	1位	具体像が一般人には見えない	2	3
				※以下、回答数が1であるため、記載を省略	-	
	23) 小中学校の学校教育	52	1位	授業、教育内容が良くない	9	46
			2位	教職員の水準が低い	7	
			3位	地区間の格差が大きい	5	
24) 青少年の健全育成対策	10	1位	暴走行為、不良行為への対策が十分でない	5	9	
		2位	青少年の指導・教育が十分でない	3		
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略	-		
25) 平和・人権教育	6	1位	平和・人権への取組みが十分でない	3	6	
		2位	PRや情報発信が十分でない	2		
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略	-		
26) 男女共同参画	8	1位	体制が整っていない	3	8	
		1位	取組が表面的、形式的である	3		
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略	-		
27) 国際化への対応(外国人へのサポートなど)	7	1位	外国人へのサポート体制が十分でない	3	7	
		2位	英語表記や通訳などが十分でない	3		
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略	-		
産業	28) 農業の振興	37	1位	農業の支援が十分でない	8	31
			1位	休耕地が多い	8	
			2位	後継者が少ない	4	
	29) 商業・工業の振興	16	1位	地域の商店が不振	5	12
			2位	商業の振興策や取組が十分でない	4	
				※以下、回答数が1であるため、記載を省略	-	
	30) 観光の振興	61	1位	筑波山観光の振興策が十分でない	14	60
			2位	観光PRが十分でない	13	
			3位	つくばの観光の目玉がない	9	
	31) 新しい産業・起業しやすい環境の創出	22	1位	環境づくりへの取組が見えない	6	19
2位			支援内容が十分でない	4		
3位			つくばらしい産業づくりが十分でない	3		
32) 雇用促進(就業支援)	35	1位	雇用の機会が足りない	20	31	
		2位	雇用の支援策が十分でない	6		
		3位	雇用情報、雇用促進のPRなどが十分でない	5		
地域・行政	33) 近所づきあい	20	1位	近所づきあいが希薄である	11	17
			2位	近所づきあいが多く苦痛である	3	
				※以下、回答数が1であるため、記載を省略	-	
	34) 区会・自治会などの地域活動	27	1位	自治会の活動内容がわからない	8	26
			2位	自治会が閉鎖的である	7	
			3位	自治会がない、活動していない	6	
	35) 市の広報・ホームページ	26	1位	ホームページがわかりにくく、使いにくい	11	26
			2位	広報の内容がわかりにくい	6	
			3位	パソコンが使えない人への配慮が十分でない	3	
	36) 行財政改革の推進(健全な財政運営)	32	1位	効果的、効率的な財政運営が十分でない	13	28
			2位	税金や公共料金が高い	7	
3位			人件費などの削減が十分でない	4		
37) 情報通信技術を活用した行政サービス	18	1位	情報通信技術の活用が十分でない	7	16	
		2位	市からの情報提供が十分でない	5		
		3位	情報通信技術が使えない	3		



問18 あなたは、現在のつくば市にどのようなイメージをお持ちですか。また、今後つくば市はどのようなまちづくりを目指していくべきだと思いますか。

<それぞれ3つまで>

① 全体集計の結果と傾向

<「現在のまちのイメージ」と「今後目指すまちづくり」の比較>

n=1,318

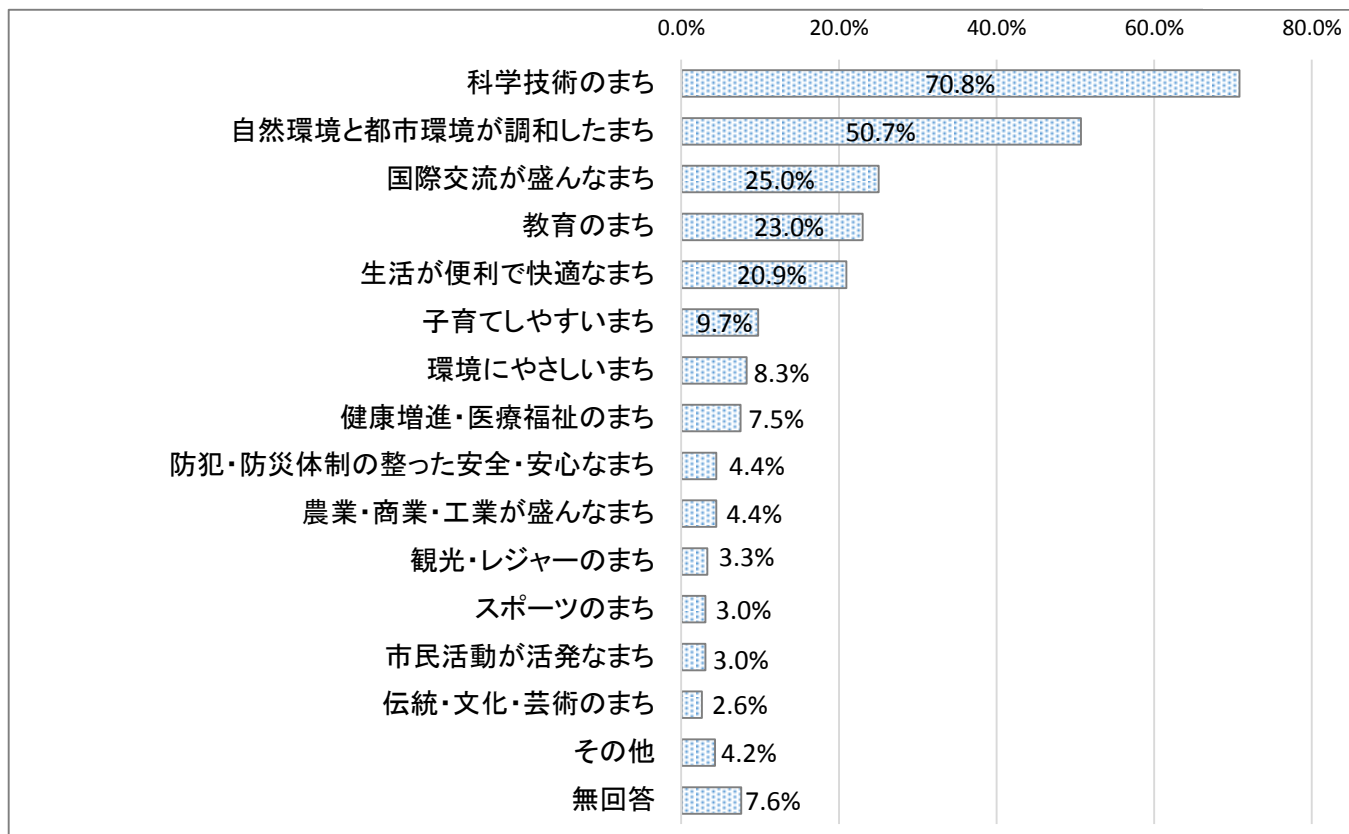
選 択 肢	回 答 数	
	現在のまちのイメージ	今後目指すべきまちづくり
自然環境と都市環境が調和したまち	668	346
生活が便利で快適なまち	276	484
科学技術のまち	933	110
環境にやさしいまち	109	254
防犯・防災体制の整った安全・安心なまち	58	516
観光・レジャーのまち	44	143
健康増進・医療福祉のまち	99	338
スポーツのまち	40	64
子育てしやすいまち	128	387
教育のまち	303	136
伝統・文化・芸術のまち	34	133
市民活動が活発なまち	40	101
国際交流が盛んなまち	330	175
農業・商業・工業が盛んなまち	58	217
その他（現在のまちのイメージ）	56	
その他（今後目指すべきまちづくり）		46
無回答	100	84

《全体の傾向》

- 現在のまちのイメージは、「科学技術のまち」、「自然環境と都市環境が調和したまち」が多くなっています。
- 今後目指すべきまちづくりでは、「防犯・防災体制の整った安全・安心なまち」、「生活が便利で快適なまち」が多くなっています。
- 「その他」は、現在のまちのイメージでは「地域差が生じているまち」、今後目指すべきまちづくりでは「交通網の整ったまち」、「自然や緑を保全し、創出するまち」などとなっています。

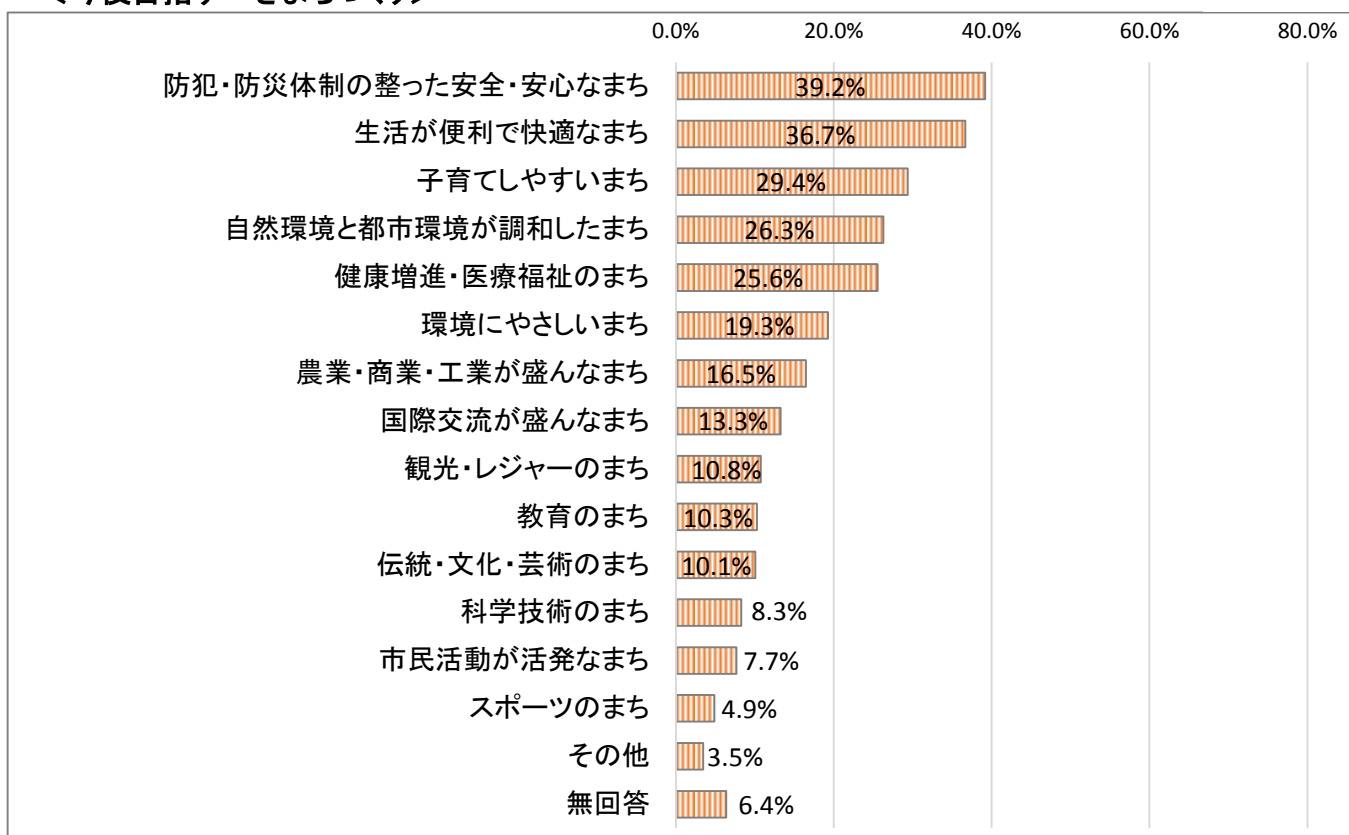
## <現在のまちのイメージ>

n=1,318



## <今後目指すべきまちづくり>

n=1,318



②-1 クロス集計の結果（現在のイメージ・今後目指すべきまちづくりと年齢別構成比 上位5位）

＜現在のまちのイメージ＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		生活が便利で快適なまち		国際交流が盛んなまち		教育のまち	
	97	71.9%	75	55.6%	34	25.2%	33	24.4%	25	18.5%
30歳代 (n=244)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		国際交流が盛んなまち		教育のまち		生活が便利で快適なまち	
	201	82.4%	130	53.3%	70	28.7%	62	25.4%	54	22.1%
40歳代 (n=267)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		教育のまち		国際交流が盛んなまち		生活が便利で快適なまち	
	200	74.9%	140	52.4%	74	27.7%	69	25.8%	65	24.3%
50歳代 (n=226)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		国際交流が盛んなまち		教育のまち		生活が便利で快適なまち	
	161	71.2%	112	49.6%	64	28.3%	53	23.5%	37	16.4%
60～64歳 (n=138)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		教育のまち		国際交流が盛んなまち		生活が便利で快適なまち	
	90	65.2%	65	47.1%	34	24.6%	33	23.9%	25	18.1%
65～69歳 (n=122)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		国際交流が盛んなまち		教育のまち		環境にやさしいまち	
	81	66.4%	57	46.7%	32	26.2%	26	21.3%	15	12.3%
70～74歳 (n=104)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		生活が便利で快適なまち		国際交流が盛んなまち		健康増進・医療福祉のまち／教育のまち	
	59	56.7%	49	47.1%	29	27.9%	18	17.3%	15	14.4%
75歳以上 (n=63)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		環境にやさしいまち／教育のまち				生活が便利で快適なまち	
	31	49.2%	28	44.4%	12		19.0%		9	14.3%

＜今後目指すべきまちづくり＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	生活が便利で快適なまち		子育てしやすいまち		防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		自然環境と都市環境が調和したまち		観光・レジャーのまち	
	55	40.7%	42	31.1%	41	30.4%	37	27.4%	30	22.2%
30歳代 (n=244)	子育てしやすいまち		防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		生活が便利で快適なまち		自然環境と都市環境が調和したまち		環境にやさしいまち	
	120	49.2%	96	39.3%	76	31.1%	69	28.3%	48	19.7%
40歳代 (n=267)	防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		生活が便利で快適なまち		子育てしやすいまち		自然環境と都市環境が調和したまち		環境にやさしいまち	
	109	40.8%	96	36.0%	81	30.3%	69	25.8%	58	21.7%
50歳代 (n=226)	防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		生活が便利で快適なまち		自然環境と都市環境が調和したまち		健康増進・医療福祉のまち		子育てしやすいまち	
	103	45.6%	94	41.6%	80	35.4%	64	28.3%	50	22.1%
60～64歳 (n=138)	生活が便利で快適なまち		防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		健康増進・医療福祉のまち		環境にやさしいまち		自然環境と都市環境が調和したまち／農業・商業・工業が盛なまち	
	58	42.0%	54	39.1%	49	35.5%	38	27.5%	32	23.2%
65～69歳 (n=122)	生活が便利で快適なまち		健康増進・医療福祉のまち		防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		子育てしやすいまち		自然環境と都市環境が調和したまち／農業・商業・工業が盛なまち	
	52	42.6%	51	41.8%	47	38.5%	28	23.0%	27	22.1%
70～74歳 (n=104)	防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		健康増進・医療福祉のまち		生活が便利で快適なまち		子育てしやすいまち／農業・商業・工業が盛なまち			
	42	40.4%	37	35.6%	26	25.0%	22		21.2%	
75歳以上 (n=63)	生活が便利で快適なまち		健康増進・医療福祉のまち		防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		農業・商業・工業が盛なまち		自然環境と都市環境が調和したまち	
	23	36.5%	21	33.3%	20	31.7%	15	23.8%	12	19.0%

＜年齢別の傾向＞

- 現在のまちのイメージは、すべての年齢で「科学技術のまち」、「自然環境と都市環境が調和したまち」が多くなっています。
- 今後目指すべきまちのづくりでは、「防犯・防災体制の整った安全・安心なまち」、「生活が便利で快適なまち」が多くなっています。

②-2 クロス集計の結果（現在のイメージ・今後目指すべきまちづくりと地区別構成比 上位5位）

＜現在のまちのイメージ＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		国際交流が盛んなまち		教育のまち		生活が便利で快適なまち	
	72	63.7%	60	53.1%	22	19.5%	19	16.8%	14	12.4%
大穂地区 (n=93)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		国際交流が盛んなまち		生活が便利で快適なまち		教育のまち	
	67	72.0%	44	47.3%	22	23.7%	19	20.4%	14	15.1%
豊里地区 (n=93)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		生活が便利で快適なまち		国際交流が盛んなまち		教育のまち	
	70	75.3%	50	53.8%	29	31.2%	20	21.5%	15	16.1%
谷田部地区 (n=222)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		国際交流が盛んなまち		生活が便利で快適なまち		教育のまち	
	133	59.9%	116	52.3%	57	25.7%	53	23.9%	43	19.4%
桜地区 (n=134)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		国際交流が盛んなまち		教育のまち		生活が便利で快適なまち	
	94	70.1%	64	47.8%	44	32.8%	38	28.4%	28	20.9%
荃崎地区 (n=163)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		国際交流が盛んなまち		教育のまち		生活が便利で快適なまち	
	101	62.0%	73	44.8%	31	19.0%	30	18.4%	23	14.1%
研究学園地区 (n=413)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		教育のまち		国際交流が盛んなまち		生活が便利で快適なまち	
	324	78.5%	215	52.1%	122	29.5%	118	28.6%	91	22.0%
TX沿線地区 (n=87)	科学技術のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		教育のまち		生活が便利で快適なまち		国際交流が盛んなまち	
	72	82.8%	46	52.9%	22	25.3%	19	21.8%	16	18.4%

＜今後目指すべきまちづくり＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	生活が便利で快適なまち		防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		子育てしやすいまち		農業・商業・工業が盛なまち		自然環境と都市環境が調和したまち／環境にやさしいまち／健康増進・医療福祉のまち	
	42	37.2%	38	33.6%	33	29.2%	24	21.2%	23	20.4%
大穂地区 (n=93)	生活が便利で快適なまち		防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		子育てしやすいまち		農業・商業・工業が盛なまち		健康増進・医療福祉のまち	
	43	46.2%	36	38.7%	25	26.9%	23	24.7%	22	23.7%
豊里地区 (n=93)	防犯・防災体制の整った安全・安心なまち／健康増進・医療福祉のまち		生活が便利で快適なまち		子育てしやすいまち		生活が便利で快適なまち		自然環境と都市環境が調和したまち	
	32	34.4%	70	31.5%	30	32.3%	29	31.2%	24	25.8%
谷田部地区 (n=222)	防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		生活が便利で快適なまち		健康増進・医療福祉のまち		子育てしやすいまち		自然環境と都市環境が調和したまち	
	93	41.9%	70	31.5%	65	29.3%	55	24.8%	54	24.3%
桜地区 (n=134)	防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		生活が便利で快適なまち		健康増進・医療福祉のまち		自然環境と都市環境が調和したまち		環境にやさしいまち	
	52	38.8%	51	38.1%	37	27.6%	35	26.1%	34	25.4%
荃崎地区 (n=163)	生活が便利で快適なまち		防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		健康増進・医療福祉のまち		子育てしやすいまち／自然環境と都市環境が調和したまち			
	82	50.3%	64	39.3%	50	30.7%	35	21.5%		
研究学園地区 (n=413)	防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		生活が便利で快適なまち		子育てしやすいまち		自然環境と都市環境が調和したまち		健康増進・医療福祉のまち	
	171	41.4%	140	33.9%	137	33.2%	126	30.5%	94	22.8%
TX沿線地区 (n=87)	子育てしやすいまち		防犯・防災体制の整った安全・安心なまち		自然環境と都市環境が調和したまち		生活が便利で快適なまち		環境にやさしいまち	
	40	46.0%	30	34.5%	28	32.2%	27	31.0%	16	18.4%

＜地区別の傾向＞

- 現在のまちのイメージは、すべての地区で「科学技術のまち」が最も多くなっています。
- 今後の目指すべきまちづくりは、すべての地区で「防犯・防災体制の整った安全・安心なまち」、「生活が便利で快適なまち」が上位に入っています。

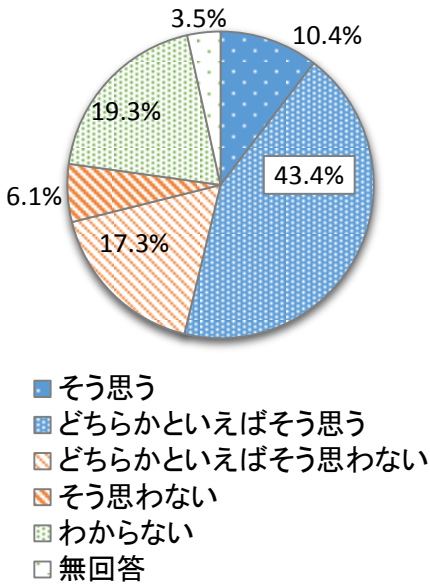
## 6 少子高齢化への取組について

問19 あなたは、つくば市には安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると思いますか。  
 <〇は1つ>

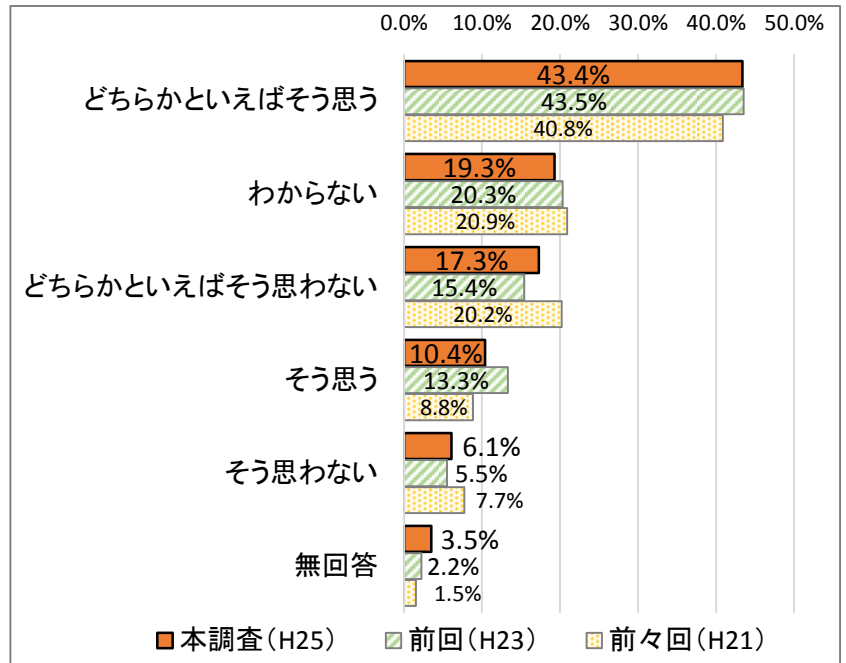
### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
そう思う	137	10.4%	13.3%	8.8%
どちらかといえばそう思う	572	43.4%	43.5%	40.8%
どちらかといえばそう思わない	228	17.3%	15.4%	20.2%
そう思わない	80	6.1%	5.5%	7.7%
わからない	255	19.3%	20.3%	20.9%
無回答	46	3.5%	2.2%	1.5%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



<過年度調査との比較>

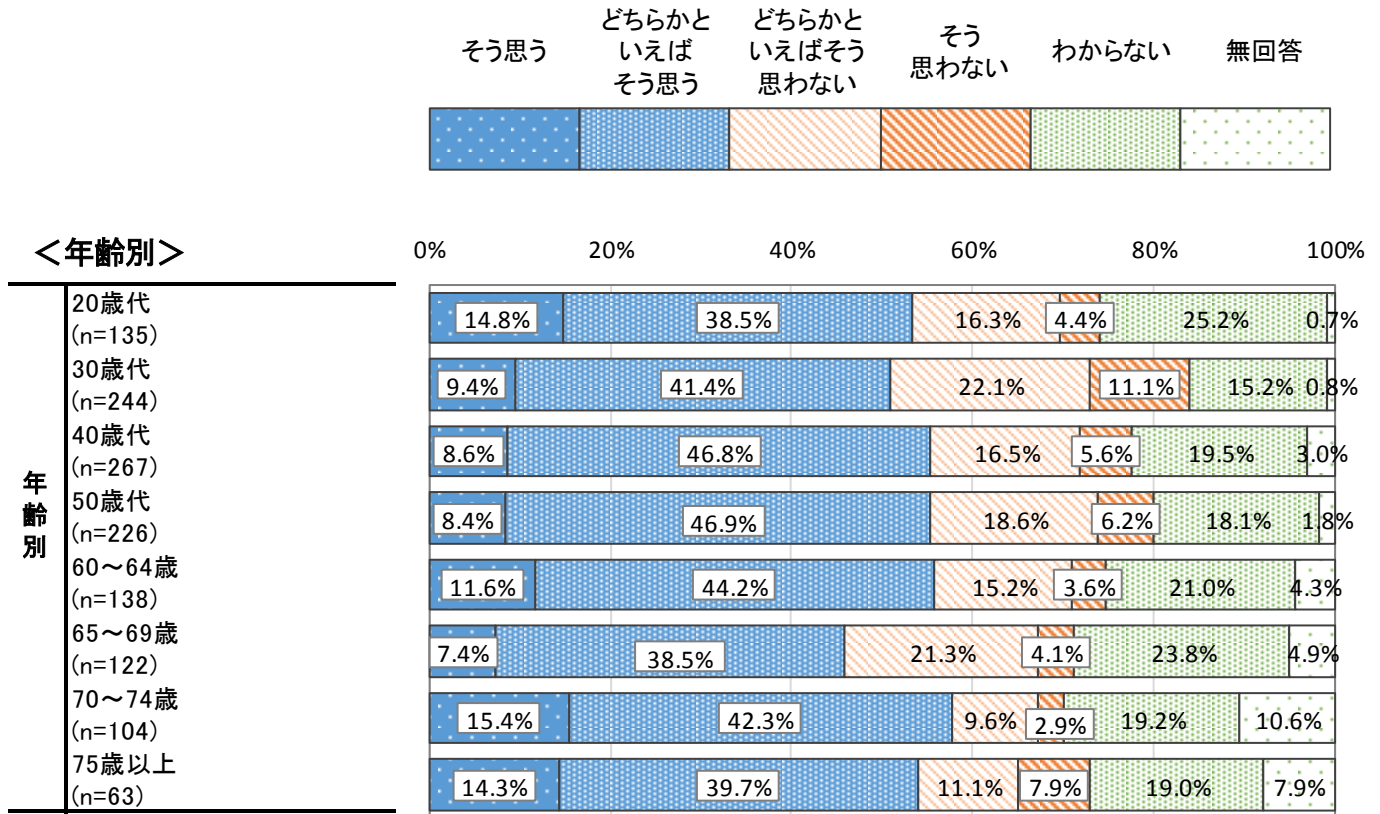


#### 《全体の傾向》

- 「どちらかといえばそう思う」が43.4%と最も多く、次いで「わからない」が19.3%となっています。
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は53.8%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は23.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は構成比が3ポイント減少し、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は構成比が3ポイント増加しています。

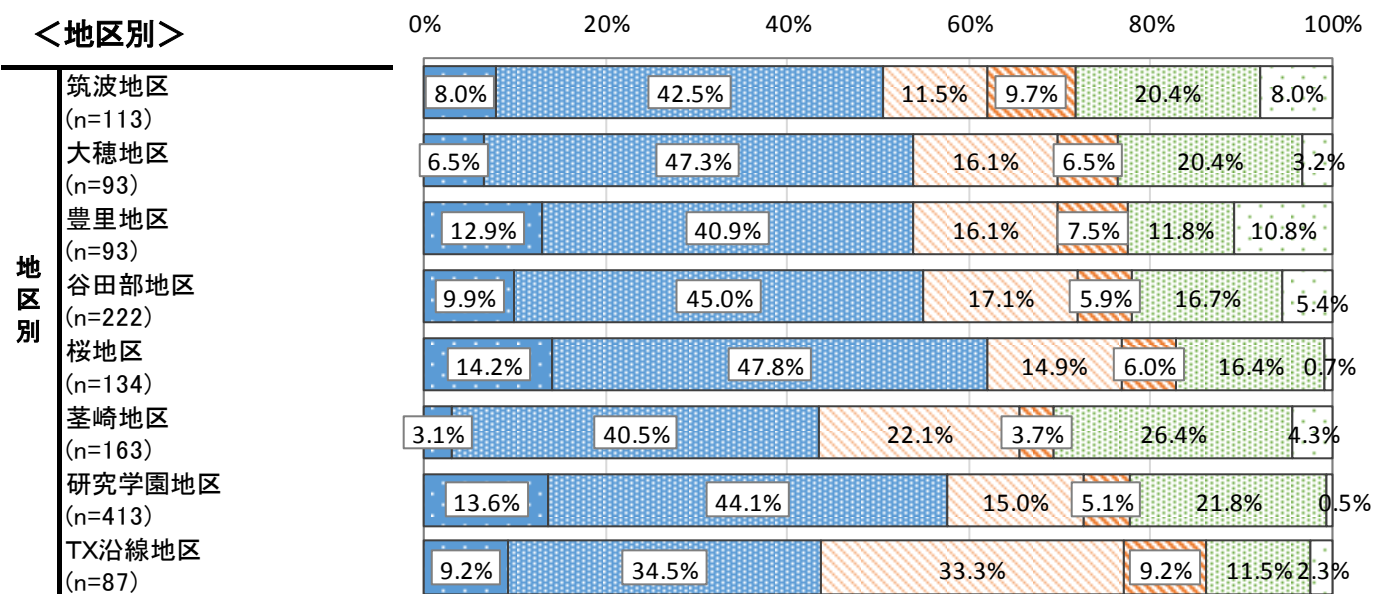


## ②-1 クロス集計の結果（子どもを生み育てる環境と年齢別・地区別）



### 《年齢別の傾向》

●65～69歳以外の年齢では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が50%を超えています。

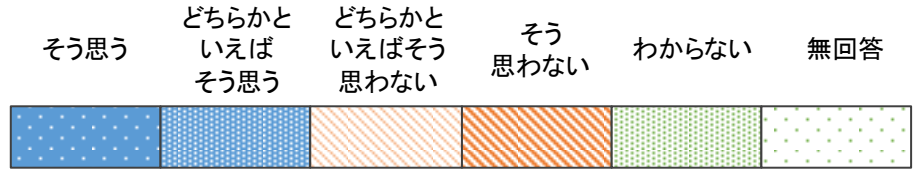


### 《地区別の傾向》

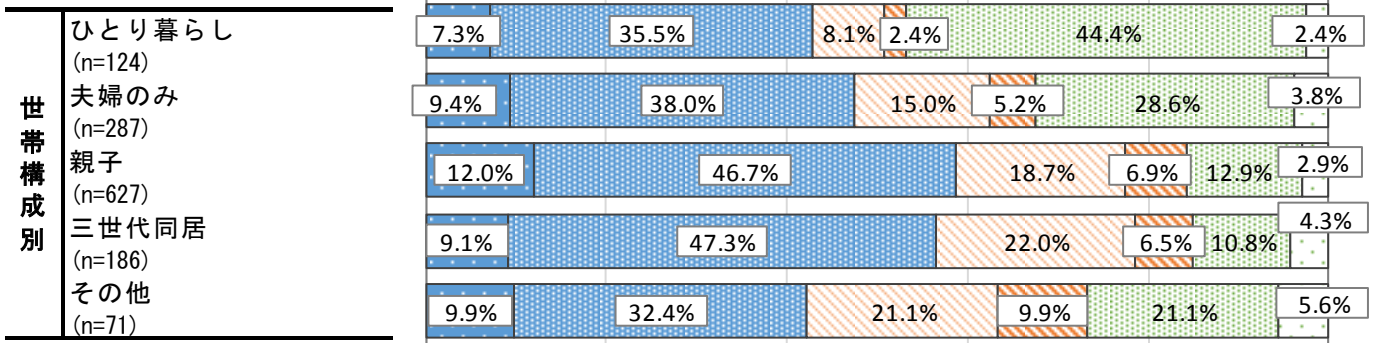
●荃崎地区とTX沿線地区以外の地区では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が50%を超えています。

●TX沿線地区では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が40%を超えています。

②-2 クロス集計の結果（子どもを生き育てる環境と世帯構成別・世帯に含む人別）



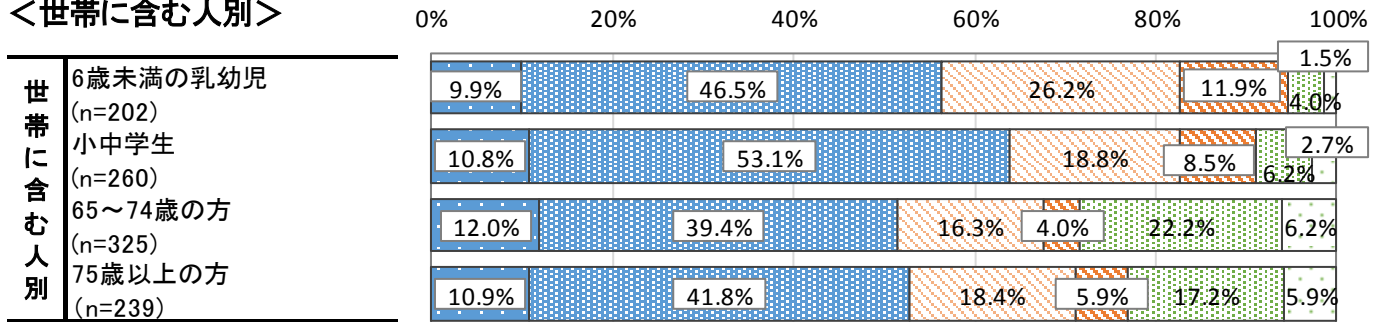
<世帯構成別>



<<世帯別の傾向>>

- いずれの世帯でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が40%を超えています。
- 「ひとり暮らし」の世帯では「わからない」が40%を超えています。

<世帯に含む人別>



<<世帯に含む人別の傾向>>

- 小中学生がいる世帯では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が60%を超えています。



【問19で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」とお答えの方にお聞きします】

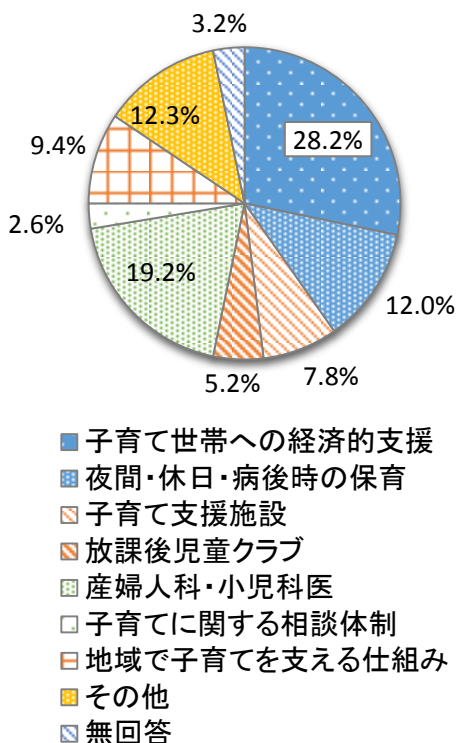
問20 つくば市に不足していると思うものは何ですか。

<〇は1つ>

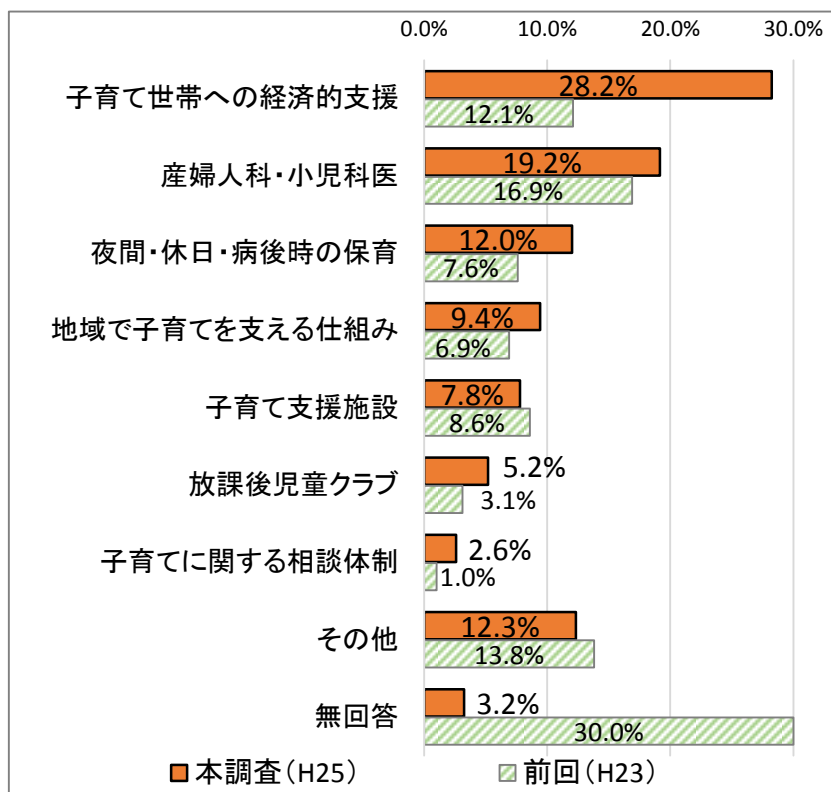
### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)
	回答数	構成比	構成比
子育て世帯への経済的支援	87	28.2%	12.1%
夜間・休日・病後時の保育	37	12.0%	7.6%
子育て支援施設	24	7.8%	8.6%
放課後児童クラブ	16	5.2%	3.1%
産婦人科・小児科医	59	19.2%	16.9%
子育てに関する相談体制	8	2.6%	1.0%
地域で子育てを支える仕組み	29	9.4%	6.9%
その他	38	12.3%	13.8%
無回答	10	3.2%	30.0%
合計	308	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



<過年度調査との比較>

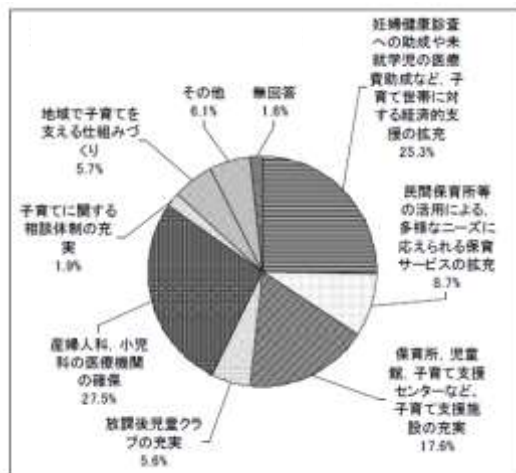


#### 《全体の傾向》

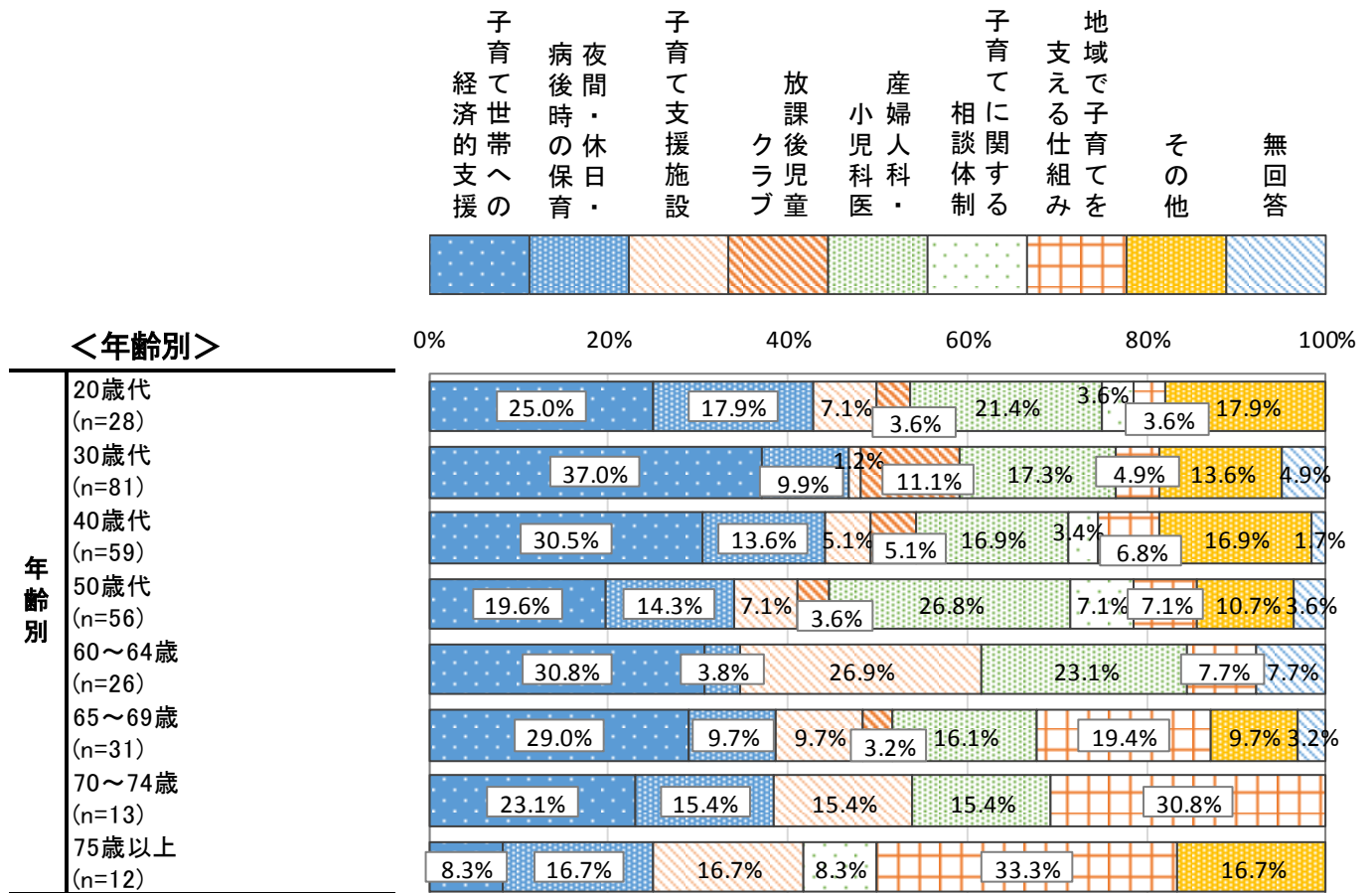
- 「子育て世帯への経済的支援」が28.2%と最も多く、次いで「産婦人科・小児科医」が19.2%となっています。以下、「その他」が12.3%、「夜間・休日・病後時の保育」が12.0%などとなっており、不足していると感じるものは多種多様となっています。
- 「その他」は、「通学路等の安全確保」や「小中高校の数」などとなっています。

#### 《前々回 (H21) 調査の結果》

- 「産婦人科、小児科の医療機関の確保」が27.5%と最も多く、次いで「妊婦健康診査への助成や未就学児の医療費助成など、子育て世帯に対する経済的支援の拡充」が25.3%となっています。

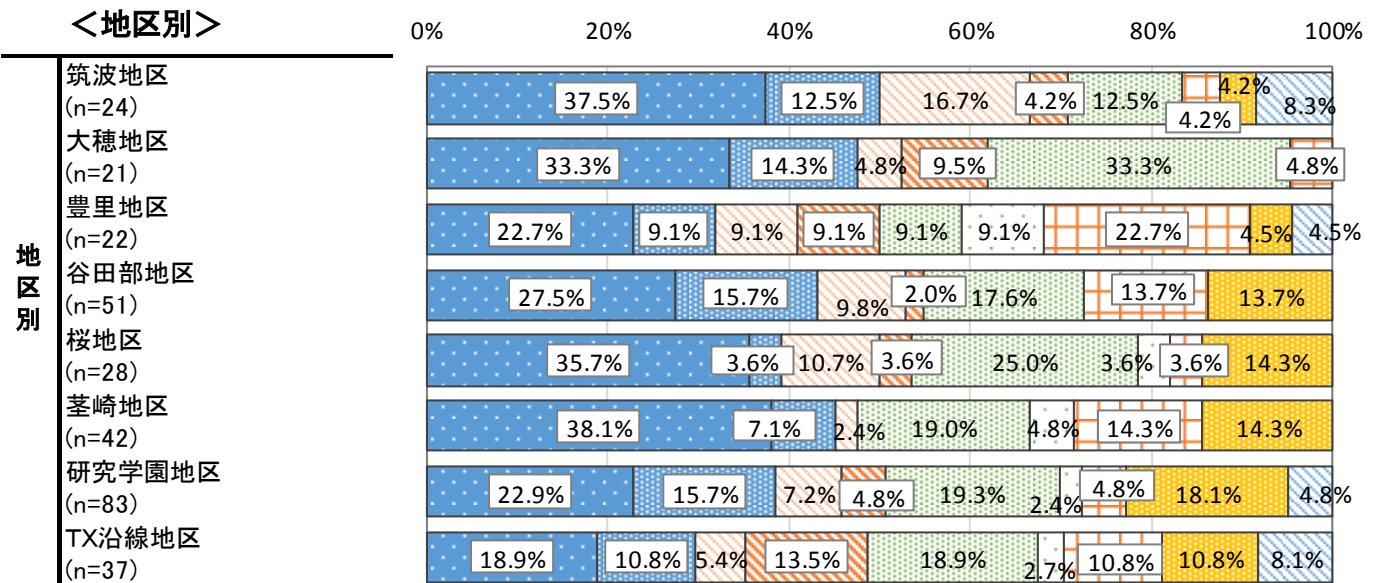


## ②-1 クロス集計の結果（子どもを生み育てる環境の不足理由と年齢別・地区別）



### 《年齢別の傾向》

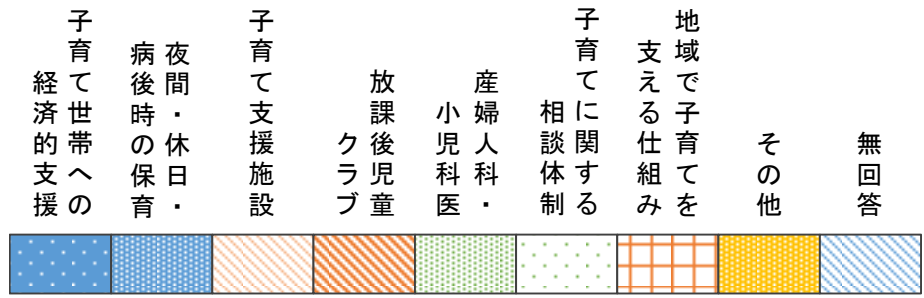
- 20歳代から40歳代と60～64歳、65～69歳では、「子育て世帯への経済的支援」が最も多くなっています。50歳代では、「産婦人科・小児科医」、70歳以上では、「地域で子育てを支える仕組み」が最も多くなっています。



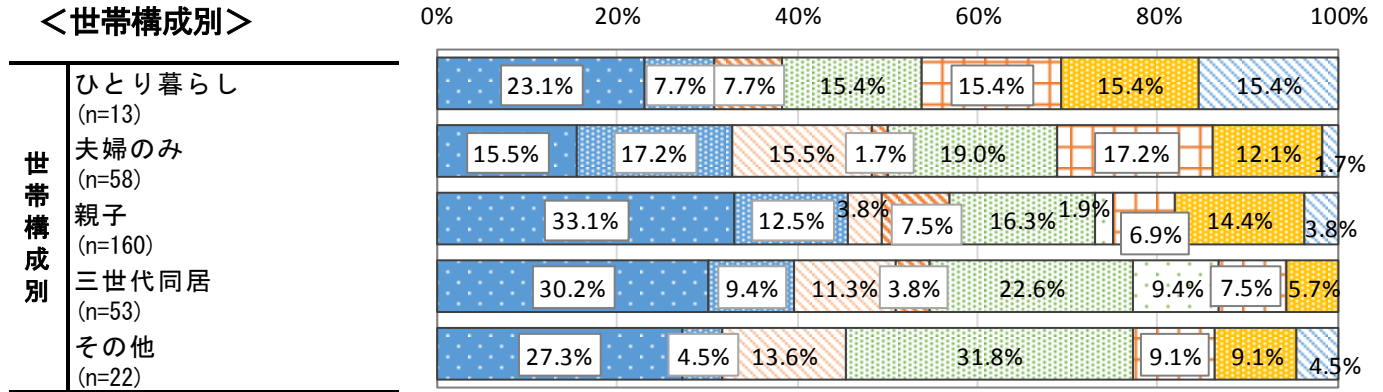
### 《地区別の傾向》

- 筑波地区、桜地区、荃崎地区では、「子育て世帯への経済的支援」が35%を超えています。
- 豊里地区、研究学園地区、TX沿線地区では、不足しているものは多様化しています。

②-2 クロス集計の結果（子どもを生み育てる環境の不足理由と世帯構成別・世帯に含む人別）



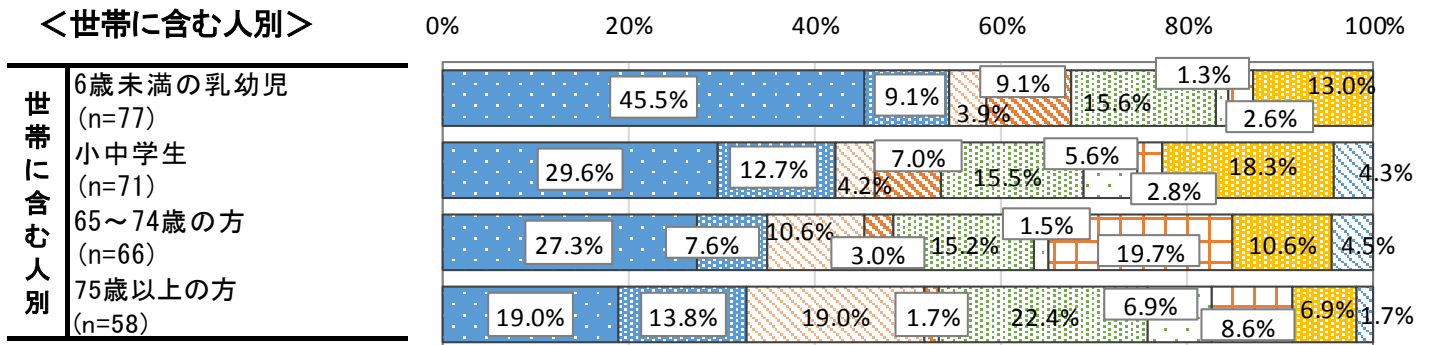
<世帯構成別>



《世帯構成別の傾向》

●親子、三世代同居の世帯では、「子育て世帯への経済的支援」が30%を超えています。

<世帯に含む人別>



《世帯に含む人別の傾向》

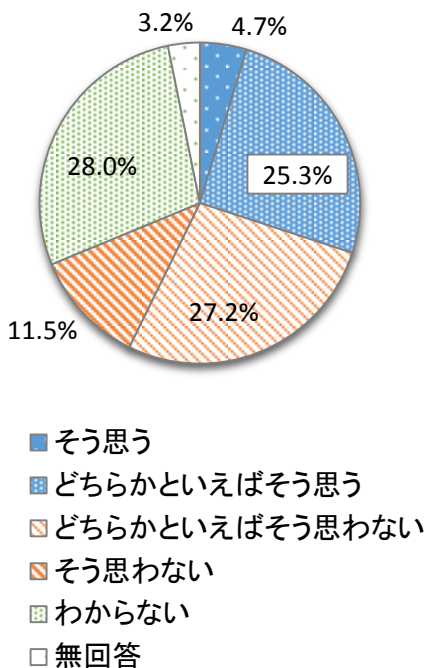
●6歳未満の乳幼児がいる世帯では、「子育て世帯への経済的支援」が40%を超えています。

問21 あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。  
 <〇は1つ>

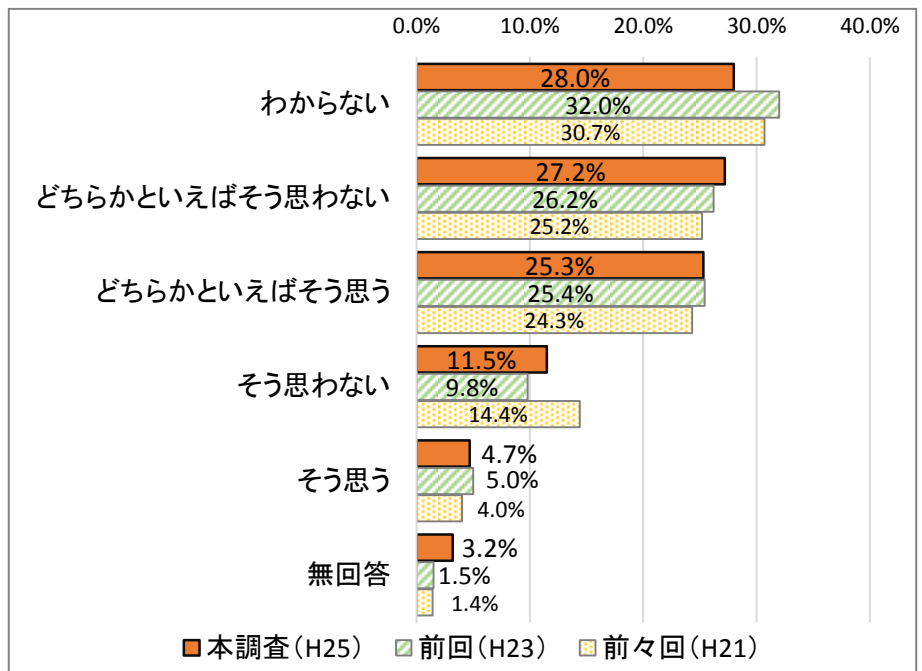
① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
そう思う	62	4.7%	5.0%	4.0%
どちらかといえばそう思う	334	25.3%	25.4%	24.3%
どちらかといえばそう思わない	359	27.2%	26.2%	25.2%
そう思わない	152	11.5%	9.8%	14.4%
わからない	369	28.0%	32.0%	30.7%
無回答	42	3.2%	1.5%	1.4%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



<過年度調査との比較>

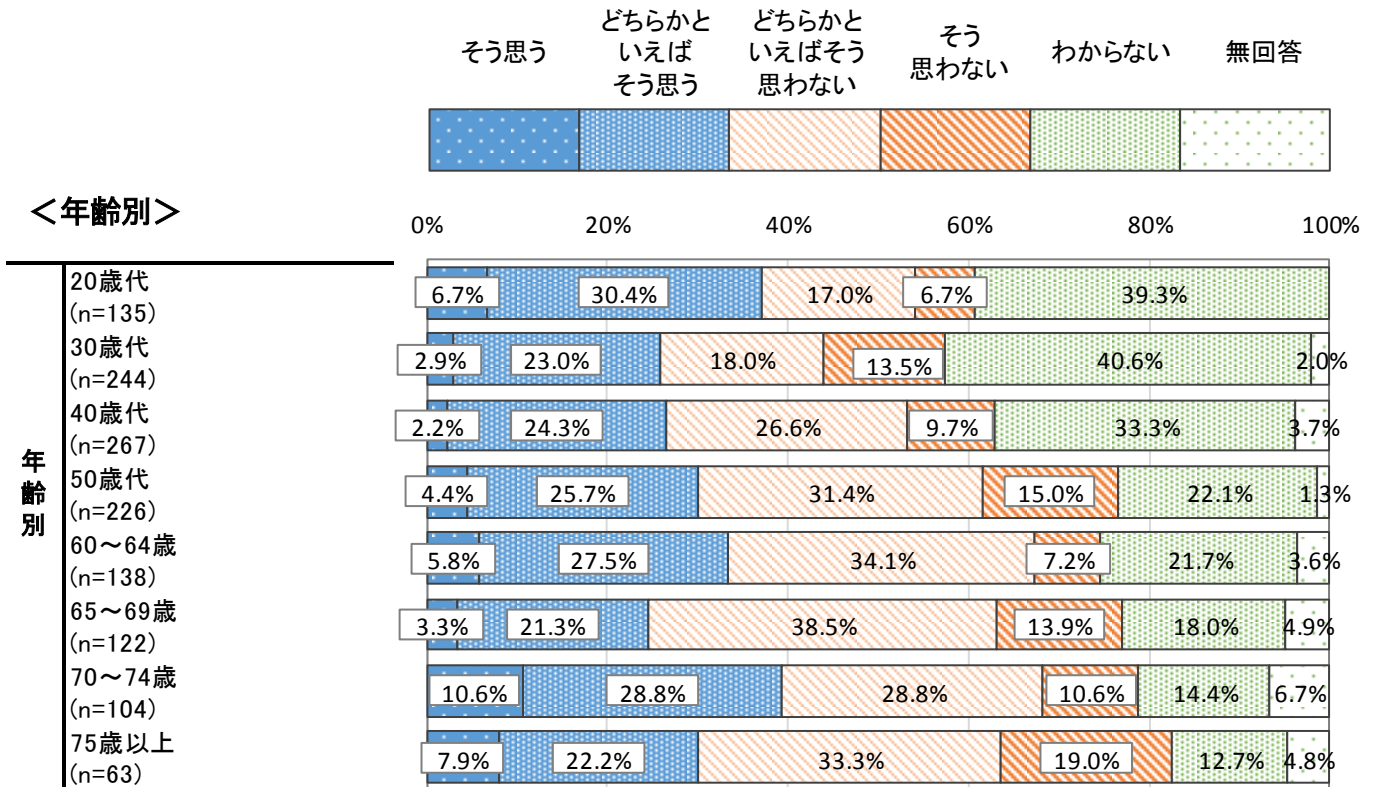


《全体の傾向》

- 「わからない」が28.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が27.2%となっています。
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は30%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は38.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計の構成比は、ほぼ同じで、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計の構成比は、約3ポイント増加しています。

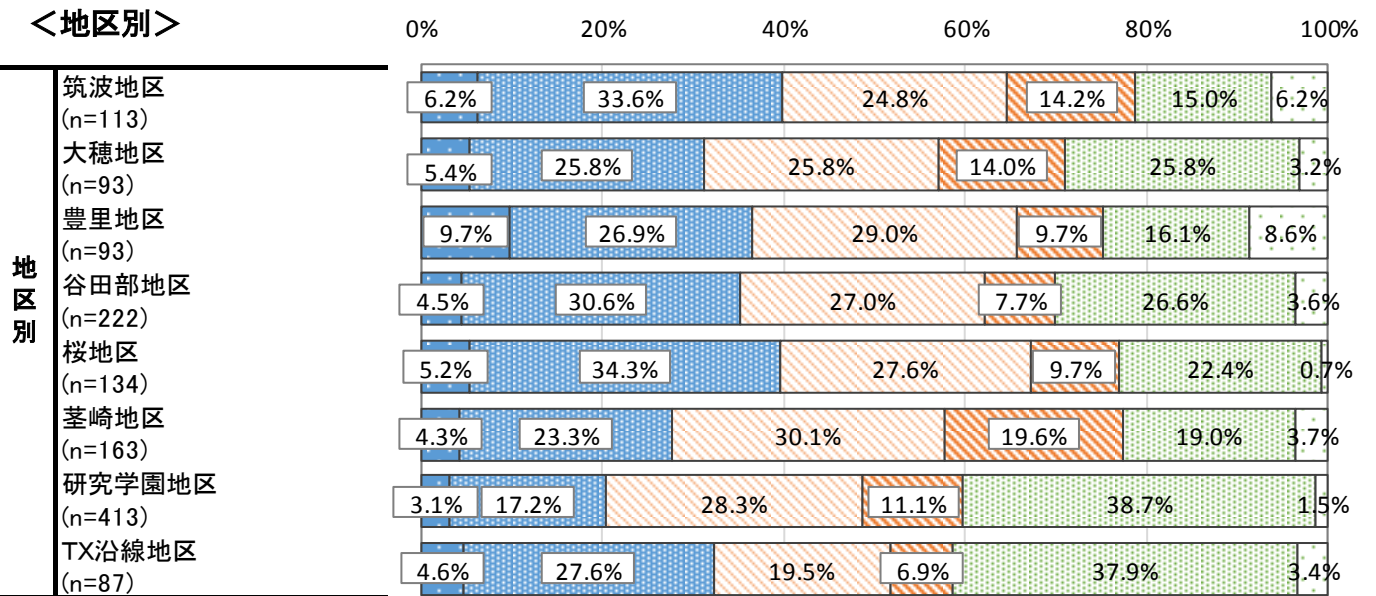


②-1 クロス集計の結果（高齢者の環境と年齢別・地区別）



《年齢別の傾向》

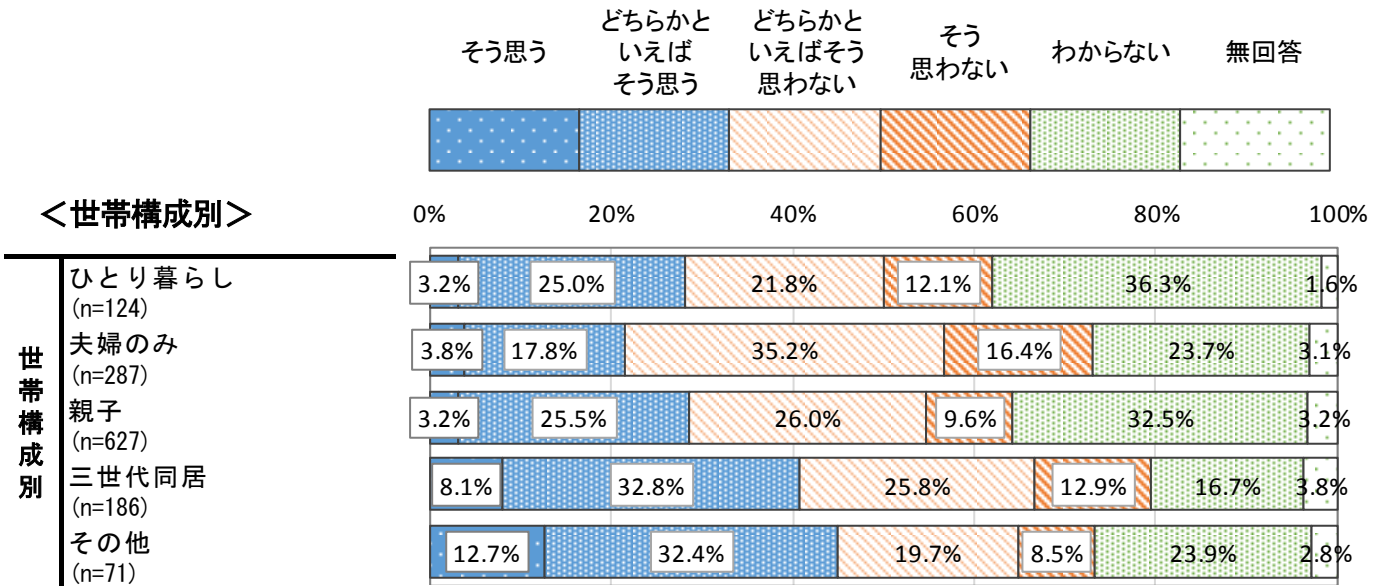
- 20～40歳代では、「わからない」が他の年齢に比べ多く、30%を超えています。
- 65～69歳、75歳以上では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が他の年齢に比べ多く、50%を超えています。



《地区別の傾向》

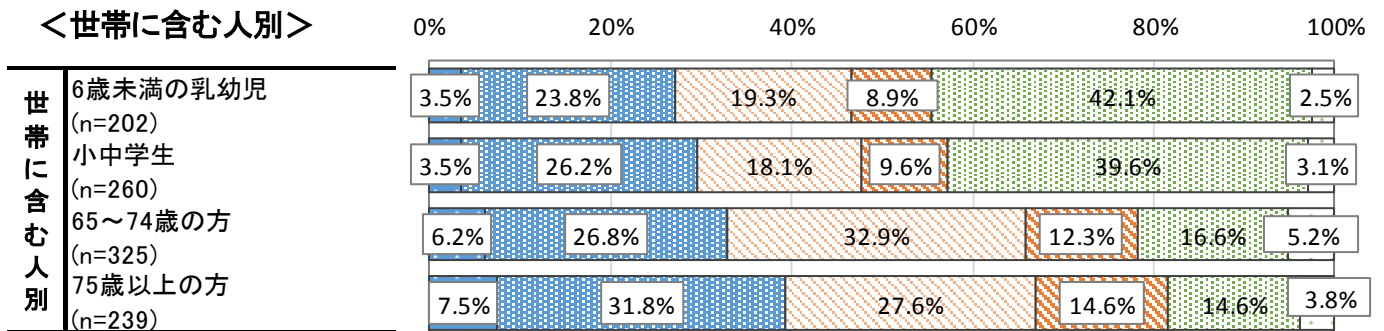
- 研究学園地区、TX沿線地区では、「わからない」が30%を超えています。
- 荃崎地区では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が他の地区に比べて多く、49.7%となっています。

②-2 クロス集計の結果（高齢者の環境と世帯構成別・世帯に含む人別）



《世帯別の傾向》

●三世帯同居の世帯において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が40%を超えますが、その他を除いた他の世帯では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、30%以下となっています。



《世帯に含む人別の傾向》

●65歳以上の方がいる世帯では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計より多くなっています。



【問21で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」とお答えの方にお聞きします】

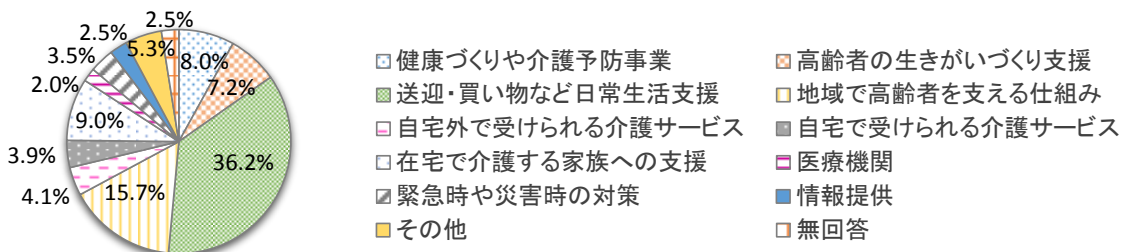
問22 つくば市に不足していると思うものは何ですか。

<○は1つ>

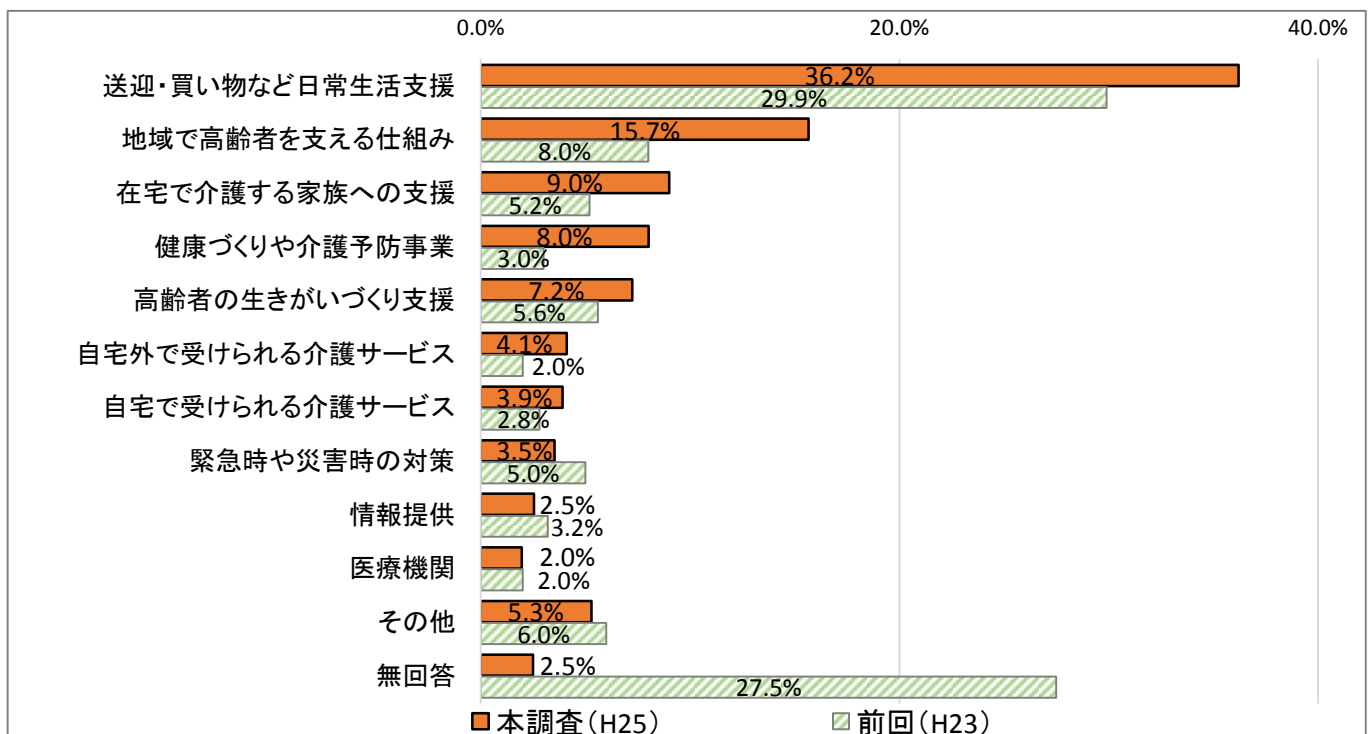
### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)
	回答数	構成比	構成比
健康づくりや介護予防事業	41	8.0%	3.0%
高齢者の生きがいづくり支援	37	7.2%	5.6%
送迎・買い物など日常生活支援	185	36.2%	29.9%
地域で高齢者を支える仕組み	80	15.7%	8.0%
自宅外で受けられる介護サービス	21	4.1%	2.0%
自宅で受けられる介護サービス	20	3.9%	2.8%
在宅で介護する家族への支援	46	9.0%	5.2%
医療機関	10	2.0%	2.0%
緊急時や災害時の対策	18	3.5%	5.0%
情報提供	13	2.5%	3.2%
その他	27	5.3%	6.0%
無回答	13	2.5%	27.5%
合計	511	100.0%	100.0%

#### <本調査での構成比>



#### <過年度調査との比較>



#### 《全体の傾向》

- 「送迎・買い物など日常生活支援」が36.2%と最も多く、次いで「地域で高齢者を支える仕組み」が15.7%となっています。
- 前回調査と比べると、「送迎・買い物など日常生活支援」が6ポイント増加しています。
- 「その他」は、「公共交通機関」、「特別養護老人ホーム」などとなっています。

②-1 クロス集計の結果（高齢者環境で不足しているものと年齢別・世帯構成別構成比 上位5位）

＜年齢別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=32)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいがづくり支援／自宅外で受けられる介護サービス／自宅で受けられる介護サービス			
	11	34.4%	8	25.0%	4	12.5%	2	6.3%		
30歳代 (n=77)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業／在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいがづくり支援／医療機関／緊急時や災害時の対策／情報提供			
	35	45.5%	10	13.0%	4	5.2%	3	3.9%		
40歳代 (n=97)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいがづくり支援		在宅で介護する家族への支援		健康づくりや介護予防事業	
	34	35.1%	20	20.6%	10	10.3%	9	9.3%	6	6.2%
50歳代 (n=105)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいがづくり支援		健康づくりや介護予防事業	
	43	41.0%	11	10.5%	10	9.5%	8	7.6%	6	5.7%
60～64歳 (n=57)	送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいがづくり支援	
	17	29.8%	12	21.1%	9	15.8%	6	10.5%	4	7.0%
65～69歳 (n=64)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいがづくり支援／自宅外で受けられる介護サービス／在宅で介護する家族への支援			
	19	29.7%	13	20.3%	6	9.4%	5	7.8%		
70～74歳 (n=41)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		高齢者の生きがいがづくり支援／在宅で介護する家族への支援／医療機関	
	12	29.3%	6	14.6%	5	12.2%	4	9.8%	2	4.9%
75歳以上 (n=33)	送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み／健康づくりや介護予防事業／高齢者の生きがいがづくり支援					
	11	33.3%	4	12.1%	3	9.1%				

＜年齢別の傾向＞

- すべての年齢で「送迎・買い物など日常生活支援」が最も多くなっています。

＜世帯構成別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=42)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業／自宅外で受けられる介護サービス		在宅で介護する家族への支援／高齢者の生きがいがづくり支援／自宅外で受けられる介護サービス／緊急時や災害時の対策			
	18	42.9%	4	9.5%	3	7.1%	2	4.8%		
夫婦のみ (n=148)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいがづくり支援		在宅で介護する家族への支援		健康づくりや介護予防事業	
	58	39.2%	25	16.9%	12	8.1%	10	6.8%	9	6.1%
親子 (n=223)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいがづくり支援	
	75	33.6%	40	17.9%	20	9.0%	17	7.6%	16	7.2%
三世帯同居 (n=72)	送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		健康づくりや介護予防事業／地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいがづくり支援			
	27	37.5%	11	15.3%	7	9.7%	5	6.9%		
その他 (n=20)	在宅で介護する家族への支援		送迎・買い物など日常生活支援／地域で高齢者を支える仕組み		緊急時や災害時の対策		健康づくりや介護予防事業／高齢者の生きがいがづくり支援			
	6	30.0%	4	20.0%	3	15.0%	1	5.0%		

＜世帯別の傾向＞

- 「その他」を除くいずれの世帯でも「送迎・買い物など日常生活支援」が最も多くなっています。

②-2 クロス集計の結果（高齢者環境で不足しているものと地区別・世帯に含む人別構成比 上位5位）

<地区別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=44)	送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		自宅で受けられる介護サービス		地域で高齢者を支える仕組み／健康づくりや介護予防事業			
	22	50.0%	5	11.4%	4	9.1%	3	6.8%		
大穂地区 (n=37)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業		自宅で受けられる介護サービス／在宅で介護する家族への支援／緊急時や災害時の対策			
	16	43.2%	5	13.5%	4	10.8%	2	5.4%		
豊里地区 (n=36)	送迎・買い物など日常生活支援／在宅で介護する家族への支援				地域で高齢者を支える仕組み		自宅外で受けられる介護サービス		健康づくりや介護予防事業	
	9	25.0%			6	16.7%	4	11.1%	2	5.6%
谷田部地区 (n=77)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業／在宅で介護する家族への支援				高齢者の生きがいづくり支援／自宅外で受けられる介護サービス	
	20	26.0%	12	15.6%	10		13.0%		4	5.2%
桜地区 (n=50)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		自宅外で受けられる介護サービス		在宅で介護する家族への支援		健康づくりや介護予防事業／高齢者の生きがいづくり支援	
	18	36.0%	11	22.0%	5	10.0%	4	8.0%	3	6.0%
荃崎地区 (n=81)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業／高齢者の生きがいづくり支援				在宅で介護する家族への支援	
	28	34.6%	15	18.5%	9		11.1%		5	6.2%
研究学園地区 (n=163)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいづくり支援		在宅で介護する家族への支援		健康づくりや介護予防事業／緊急時や災害時の対策	
	62	38.0%	24	14.7%	17	10.4%	10	6.1%	9	5.5%
TX沿線地区 (n=23)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		医療機関		健康づくりや介護予防事業／高齢者の生きがいづくり支援／自宅で受けられる介護サービス／在宅で介護する家族への支援／緊急時や災害時の対策			
	10	43.5%	4	17.4%	2	8.7%	1	4.3%		

<<地区別の傾向>>

- すべての地区で「送迎・買い物など日常生活支援」が最も多く、特に筑波地区では50%となっています。

<世帯に含む人別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
6歳未満の乳幼児 (n=57)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援		医療機関／情報提供	
	20	35.1%	14	24.6%	6	10.5%	4	7.0%	2	3.5%
小中学生 (n=72)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援		自宅外で受けられる介護サービス	
	28	38.9%	12	16.7%	9	12.5%	6	8.3%	5	6.9%
65～74歳の方 (n=147)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいづくり支援	
	43	29.3%	25	17.0%	18	12.2%	15	10.2%	11	7.5%
75歳以上の方 (n=101)	送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援	
	30	29.7%	16	15.8%	15	14.9%	11	10.9%	6	5.9%

<<世帯に含む人別の傾向>>

- いずれの方がいる世帯でも「送迎・買い物など日常生活支援」が最も多くなっています。

## 7 公共交通について

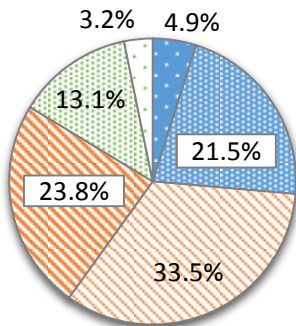
問23 あなたは、市内の公共交通についてどう思いますか。

<〇は1つ>

### ① 全体集計の結果と傾向

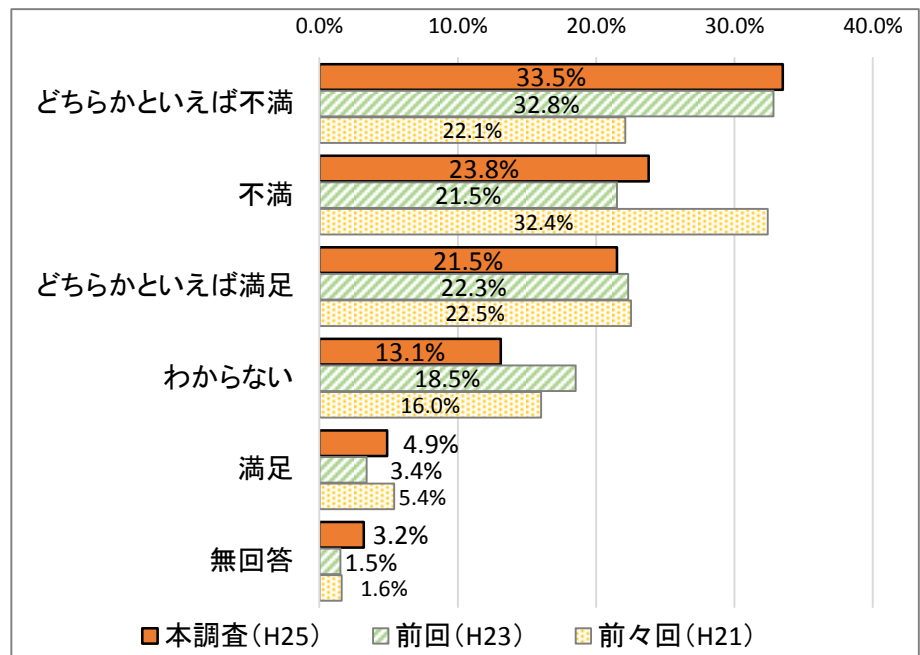
選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)	前々回 (H21)
	回答数	構成比	構成比	構成比
満足	65	4.9%	3.4%	5.4%
どちらかといえば満足	283	21.5%	22.3%	22.5%
どちらかといえば不満	441	33.5%	32.8%	22.1%
不満	314	23.8%	21.5%	32.4%
わからない	173	13.1%	18.5%	16.0%
無回答	42	3.2%	1.5%	1.6%
合計	1,318	100.0%	100.0%	100.0%

#### <本調査での構成比>



- 満足
- どちらかといえば満足
- どちらかといえば不満
- 不満
- わからない
- 無回答

#### <過年度調査との比較>

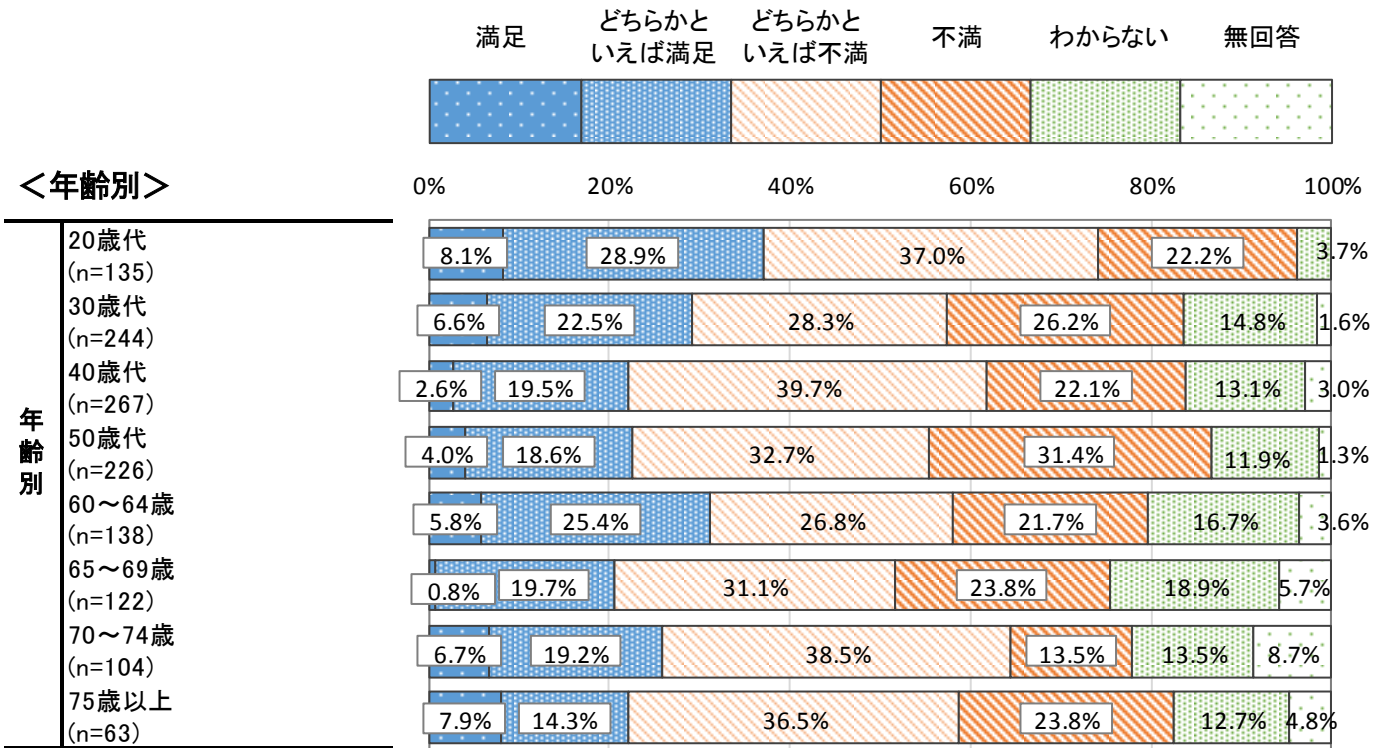


#### 《全体の傾向》

- 「どちらかといえば不満」が33.5%と最も多く、次いで「不満」が23.8%となっています。
- 「満足」と「どちらかといえば満足」の合計は26.4%、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計は57.3%となっています。
- 前回調査と比べると、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計は構成比が約1ポイント増加していますが、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計も3ポイント増加しています。



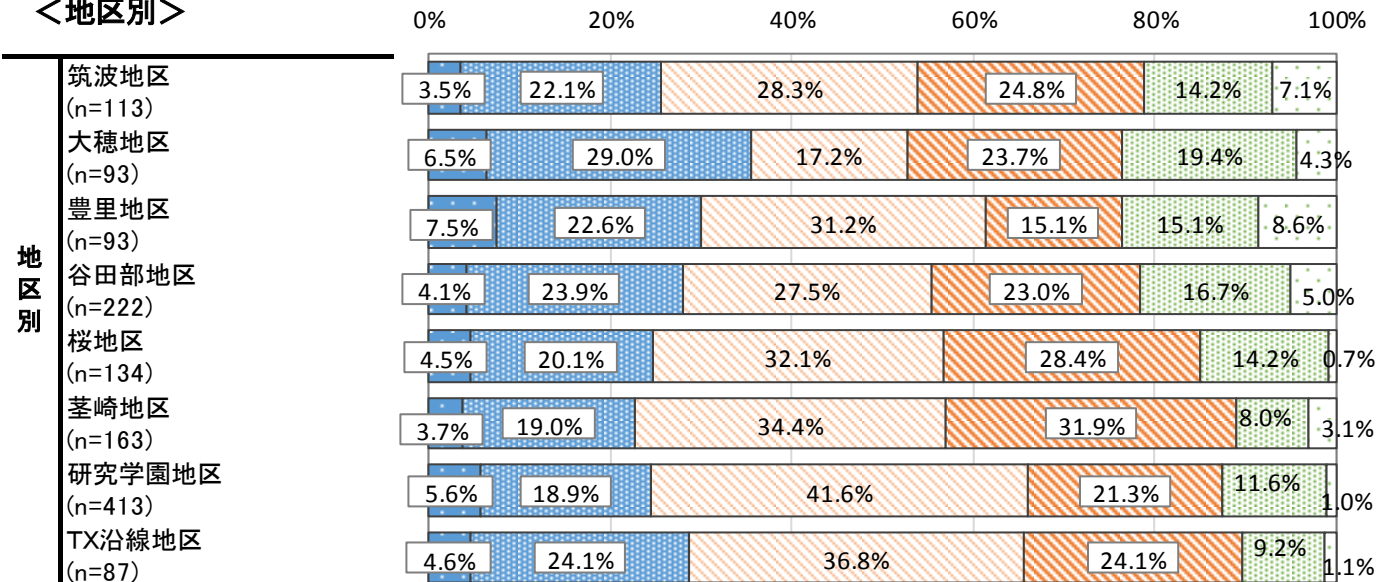
②-1 クロス集計の結果（公共交通と年齢別・地区別）



《年齢別の傾向》

- すべての年齢で、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計が、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計より多くなっています。

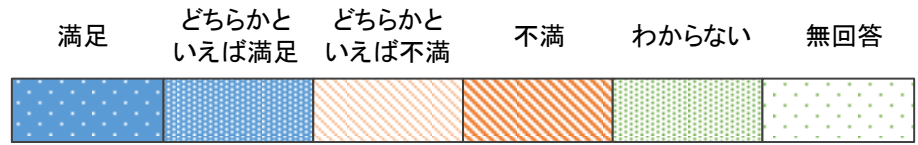
《地区別》



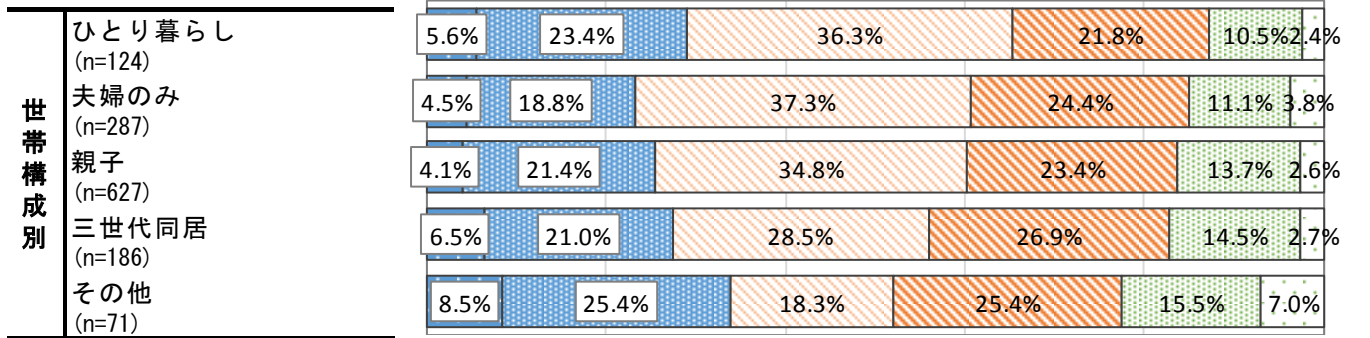
《地区別の傾向》

- すべての地区で、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計が、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計より多くなっています。
- 桜地区、荃崎地区、研究学園地区、TX沿線地区では、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計が60%を超えています。

②-2 クロス集計の結果（公共交通と世帯構成別・世帯に含む人別）



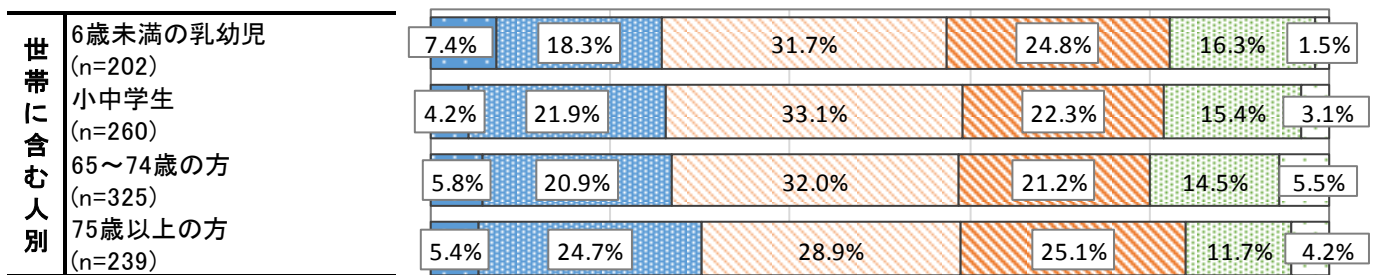
＜世帯構成別＞



＜世帯別の傾向＞

●その他以外のすべての世帯で、「不満」と「どちらかといえば不満」の合計が50%を超えています。

＜世帯に含む人別＞



＜世帯に含む人別の傾向＞

●いずれの方がいる世帯でも「不満」と「どちらかといえば不満」の合計が50%を超えています。



【問23で「どちらかといえば不満」または「不満」とお答えの方にお聞きします】

問24 不満である理由を教えてください。

<〇は1つ>

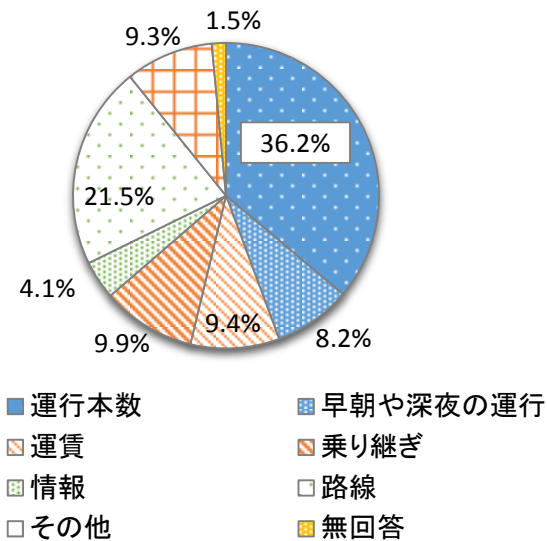
### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)
	回答数	構成比	構成比
運行本数	273	36.2%	24.1%
早朝や深夜の運行	62	8.2%	5.6%
運賃	71	9.4%	4.1%
乗り継ぎ	75	9.9%	4.9%
情報	31	4.1%	11.4%
路線	162	21.5%	14.6%
その他	70	9.3%	5.3%
無回答	11	1.5%	30.2%
合計	755	100.0%	100.0%

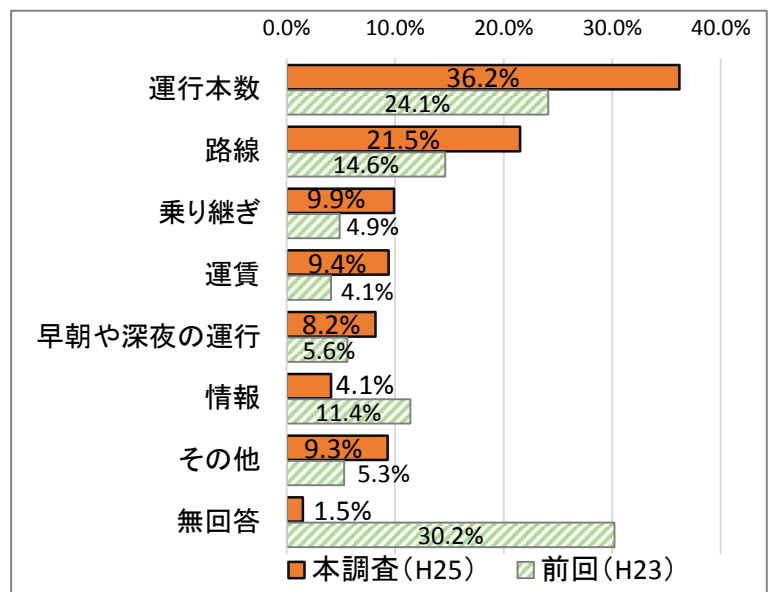
#### 《全体の傾向》

- 「運行本数」が36.2%と最も多く、次いで「路線」が21.5%となっています。
- 前回調査と比べると、「運賃」が約5ポイント増加し、「情報」は約7ポイント減少しています。
- 「その他」は、「バス利用がわかりにくい」、「バスの便が悪いから車社会となる」などとなっています。

#### <本調査での構成比>



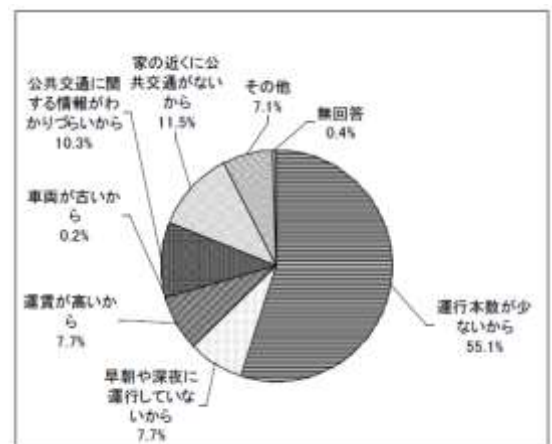
#### <過年度調査との比較>



※前回調査の「家の近くにない」は、本調査では「路線」に含むとしています。

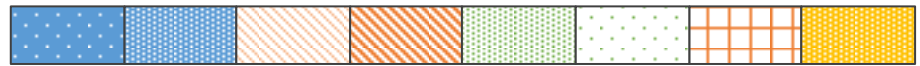
#### 《前々回 (H21) 調査の結果》

- 「運行本数が少ないから」が55.1%と最も多く、次いで「家の近くに公共交通がないから」が11.5%となっています。

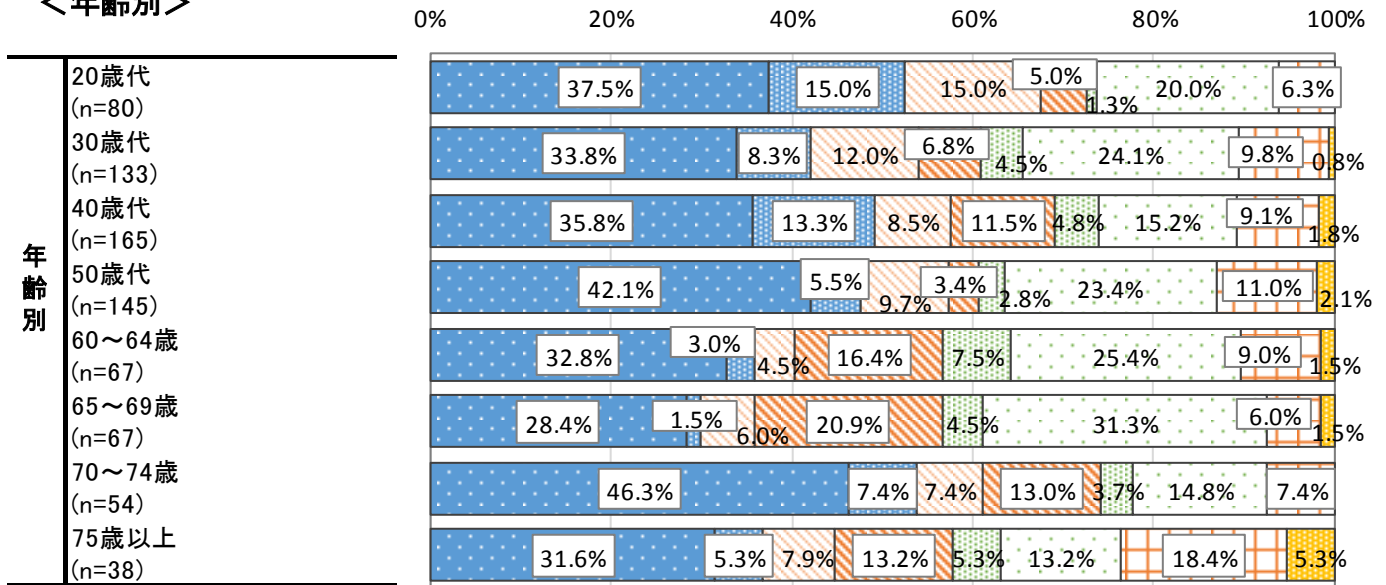


②-1 クロス集計の結果（公共交通に不満の理由と年齢別・地区別）

運行本数 早朝や深夜の運行 運賃 乗り継ぎ 情報 路線 その他 無回答



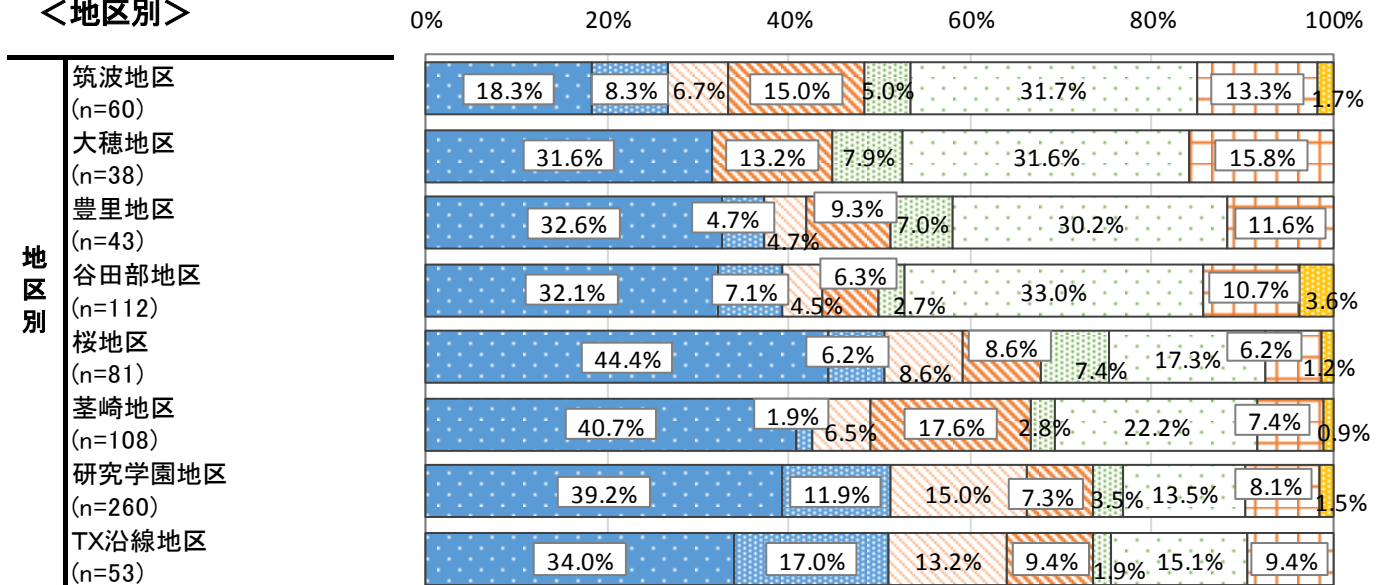
<年齢別>



<<年齢別の傾向>>

●50歳代、70~74歳では、「運行本数」が40%を超えています。

<地区別>



<<地区別の傾向>>

●筑波地区以外では、「運行本数」が30%を超えています。

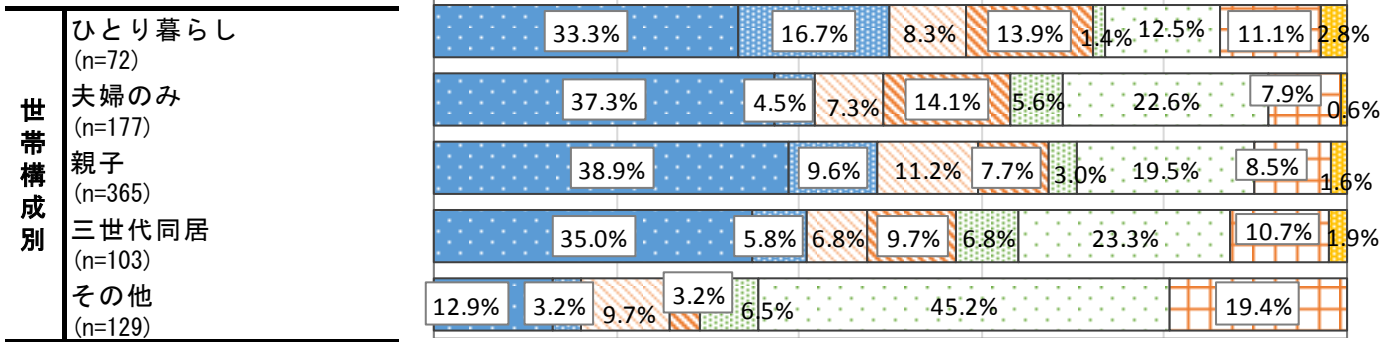
●筑波地区、大穂地区、豊里地区、谷田部地区では、「路線」が30%を超えています。

②-2 クロス集計の結果（公共交通に不満の理由と世帯構成別・世帯に含む人別）

運行本数 早朝や深夜の運行 運賃 乗り継ぎ 情報 路線 その他 無回答



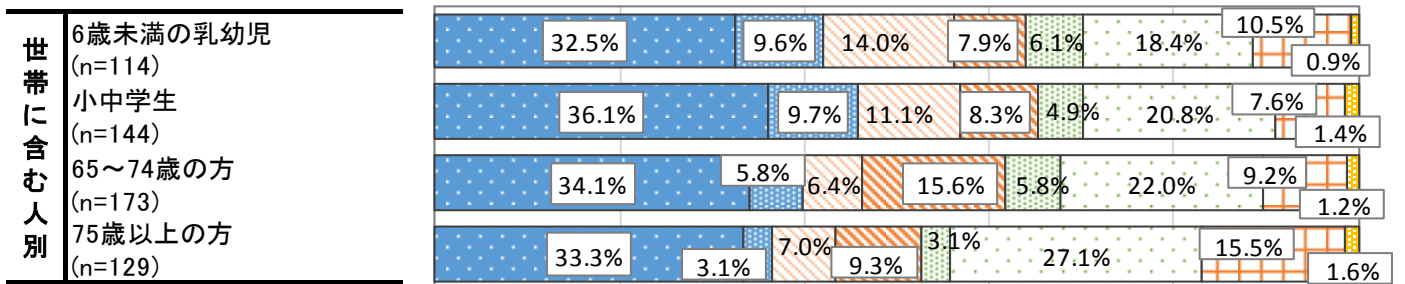
<世帯構成別>



<<世帯別の傾向>>

●その他を除くいずれの世帯も「運行本数」が30%を超えています。

<世帯に含む人別>



<<世帯に含む人別の傾向>>

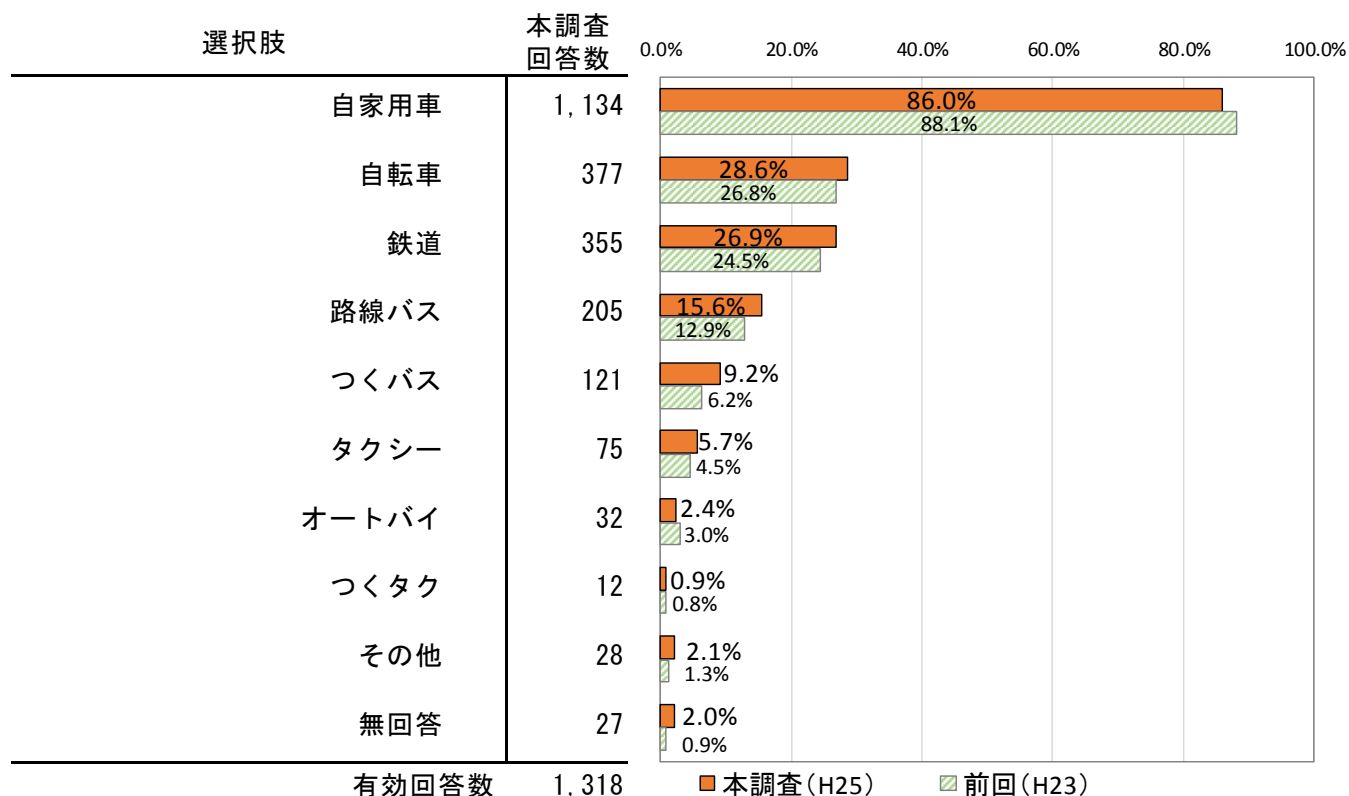
●いずれの方がいる世帯でも「運行本数」が30%を超えています。

問25 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

<〇は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果と傾向

<本調査での構成比と過年度調査との比較>



《全体の傾向》

- 「自家用車」が86.0%と最も多く、次いで「自転車」が28.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「路線バス」、「つくバス」が約3ポイント増加し、「自家用車」が約2ポイント減少しています。
- 「その他」は、「高速バス」、「徒歩」などとなっています。

②-1 クロス集計の結果（日常利用する交通手段と年齢別・地区別構成比 上位5位）

<年齢別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	101	74.8%	57	42.2%	45	33.3%	26	19.3%	15	11.1%
30歳代 (n=244)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	222	91.0%	79	32.4%	57	23.4%	32	13.1%	22	9.0%
40歳代 (n=267)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	241	90.3%	93	34.8%	67	25.1%	35	13.1%	20	7.5%
50歳代 (n=226)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	198	87.6%	52	23.0%	45	19.9%	39	17.3%	16	7.1%
60～64歳 (n=138)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	120	87.0%	43	31.2%	34	24.6%	20	14.5%	13	9.4%
65～69歳 (n=122)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	105	86.1%	37	30.3%	23	18.9%	17	13.9%	10	8.2%
70～74歳 (n=104)	自家用車		自転車		路線バス		鉄道		つくバス	
	85	81.7%	28	26.9%	23	22.1%	22	21.2%	13	12.5%
75歳以上 (n=63)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		路線バス	
	49	77.8%	24	38.1%	16	25.4%	11	17.5%	10	15.9%

《年齢別の傾向》

- すべての年齢で、「自家用車」が最も多くなっています。

<地区別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		タクシー	
	99	87.6%	16	14.2%	14	12.4%	10	8.8%	5	4.4%
大穂地区 (n=93)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		タクシー	
	86	92.5%	17	18.3%	11	11.8%	9	9.7%	7	7.5%
豊里地区 (n=93)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		路線バス	
	83	89.2%	21	22.6%	13	14.0%	5	5.4%	3	3.2%
谷田部地区 (n=222)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	204	91.9%	53	23.9%	50	22.5%	15	6.8%	14	6.3%
桜地区 (n=134)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	122	91.0%	32	23.9%	21	15.7%	15	11.2%	11	8.2%
荃崎地区 (n=163)	自家用車		鉄道		路線バス		自転車		つくバス	
	137	84.0%	49	30.1%	41	25.2%	38	23.3%	22	13.5%
研究学園地区 (n=413)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	327	79.2%	179	43.3%	151	36.6%	120	29.1%	45	10.9%
TX沿線地区 (n=87)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス／つくバス			
	76	87.4%	43	49.4%	24	27.6%	5		5.7%	

《地区別の傾向》

- すべての地区で、「自家用車」が最も多くなっています。

②-2 クロス集計の結果(日常利用する交通手段と世帯構成別構成比 上位5位)

＜世帯構成別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位		
ひとり暮らし (n=124)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		タクシー		
	81	65.3%	57	46.0%	50	40.3%	36	29.0%	16	12.9%	
夫婦のみ (n=287)	自家用車		鉄道／自転車			自転車		路線バス		つくバス	
	247	86.1%	86			30.0%		50	17.4%	41	14.3%
親子 (n=627)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス		
	547	87.2%	192	30.6%	163	26.0%	98	15.6%	48	7.7%	
三世同居 (n=186)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス		
	176	94.6%	38	20.4%	34	18.3%	14	7.5%	11	5.9%	
その他(n=71)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		路線バス		
	65	91.5%	9	12.7%	6	8.5%	5	7.0%	4	5.6%	

《世帯構成別の傾向》

- すべての世帯構成で「自家用車」が最も多くなっています。



## 8 中心地区の活性化について

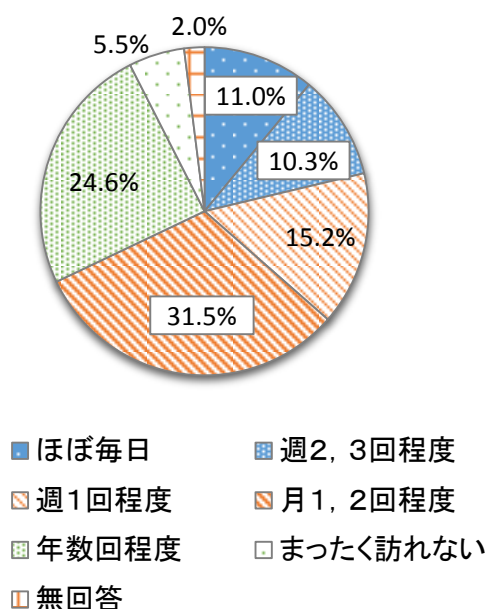
問26 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

<〇は1つ>

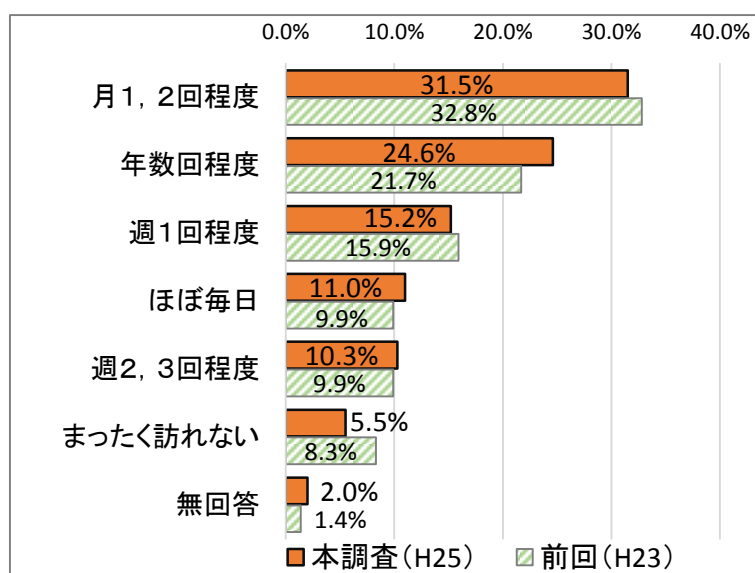
### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)
	回答数	構成比	構成比
ほぼ毎日	145	11.0%	9.9%
週2, 3回程度	136	10.3%	9.9%
週1回程度	200	15.2%	15.9%
月1, 2回程度	415	31.5%	32.8%
年数回程度	324	24.6%	21.7%
まったく訪れない	72	5.5%	8.3%
無回答	26	2.0%	1.4%
合計	1,318	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



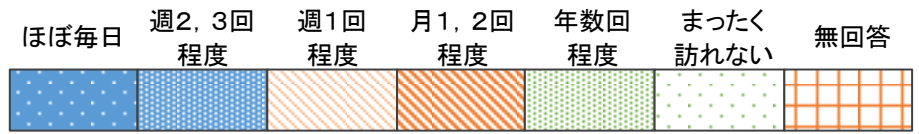
<過年度調査との比較>



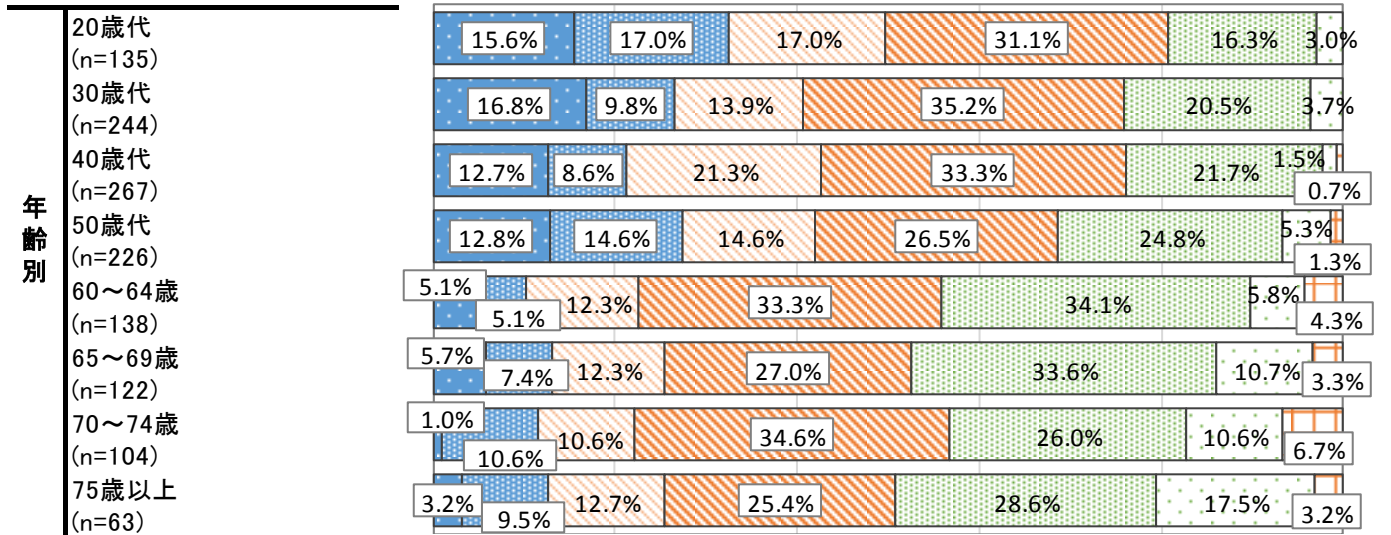
#### 《全体の傾向》

- 「月1, 2回程度」が31.5%と最も多く、次いで「年数回程度」が24.6%となっています。
- 前回調査と比べると「年数回程度」が約3ポイント増加し、「まったく訪れない」が約3ポイント減少しています。

② クロス集計の結果（つくばセンター地区を訪れる頻度と年齢別・地区別）



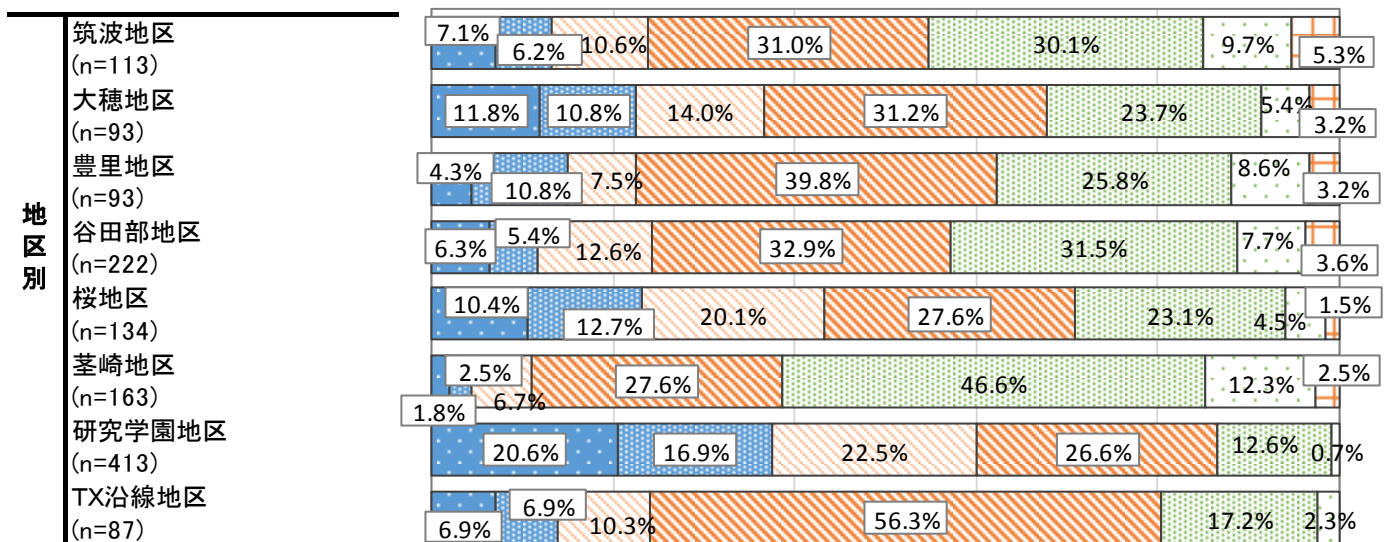
＜年齢別＞



＜年齢別の傾向＞

●30歳代では、「月1, 2回程度」が35%を超えています。

＜地区別＞



＜地区別の傾向＞

●茎崎地区では、「年数回程度」が最も多くなっています。

●茎崎地区以外では、「月1, 2回程度」が最も多くなっており、特にTX沿線地区では50%を超えています。

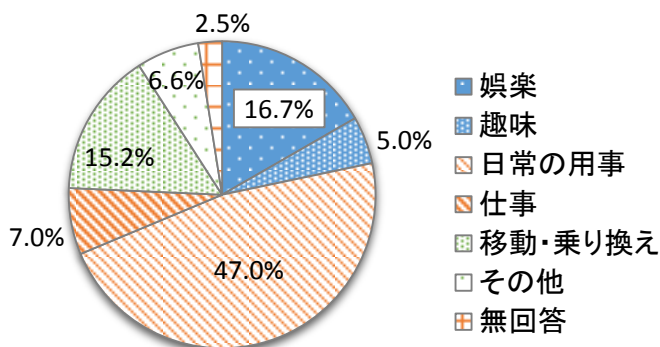
【問26で「まったく訪れない」以外を選択した方にお聞きします】  
 問27 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<〇は1つ>

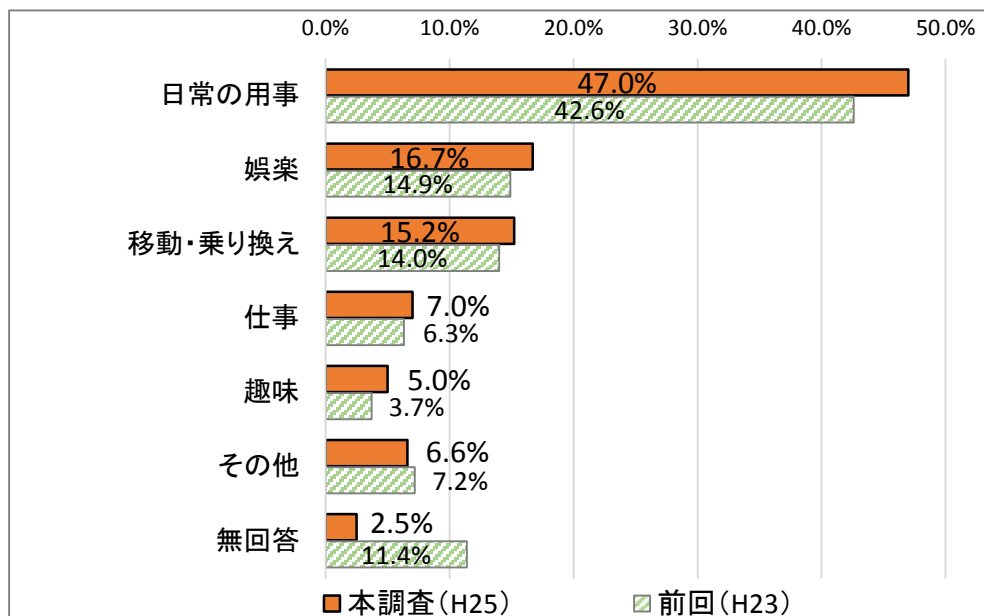
① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)		前回 (H23)
	回答数	構成比	構成比
娯楽	204	16.7%	14.9%
趣味	61	5.0%	3.7%
日常の用事	573	47.0%	42.6%
仕事	86	7.0%	6.3%
移動・乗り換え	185	15.2%	14.0%
その他	81	6.6%	7.2%
無回答	30	2.5%	11.4%
合計	1,220	100.0%	100.0%

<本調査での構成比>



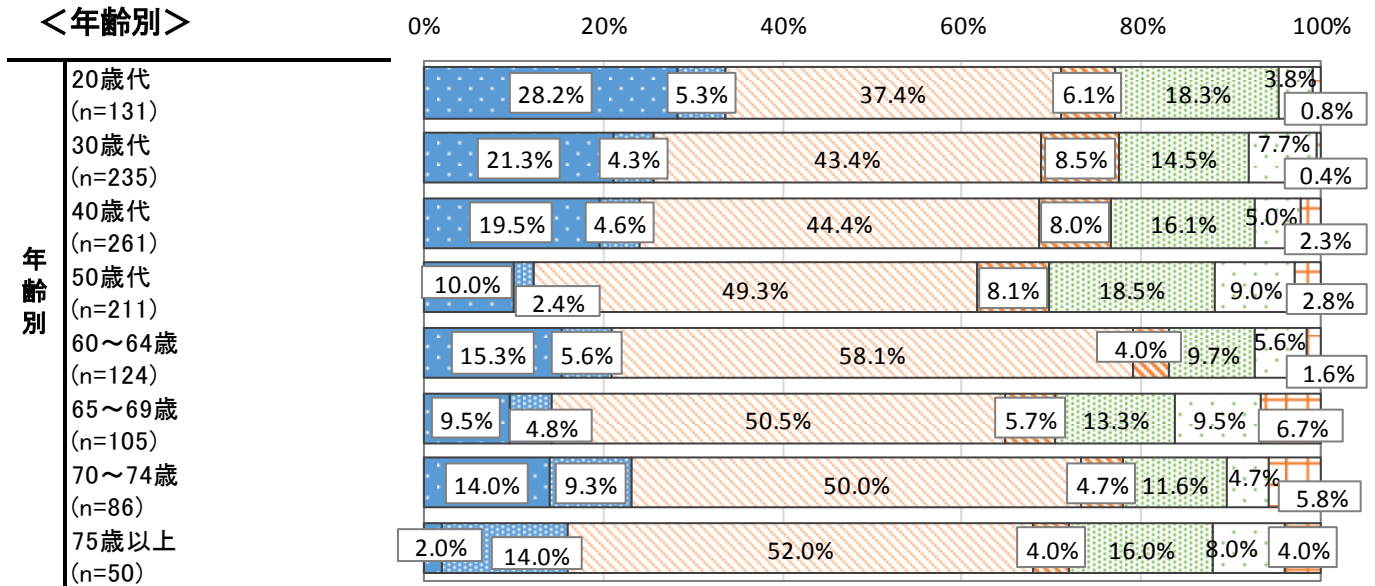
<過年度調査との比較>



《全体の傾向》

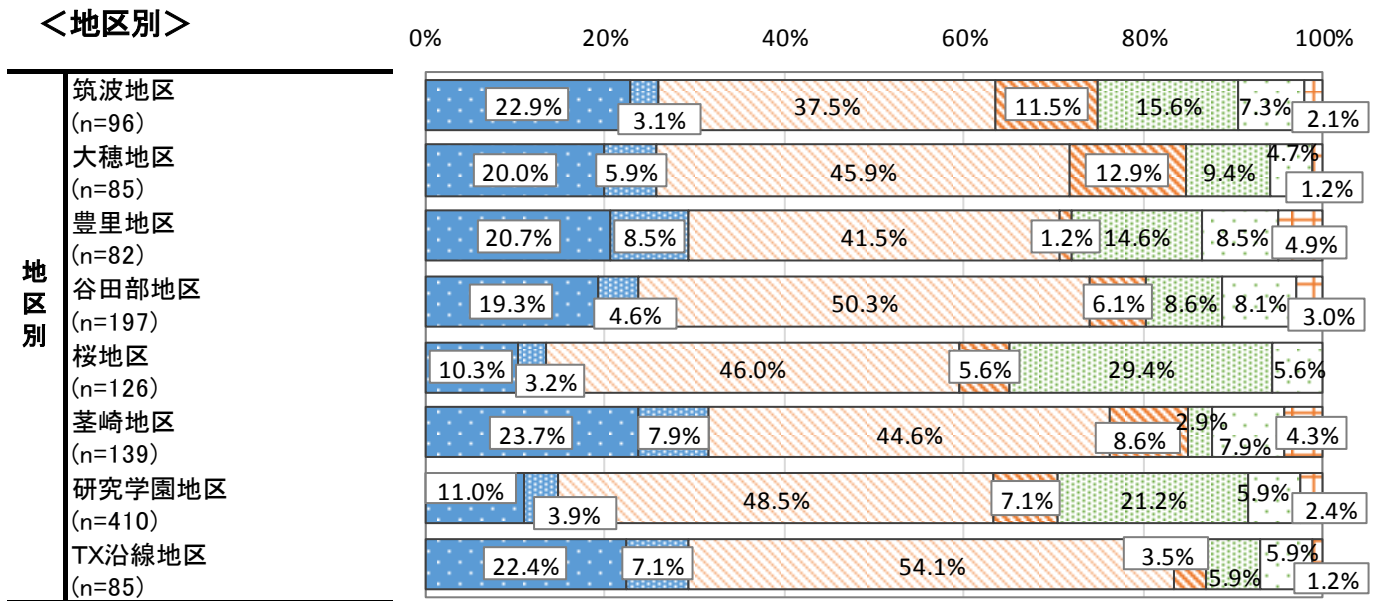
- 「日常の用事」が47%と最も多く、次いで「娯楽」が16.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「日常の用事」が約4ポイント増加しています。
- 「その他」は、「買物」、「駅への送迎」などとなっています。

②-1 クロス集計の結果（つくばセンター地区を訪れる目的と年齢別・地区別）



＜年齢別の傾向＞

●すべての年齢で、「日常の用事」が最も多くなっています。



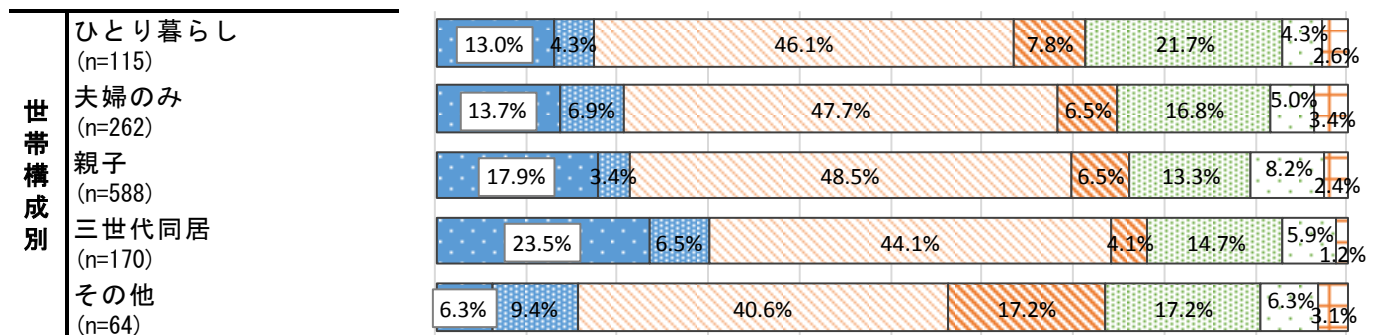
＜地区別の傾向＞

●すべての地区で、「日常の用事」が最も多くなっています。

## ②-2 クロス集計の結果（つくばセンター地区を訪れる目的と世帯構成別）



### <世帯構成別>



### <<世帯構成別の傾向>>

- すべての地区で、「日常の用事」が最も多くなっています。

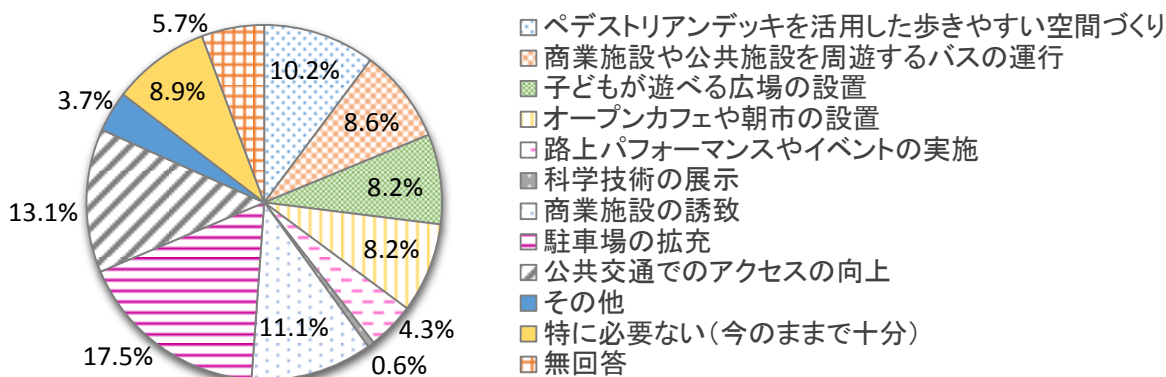
問28 あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。 <〇は1つ>

① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査（H25）	
	回答数	構成比
ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり	134	10.2%
商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	113	8.6%
子どもが遊べる広場の設置	108	8.2%
オープンカフェや朝市の設置	108	8.2%
路上パフォーマンスやイベントの実施	57	4.3%
科学技術の展示	8	0.6%
商業施設の誘致	146	11.1%
駐車場の拡充	231	17.5%
公共交通でのアクセスの向上	172	13.1%
その他	49	3.7%
特に必要ない（今のままで十分）	117	8.9%
無回答	75	5.7%
合計	1,318	100.0%

※本調査で新たに追加した設問です。

<本調査での構成比>



《全体の傾向》

- 「駐車場の拡充」が17.5%と最も多くなっています。
- 「その他」は、「駐車場の無料化あるいは安くする」、「自転車置場の拡充」などとなっています。



②-1 クロス集計の結果（つくばセンター地区に必要な取組と年齢別構成比 上位5位）

＜年齢別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	駐車場の拡充		商業施設の誘致		子どもが遊べる広場の設置		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり／オープンカフェや朝市の設置／公共交通でのアクセスの向上			
	19	14.1%	18	13.3%	17	12.6%	16		11.9%	
30歳代 (n=244)	子どもが遊べる広場の設置		駐車場の拡充		商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		公共交通でのアクセスの向上	
	43	17.6%	37	15.2%	34	13.9%	27	11.1%	24	9.8%
40歳代 (n=267)	駐車場の拡充／公共交通でのアクセスの向上		商業施設の誘致		オープンカフェや朝市の設置		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり			
	38		14.2%		36	13.5%	30	11.2%	25	9.4%
50歳代 (n=226)	駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		商業施設の誘致		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	
	44	19.5%	35	15.5%	34	15.0%	27	11.9%	14	6.2%
60～64歳 (n=138)	駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		商業施設の誘致	
	29	21.0%	24	17.4%	15	10.9%	14	10.1%	8	5.8%
65～69歳 (n=122)	駐車場の拡充		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行／公共交通でのアクセスの向上		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり		オープンカフェや朝市の設置			
	24	19.7%	15		12.3%		11		9.0%	
70～74歳 (n=104)	駐車場の拡充		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		公共交通でのアクセスの向上		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり		子どもが遊べる広場の設置	
	22	21.2%	16	15.4%	12	11.5%	8	7.7%	5	4.8%
75歳以上 (n=63)	駐車場の拡充		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり		公共交通でのアクセスの向上		路上パフォーマンスやイベントの実施	
	15	23.8%	13	20.6%	7	11.1%	6	9.5%	3	4.8%

＜年齢別の傾向＞

●30歳代以外では、「駐車場の拡充」が最も多くなっています。

②-2 クロス集計の結果（つくばセンター地区に必要な取組と地区別構成比 上位5位）

<地区別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		商業施設の誘致		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり／商業施設や公共施設を周遊するバスの運行			
	23	20.4%	17	15.0%	13	11.5%	9	8.0%		
大穂地区 (n=93)	駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上		路上パフォーマンスやイベントの実施／商業施設の誘致		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり／子どもが遊べる広場の設置			
	22	23.7%	9	9.7%	7	7.5%	6	6.5%		
豊里地区 (n=93)	駐車場の拡充		子どもが遊べる広場の設置		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり／商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		オープンカフェや朝市の設置			
	27	29.0%	11	11.8%	10	10.8%	6	6.5%		
谷田部地区 (n=222)	駐車場の拡充		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり		公共交通でのアクセスの向上		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		商業施設の誘致	
	46	20.7%	28	12.6%	23	10.4%	21	9.5%	17	7.7%
桜地区 (n=134)	駐車場の拡充		商業施設の誘致		公共交通でのアクセスの向上／オープンカフェや朝市の設置		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行			
	27	20.1%	20	14.9%	14	10.4%	13	9.7%		
荃崎地区 (n=163)	公共交通でのアクセスの向上		商業施設や公共施設を周遊するバスの運行		駐車場の拡充		商業施設の誘致		子どもが遊べる広場の設置	
	37	22.7%	28	17.2%	21	12.9%	14	8.6%	11	6.7%
研究学園地区 (n=413)	商業施設の誘致		ペDESTリアンデッキを活用した歩きやすい空間づくり		公共交通でのアクセスの向上		駐車場の拡充		オープンカフェや朝市の設置	
	59	14.3%	58	14.0%	55	13.3%	49	11.9%	48	11.6%
TX沿線地区 (n=87)	駐車場の拡充		公共交通でのアクセスの向上／オープンカフェや朝市の設置		子どもが遊べる広場の設置／商業施設の誘致					
	16	18.4%	12	13.8%	11	12.6%				

《地区別の傾向》

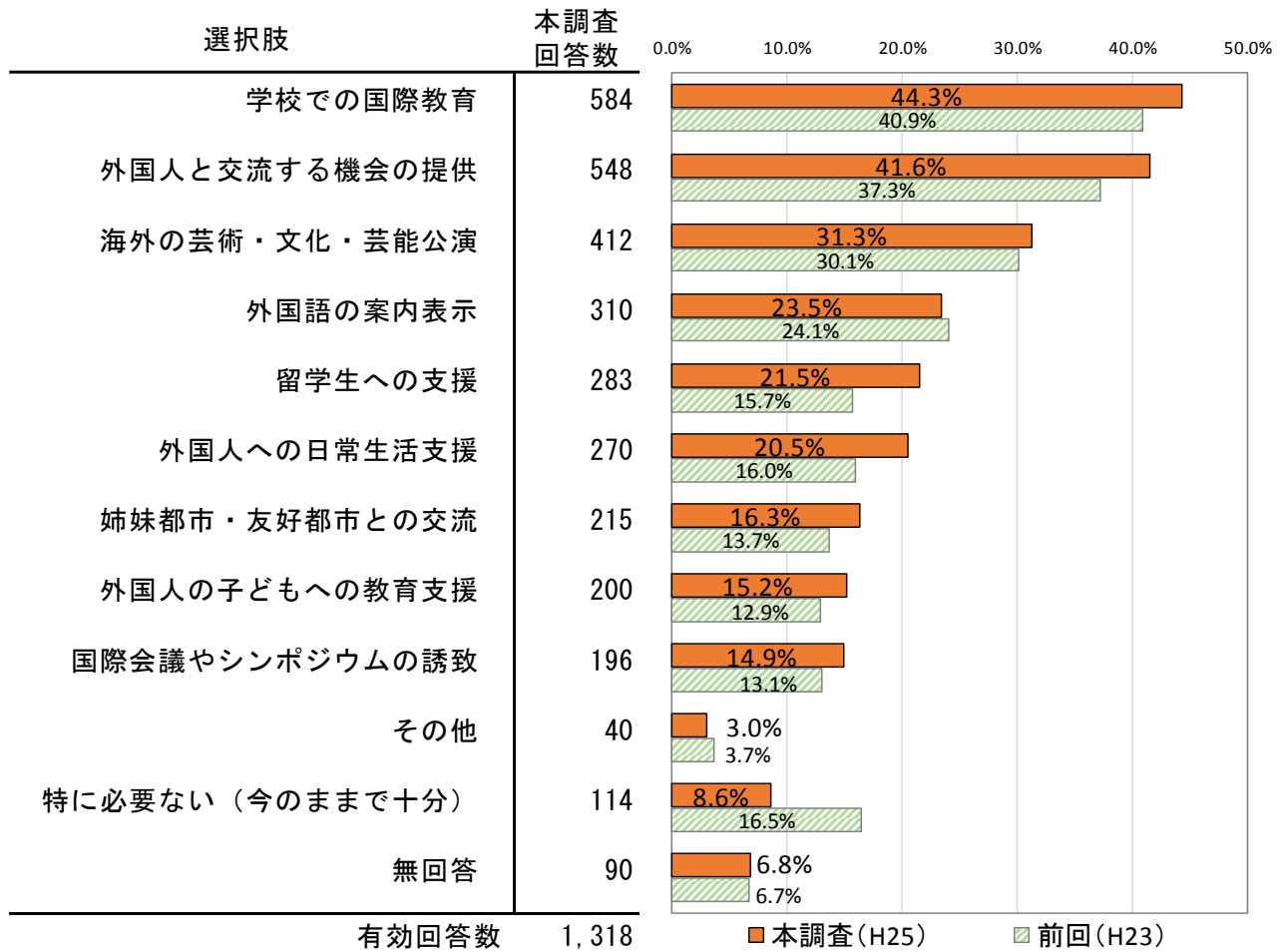
- 筑波地区、大穂地区、豊里地区、谷田部地区、桜地区では、「駐車場の拡充」が20%を超えています。
- 荃崎地区では、「公共施設でのアクセス向上」が、研究学園地区では、「商業施設の誘致」が最も多くなっています。

## 9 その他の取組について

問29 あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思えますか。

<3つまで>

### ① 全体集計の結果と傾向



※前回調査では、「外国人と交流する機会の提供」は「外国人とふれあう機会の提供」

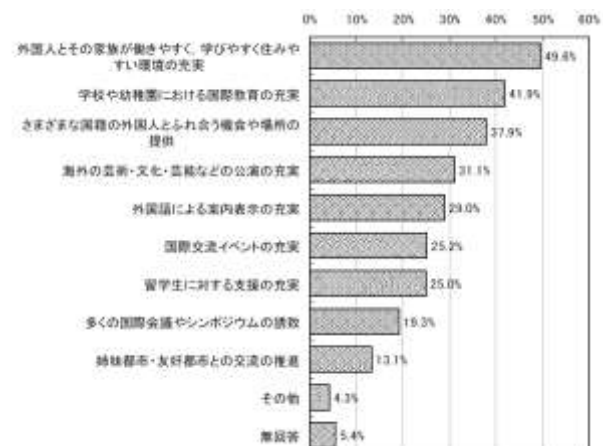
#### 《全体の傾向》

- 「学校での国際教育」が44.3%と最も多く、次いで「外国人と交流する機会の提供」が41.6%となっています。
- 「その他」は、「英語などの外国語教育の強化」、「外国人の日本語学習」などとなっています。

#### 《前々回(H21)の調査結果》

- 「外国人とその家族が働きやすく、学びやすく住みやすい環境の充実」が49.6%と最も多く、次いで「学校や幼稚園における国際教育の充実」が41.9%となっています。

※前々回調査では、前回の調査では、あてはまるものすべてに回答



②-1 クロス集計の結果（国際都市として取り組むべきことと年齢別構成比 上位5位）

＜年齢別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		外国人への日常生活支援		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示	
	59	43.7%	55	40.7%	43	31.9%	41	30.4%	34	25.2%
30歳代 (n=244)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示／外国人への日常生活支援		外国人への日常生活支援	
	129	52.9%	116	47.5%	83	34.0%	71	29.1%	54	22.1%
40歳代 (n=267)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援		外国語の案内表示	
	130	48.7%	120	44.9%	82	30.7%	68	25.5%	63	23.6%
50歳代 (n=226)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援		外国語の案内表示	
	104	46.0%	100	44.2%	76	33.6%	51	22.6%	50	22.1%
60～64歳 (n=138)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援		外国語の案内表示	
	61	44.2%	54	39.1%	53	38.4%	31	22.5%	28	20.3%
65～69歳 (n=122)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		留学生への支援	
	43	35.2%	42	34.4%	37	30.3%	28	23.0%	25	20.5%
70～74歳 (n=104)	学校での国際教育		留学生への支援		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		姉妹都市・友好都市との交流	
	41	39.4%	28	26.9%	27	26.0%	22	21.2%	21	20.2%
75歳以上 (n=63)	外国人と交流する機会の提供／留学生への支援		学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示／国際会議やシンポジウムの誘致			
	19		30.2%		18	28.6%	13	20.6%	12	19.0%

＜年齢別の傾向＞

- いずれの年齢でも「学校での国際教育」と「外国人と交流する機会の提供」が上位になっています。

②-2 クロス集計の結果（国際都市として取り組むべきことと地区別・職業別構成比 上位5位）

＜地区別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援		外国語の案内表示／姉妹都市・友好都市との交流	
	45	39.8%	40	35.4%	31	27.4%	29	25.7%	25	22.1%
大穂地区 (n=93)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援	
	39	41.9%	37	39.8%	26	28.0%	23	24.7%	17	18.3%
豊里地区 (n=93)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		留学生への支援		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示	
	47	50.5%	39	41.9%	27	29.0%	24	25.8%	20	21.5%
谷田部地区 (n=222)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		留学生への支援	
	98	44.1%	89	40.1%	77	34.7%	48	21.6%	44	19.8%
桜地区 (n=134)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援		外国語の案内表示	
	66	49.3%	56	41.8%	46	34.3%	32	23.9%	31	23.1%
荃崎地区 (n=163)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援		外国語の案内表示	
	75	46.0%	65	39.9%	56	34.4%	39	23.9%	32	19.6%
研究学園地区 (n=413)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援		外国語の案内表示	
	182	44.1%	166	40.2%	128	31.0%	120	29.1%	112	27.1%
TX沿線地区 (n=87)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人の子どもへの教育支援		留学生への支援	
	48	55.2%	40	46.0%	27	31.0%	21	24.1%	17	19.5%

＜地区別の傾向＞

- 研究学園地区では、「外国人と交流する機会の提供」、それ以外の地区では、「学校での国際教育」が最も多くなっています。

＜職業別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=482)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示／外国人への日常生活支援			
	220	45.6%	214	44.4%	153	31.7%	115	23.9%		
自営業 (n=79)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示／留学生への支援			
	40	50.6%	31	39.2%	26	32.9%	23	29.1%		
農林業 (n=29)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		留学生への支援		国際会議やシンポジウムの誘致		外国語の案内表示／外国人への日常生活支援	
	10	34.5%	8	27.6%	7	24.1%	5	17.2%	4	13.8%
パート・アルバイトなど(n=186)	学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		留学生への支援	
	97	52.2%	81	43.5%	77	41.4%	47	25.3%	36	19.4%
専業主婦(主夫) (n=216)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援	
	103	47.7%	93	43.1%	61	28.2%	49	22.7%	44	20.4%
学生 (n=45)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示／外国人への日常生活支援				海外の芸術・文化・芸能公演	
	25	55.6%	17	37.8%	14	31.1%	13	28.9%		
無職 (n=205)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援		外国語の案内表示	
	75	36.6%	70	34.1%	55	26.8%	47	22.9%	45	22.0%
その他 (n=52)	外国人への日常生活支援		学校での国際教育		留学生への支援		外国人と交流する機会の提供／外国人の子どもへの教育支援			
	21	40.4%	20	38.5%	18	34.6%	14	26.9%		

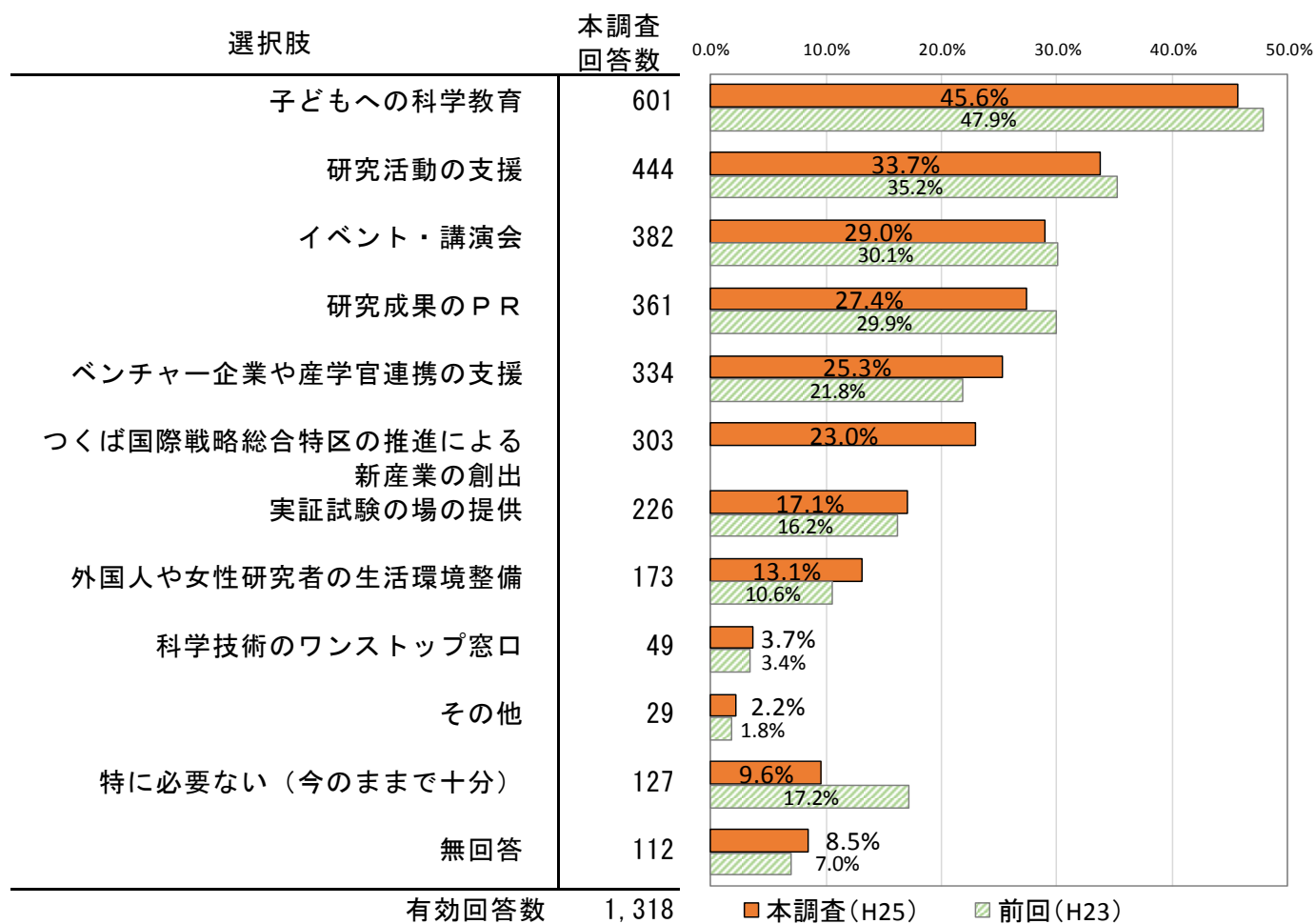
＜職業別の傾向＞

- 会社員・公務員、自営業では、「外国人と交流する機会の提供」が最も多く、それ以外の職業では、その他を除き「学校での国際教育」が最も多くなっています。



問30 あなたは、科学技術振興のために、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。  
 <3つまで>

① 全体集計の結果と傾向



※「つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出」は、本調査で新たに追加した選択肢です。

《全体の傾向》

- 「子どもへの科学教育」が45.6%と最も多く、次いで「研究活動の支援」が33.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「ベンチャー企業や産学官連携の支援」が約4ポイント増加し、「特に必要ない」は約8ポイント減少しています。
- 「その他」は、「市が支援する必要なし」、「研究機関との交流・PR」などとなっています。



②-1 クロス集計の結果（科学振興のために取り組むべきことと年齢別構成比 上位5位）

<年齢別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	研究活動の支援		子どもへの科学教育		イベント・講演会／研究成果のPR		実証試験の場の提供			
	58	43.0%	54	40.0%	44	32.6%	37	27.4%		
30歳代 (n=244)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究活動の支援		研究成果のPR		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	130	53.3%	90	36.9%	72	29.5%	62	25.4%	59	24.2%
40歳代 (n=267)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援／研究成果のPR			
	132	49.4%	98	36.7%	81	30.3%	75	28.1%		
50歳代 (n=226)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援		研究成果のPR	
	102	45.1%	79	35.0%	69	30.5%	68	30.1%	60	26.5%
60～64歳 (n=138)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		研究成果のPR		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	60	43.5%	45	32.6%	43	31.2%	40	29.0%	39	28.3%
65～69歳 (n=122)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		ベンチャー企業や産学官連携の支援		研究成果のPR		イベント・講演会	
	54	44.3%	34	27.9%	33	27.0%	28	23.0%	27	22.1%
70～74歳 (n=104)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		研究成果のPR		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		イベント・講演会	
	39	37.5%	38	36.5%	29	27.9%	28	26.9%	23	22.1%
75歳以上 (n=63)	子どもへの科学教育		研究成果のPR		イベント・講演会		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		研究活動の支援	
	21	33.3%	18	28.6%	17	27.0%	15	23.8%	14	22.2%

《年齢別の傾向》

●20歳代では、「研究活動の支援」、それ以外では、「子どもへの科学教育」が最も多くなっています。

②-2 クロス集計の結果（科学振興のために取り組むべきことと地区別構成比 上位5位）

<地区別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	子どもへの科学教育		研究活動の支援／イベント・講演会		研究成果のPR		ベンチャー企業や産学官連携の支援			
	48	42.5%	33	29.2%	32	28.3%	24	21.2%		
大穂地区 (n=93)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		ベンチャー企業や産学官連携の支援		イベント・講演会		研究成果のPR	
	42	45.2%	30	32.3%	26	28.0%	22	23.7%	21	22.6%
豊里地区 (n=93)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		研究成果のPR		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	43	46.2%	31	33.3%	26	28.0%	25	26.9%	23	24.7%
谷田部地区 (n=222)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		研究成果のPR		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	95	42.8%	82	36.9%	58	26.1%	57	25.7%	52	23.4%
桜地区 (n=134)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会／研究成果のPR		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出			
	64	47.8%	40	29.9%	37	27.6%	27	20.1%		
荃崎地区 (n=163)	子どもへの科学教育		研究成果のPR		イベント・講演会		研究活動の支援／ベンチャー企業や産学官連携の支援			
	70	42.9%	56	34.4%	50	30.7%	48	29.4%		
研究学園地区 (n=413)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援		研究成果のPR	
	199	48.2%	156	37.8%	126	30.5%	121	29.3%	110	26.6%
TX沿線地区 (n=87)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究活動の支援／実証試験の場の提供		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出			
	40	46.0%	36	41.4%	24	27.6%	22	25.3%		

《地区別の傾向》

- すべての地区で、「子どもへの科学教育」が最も多くなっています。

②-3 クロス集計の結果（科学振興のために取り組むべきことと職業別構成比 上位5位）

<職業別>

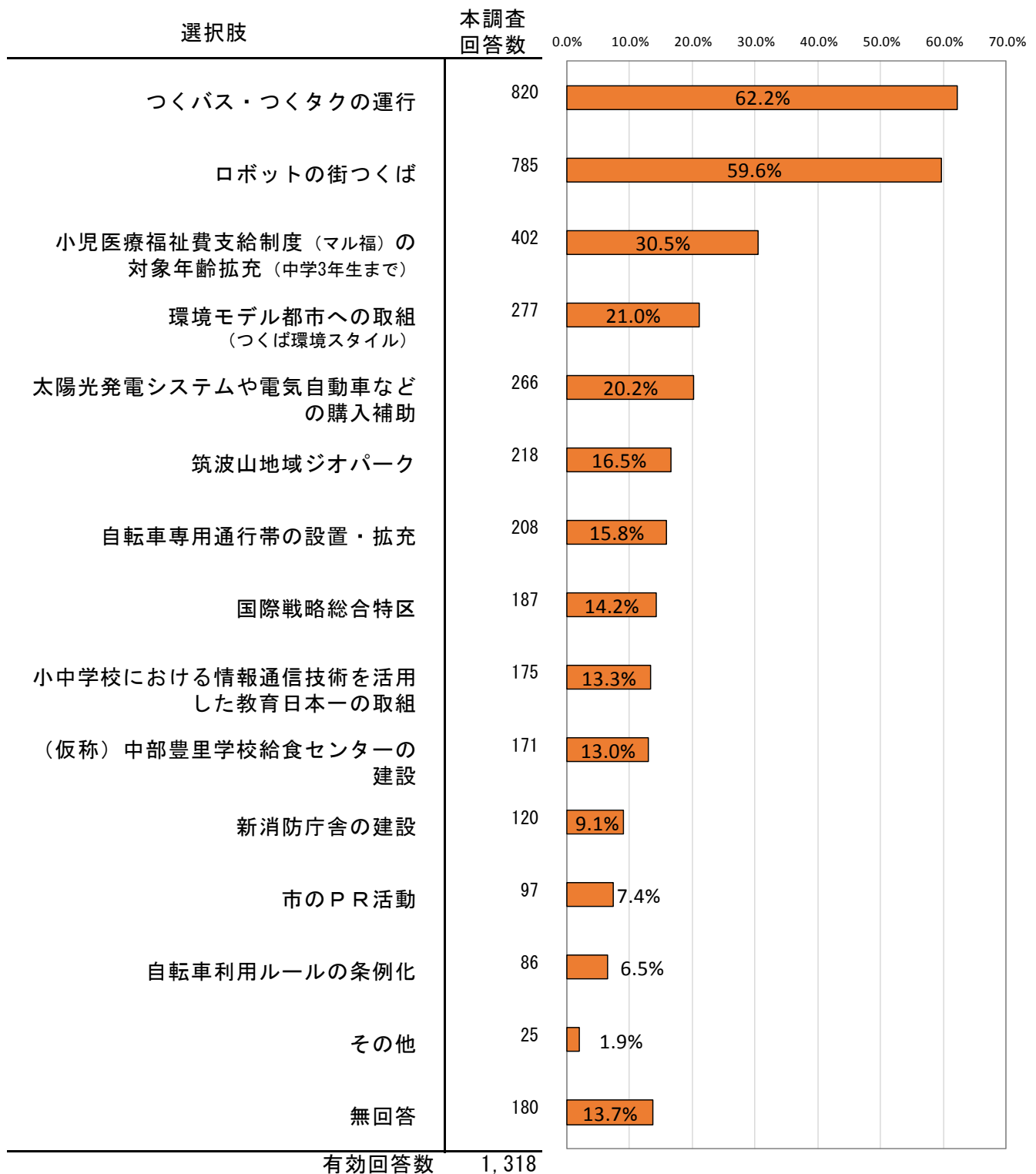
回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=482)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出	
	230	47.7%	166	34.4%	160	33.2%	138	28.6%	113	23.4%
自営業 (n=79)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		研究成果のPR		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	37	46.8%	26	32.9%	24	30.4%	23	29.1%	19	24.1%
農林業 (n=29)	つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		研究活動の支援／イベント・講演会				子どもへの科学教育／ベンチャー企業や産学官連携の支援			
	10	34.5%	7		24.1%		6		20.7%	
パート・アルバイトなど(n=186)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究活動の支援		研究成果のPR		実証試験の場の提供	
	88	47.3%	58	31.2%	57	30.6%	54	29.0%	36	19.4%
専業主婦(主夫) (n=216)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		研究成果のPR		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	109	50.5%	75	34.7%	64	29.6%	62	28.7%	54	25.0%
学生 (n=45)	研究活動の支援		子どもへの科学教育		研究成果のPR		ベンチャー企業や産学官連携の支援		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出	
	19	42.2%	18	40.0%	17	37.8%	13	28.9%	12	26.7%
無職 (n=205)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		研究成果のPR		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		イベント・講演会	
	76	37.1%	64	31.2%	53	25.9%	51	24.9%	49	23.9%
その他 (n=52)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		イベント・講演会／ベンチャー企業や産学官連携／研究成果のPR			
	25	48.1%	23	44.2%	18	34.6%	14		26.9%	

《職業別の傾向》

- 農林業と学生を除くすべての職業で、「子どもへの科学教育」が最も多くなっています。

問31 平成25年度つくば市が重点的に進めている事業で、あなたが知っているものは何ですか。  
 <〇は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果と傾向



※本調査で新たに追加した設問です。

《全体の傾向》

- 「つくバス・つくタクの運行」が62.2%と最も多く、次いで「ロボットの街つくば」が59.6%となっています。
- 「その他」は、「知らない」、「わからない」などとなっています。

②-1 クロス集計の結果（つくば市の重点事業の認知度と年齢別構成比 上位5位）

＜年齢別＞

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
20歳代 (n=135)	つくバス・つくタクの運行／ロボットの街つくば		つくバス・つくタクの運行／ロボットの街つくば		環境モデル都市への取組／自転車専用通行帯の設置・拡充		環境モデル都市への取組		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充	
	87		64.4%		24		17.8%		18 13.3%	
30歳代 (n=244)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		環境モデル都市への取組		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助	
	144 59.0%		134 54.9%		110 45.1%		58 23.8%		47 19.3%	
40歳代 (n=267)	ロボットの街つくば		つくバス・つくタクの運行		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助		環境モデル都市への取組	
	176 65.9%		169 63.3%		129 48.3%		65 24.3%		63 23.6%	
50歳代 (n=226)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		環境モデル都市への取組		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助	
	142 62.8%		136 60.2%		66 29.2%		50 22.1%		44 19.5%	
60～64歳 (n=138)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助		自転車専用通行帯の設置・拡充／生活が便利で快適なまち			
	92 66.7%		89 64.5%		32 23.2%		29		21.0%	
65～69歳 (n=122)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		環境モデル都市への取組	
	84 68.9%		72 59.0%		26 21.3%		23 18.9%		22 18.0%	
70～74歳 (n=104)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		環境モデル都市への取組		国際戦略総合特区		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充	
	57 54.8%		51 49.0%		20 19.2%		19 18.3%		18 17.3%	
75歳以上 (n=63)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助		新消防庁舎の建設／自転車専用通行帯の設置・拡充			
	35 55.6%		31 49.2%		14 22.2%		10		15.9%	

《年齢別の傾向》

- 各年齢で、「つくバス・つくタクの運行」と「ロボットの街つくば」が上位に入っています。

②-2 クロス集計の結果(つくば市の重点事業と地区別構成比 上位5位)

<地区別>

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
筑波地区 (n=113)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		筑波山地域ジオパーク		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助	
	60	53.1%	47	41.6%	28	24.8%	25	22.1%	23	20.4%
大穂地区 (n=93)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助/環境モデル都市への取組			
	57	61.3%	40	43.0%	25	26.9%	23	24.7%		
豊里地区 (n=93)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		(仮称)中部豊里学校給食センターの建設		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		環境モデル都市への取組	
	53	57.0%	52	55.9%	47	50.5%	31	33.3%	20	21.5%
谷田部地区 (n=222)	つくバス・つくタクの運行/ロボットの街つくば				小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助		環境モデル都市への取組	
	134		60.4%		64	28.8%	52	23.4%	48	21.6%
桜地区 (n=134)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助		環境モデル都市への取組/自転車専用通行帯の設置・拡充	
	88	65.7%	84	62.7%	41	30.6%	36	26.9%	27	20.1%
荃崎地区 (n=163)	つくバス・つくタクの運行		ロボットの街つくば		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助		環境モデル都市への取組	
	118	72.4%	87	53.4%	33	20.2%	32	19.6%	29	17.8%
研究学園地区 (n=413)	ロボットの街つくば		つくバス・つくタクの運行		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		環境モデル都市への取組		自転車専用通行帯の設置・拡充	
	283	68.5%	264	63.9%	143	34.6%	96	23.2%	78	18.9%
TX沿線地区 (n=87)	ロボットの街つくば		つくバス・つくタクの運行		小児医療福祉費支給制度の対象年齢拡充		太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助		環境モデル都市への取組	
	58	66.7%	46	52.9%	37	42.5%	19	21.8%	18	20.7%

《地区別の傾向》

- すべての地区で、「つくバス・つくタクの運行」、「ロボットの街つくば」が上位に入っています。



平成 24 年 5 月 7 日から、住民基本台帳カードを活用して、一部コンビニエンスストアで証明書（住民票、印鑑証明書）を取得できるサービスを開始しました。

問 3 2 あなたは、コンビニエンスストアでの証明書交付サービスを知っていますか。

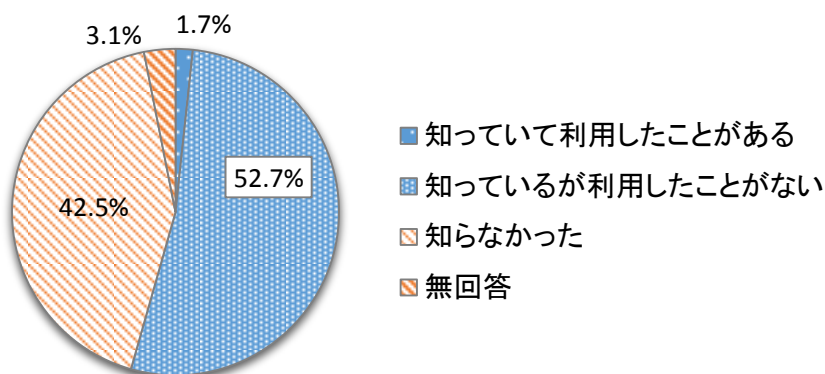
<〇は1つ>

### ① 全体集計の結果と傾向

選択肢	本調査 (H25)	
	回答数	構成比
知っている利用したことがある	22	1.7%
知っているが利用したことがない	695	52.7%
知らなかった	560	42.5%
無回答	41	3.1%
合計	1,318	100.0%

※本調査で新たに追加した設問です。

#### <本調査での構成比>



#### 《全体の傾向》

● 「知っているが利用したことがない」が 52.7% と最も多く、次いで「知らなかった」が 42.5% となっています。

## 10 自由意見

### (1) 記入者数と意見数

自由意見として、全回答者（1,318人）のうち480人（36.4%）から749件の意見がありました。

※1人で複数の意見を記入している場合は、内容ごとに分けて集計しています。

### (2) 総合計画の施策体系に基づく意見の集計

「第3次つくば市総合計画〈後期基本計画〉」の8つの施策大綱（①～⑧）ごとに749件の意見を集計しています。複数人からあった意見を「主な意見」として記載し、アンケートへの御意見等のいずれにも入らないものは「⑨その他」としています。

大綱ごとに見ると、「つくばエクスプレスをいかした活力あるまち」が最も多く、次いで「効率的・効果的で健全な都市経営」となっています。

内容としては、「効率的・効果的で健全な都市経営」の「行政運営」に関することが最も多く、次いで「つくばエクスプレスをいかした活力のあるまち」の「公共交通」に関することが多くなっています。

#### ① 自然と都市が調和した快適で住み良いまち

※（ ）は意見数

項 目	主な意見(要約)	
1 道路整備・維持管理 (48)	歩道整備 (19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の整備が悪くガタガタな場所があるので、補修を急いでほしい。</li> <li>・子どもが安心して歩けるように、歩道の整備をしっかりとしてほしい。</li> <li>・劣化が進むペDESTリアンデッキの補修を進めてほしい。 など</li> </ul>
	道路整備 (21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の整備により大通りなどの交通渋滞を解消してほしい。</li> <li>・自転車専用レーンを整備・改修してほしい。</li> <li>・中心部以外の地域の道路整備をしてほしい。 など</li> </ul>
	維持管理 (8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の植え込みの除草をこまめにしてほしい。 など</li> </ul>
2 都市計画 (49)	景観 (15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・便利なまちでありつつ、自然と都市が調和した美しい景観を保ってほしい。 など</li> <li>・街路樹などの手入れがされている。 など</li> </ul>
	公園・緑地 (19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市全体に緑を増やし、公園をつくってほしい。</li> <li>・もっと緑を残した都市開発をしてほしい。</li> <li>・民地への緑化の費用の補助や維持管理の補助等を行ってほしい。 など</li> <li>・緑が多く住みやすいまちだと思う。</li> </ul>
	都市計画 全般 (15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み良いまちづくりに取り組んでほしい。</li> <li>・中心部ばかりでなく周辺地域でも環境整備等を充実させてほしい。 など</li> <li>・つくば市は住みやすく、良いまちだと思う。 など</li> </ul>
3 上下水道 (18)	上下水道 整備 (9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道の整備がされていない所が多いので、地域住民が安全・安心に暮らせるよう整備してほしい。</li> <li>・水道水が美味しくないので、改善してほしい。 など</li> </ul>
	上下水道 料金 (9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道料金が低い。</li> </ul>

## ② つくばエクスプレスをいかした活力のあるまち

項 目		主な意見(要約)
1 公共交通 (84)	つくバス・ つくタク (35)	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくバス・つくタクの料金，利用方法等を改善してほしい。</li> <li>つくバスの便数や停留所数を増やし，使いやすくしてほしい。</li> <li>つくバス・つくタクをもっと遅い時間まで利用できるようにしてほしい。</li> <li>I T技術を活用してつくタクを利用しやすいように改善してほしい。</li> <li>つくバスの路線変更により不便になった。 など</li> </ul>
	つくばエクスプレス (13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくばエクスプレスの運行時間・最終電車（つくば着）をもう少し遅い時間まで運行してほしい。</li> <li>つくばエクスプレス乗車運賃が高いので値下げしてほしい。</li> <li>つくばエクスプレスの運行本数を増やしてほしい。 など</li> </ul>
	公共交通網 等 (36)	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスの料金が高く，本数も少ない。</li> <li>車を使わなくても快適に生活できるようにしてほしい。</li> <li>周辺地域へ行くのにバスの乗り替えが不便である。</li> <li>市役所や中心部に行く公共交通の便を増やしてほしい。 など</li> </ul>
2 自動車・自 転車交通 (27)	自動車交通 (18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通マナーが悪いドライバーが多く危ないので，パトロールを強化してほしい。</li> <li>中心部に駐車場が少ない。</li> <li>駐車違反が多いのでパトロールに力を入れてほしい。 など</li> </ul>
	自転車交通 (9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場が少ないので整備してほしい。</li> <li>自転車の交通マナーが悪いので，教育や罰則の強化等の対策をしてほしい。 など</li> </ul>
3 中心市街地活性化 (18)		<ul style="list-style-type: none"> <li>公務員宿舍廃止後の環境を良好な状態で維持してほしい。</li> <li>周辺への大型商業施設立地による中心部の空洞化が心配である。 など</li> </ul>
4 科学技術振興 (8)		<ul style="list-style-type: none"> <li>国際戦略総合特区等の内容を市民にわかりやすく伝えて進めてほしい。</li> <li>日常生活で研究学園都市・先端技術が感じられるまちづくりをしてほしい。 など</li> </ul>
5 国際化推進 (12)		<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人との交流機会を提供してほしい。</li> <li>国際教育が不足しているので，行政の支援が必要である。</li> <li>世界に誇れるつくば市になってほしい。 など</li> </ul>
6 その他 (15)		<ul style="list-style-type: none"> <li>研究学園都市の特性をもっといかしたまちづくりを進めてほしい。</li> <li>T X沿線の中長期的な開発計画をしてほしい。 など</li> </ul>

## ③ 環境に優しく人と文化がふれあうまち

項 目		主な意見(要約)
1 生活環境 (28)	騒音 (7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間のバイク騒音を取り締まってほしい。 など</li> </ul>
	悪臭・環境汚 染 (11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>野焼きをしっかりと取り締まってほしい。</li> <li>放射能汚染対策を徹底して安心・安全なつくばをPRしてほしい。</li> <li>路上喫煙禁止を徹底してほしい。 など</li> </ul>
	その他 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットの散歩マナーが悪い。</li> <li>自然エネルギーの活用をもっと推進してほしい。 など</li> </ul>
2 地域コミュニティ (9)		<ul style="list-style-type: none"> <li>行政による自治会活動の支援をしてほしい。 など</li> </ul>
3 歴史・文化・芸術 (13)		<ul style="list-style-type: none"> <li>ノバホール等で質の高い公演を増やしてほしい。</li> <li>伝統文化を大切に継承して行ってほしい。 など</li> </ul>

#### ④ 災害や犯罪に強い安全なまち

項 目		主な意見(要約)
1 防犯 (30)	街路灯整備 (22)	・夜道が暗いので街灯をもっと増やしてほしい。
	防犯対策 (8)	・不審者情報が多いので、防犯カメラの設置など防犯対策があると安心する。 ・治安が心配なので、もう少し安心して暮らせるまちにしてほしい。など
2 防災(8)		・防災無線を設置してほしい。 ・災害に対する備えの更なる充実を図ってほしい。 など

#### ⑤ 互いに助けあう心安らぐまち

項 目		主な意見(要約)
1 子育て (42)	子育て支援 (31)	・予防接種の助成を早急に進めてほしい。 ・子育て支援拠点を増やしてほしい。 ・子どもの遊び場が少ないので、中心部以外の地域にもつくってほしい。 ・子育てが安心してできる支援を充実してほしい。など ・中学3年生まで小児医療福祉費支給制度が拡充されたのはよかった。 ・子育てしやすいまちだと思う。 など
	保育所・ 幼稚園(7)	・保育所・幼稚園等を増やしてほしい。 ・待機児童をなくしてほしい。 など
	児童館・児童 クラブ(4)	・児童館を新設し、児童クラブの利用対象年齢を拡大してほしい。 ・学校に放課後クラブをもっとつくってほしい。 など
2 高齢者 福祉 (33)	高齢者の 生活環境 支援(26)	・つくば市は車社会なので、車の運転が難しくなった高齢者の支援をしてほしい。 ・高齢者が買物や通院などより便利な日常生活ができるようにしてほしい。 ・老後も安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。 ・老後が心配なので施設をつくってほしい。 など
	介護(7)	・在宅介護の本人や家族へのサービスを向上させてほしい。 など
3 医療・健康診断(12)		・産婦人科・小児科などの医療機関が少ないので増設してほしい。など

#### ⑥ 安定した暮らしを支える生き生きとしたまち

項 目		主な意見(要約)
1 農業振興(9)		・農業の担い手が不足しているので、人材バンク創設等の対策をしてほしい。 ・農家の耕作放棄地が多く見られるので、今後どのようにしていくかを検討してほしい。 など
2 産業振興 (18)	商業振興 (12)	・歩きながら買い物できる近くの商店街のような街並みをつくってほしい。 ・商業施設を誘致し、にぎわいのあるつくば市にしてほしい。 など
	企業支援 (6)	・つくば市が国内で先駆けて新産業を生むまちになってほしい。 ・中小企業を育てる支援策を考えてほしい。 など
3 観光振興(8)		・筑波山の環境整備や観光地の更なる活性化を図ってほしい。 ・ロボットをもっと街中で動かして観光資源として活用すると良い。など
4 雇用対策(7)		・61歳以上でも仕事ができる環境をつくってほしい。 ・仕事の悩みを相談できる場所や就職支援センターを設置してほしい。など

## ⑦ 健やかな人を育む教育・スポーツのまち

項 目		主な意見(要約)
1 教育 (42)	学校施設 (22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校を増設してほしい。</li> <li>・小中学校にエアコンを整備してほしい。</li> <li>・学校給食の種類を増やすなどの改善をしてほしい。</li> <li>・市内に高等学校をもっと設置してほしい。 など</li> </ul>
	教育環境 (20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの学習意欲が増すように学習環境を見直してほしい。</li> <li>・教育環境に地域差があるので、平等な教育環境をつくってほしい。</li> <li>・教職員の質の向上を図ってほしい。 など</li> </ul>
2 生涯学習 (5)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をしている人が参加しやすいように平日以外でも生涯学習講座を行ってほしい。 など</li> </ul>
3 スポーツ・レクリエーション・イベント (10)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラックや体育館のあるスポーツ施設を整備してほしい。 など</li> </ul>

## ⑧ 効率的・効果的で健全な都市経営

項 目		主な意見(要約)
1 行政運営 (107)	行政サービス (63)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員の窓口対応を良くしてほしい。</li> <li>・中心部と周辺地域では大きな差があるので、もっと周辺地域にも目を向けてほしい。 など</li> </ul>
	行財政改革 (44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が多すぎるので無駄な人件費を削減してほしい。</li> <li>・健全な財政運営を行ってほしい。</li> <li>・市民税(住民税)が高いので安くしてほしい。 など</li> </ul>
2 情報発信 (22)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が何を重点的に推進しているのかがわかりにくいので、上手な広報活動を推進してほしい。</li> <li>・市の様々な情報を得る機会や場がほしい。 など</li> </ul>

## ⑨ その他

項 目	主な意見(要約)
1 アンケート (46)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートが答えにくい。</li> <li>・アンケートの設問が適切ではない。</li> <li>・アンケートはインターネットなどを活用して利便性を向上させてほしい。</li> <li>・アンケートを活用してより良いまちづくりをしてほしい。 など</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば市の取り組みや事業を知り、関心を持つ機会になった。</li> <li>・今後もこのようなアンケート調査を行うことは良いと思う。 など</li> </ul>

※アンケート以外のその他(21)は、記載を省略。





## Ⅲ 調査票



# 平成 25 年度つくば市民意識調査

## 《アンケートご協力のお願い》

皆様には、つくば市政に対して、日頃から深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

つくば市では、市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、市民の皆様が重要と感じている施策や課題、社会情勢から重点的な取組が必要な課題について、皆様のご意見をお伺いするために市民意識調査を実施いたします。

調査票は、住民基本台帳に記載された 20 歳以上の男女 2,400 人を無作為に選ばせていただき、郵送させていただきます。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成 25 年 8 月

つくば市長 市 原 健 一

### 【ご記入に当たってのお願い】

1. 調査票は、あて名のご本人がご記入ください。（どなたかに代筆いただいても結構です。）それが無理な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
2. 設問には、「1つ」または「複数」選んで当てはまる番号に○印をつけるもの、また、当てはまる番号を「3つ」まで選んで記入するものがありますので、ご案内に従い回答してください。「その他」に当てはまる場合は、お手数ですが、（ ）内に具体的にご記入ください。
3. ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、8月23日（金）までに、切手を貼らずに郵便ポストに投かんしてください。
4. その他
  - ・お名前やご連絡先をご記入いただく必要はございません。
  - ※すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定できないことはもとより、他の目的には利用いたしません。
  - ・調査結果は、広報つくば、市ホームページで公表いたします。

〈お問合せ先〉

つくば市企画部 行政経営課

TEL 029-883-1111（代表）内線 5230

FAX 029-868-7624

※つくば市を8つのエリア（筑波地区、大穂地区、豊里地区、谷田部地区、桜地区、荃崎地区、研究学園地区、TX沿線地区）に分け、地区ごとに色分けした調査票を配布しています。

※返信用封筒の受取人あて先の下にある「バーコード」は、料金受取人払のため郵便局が使用するものです。個人を特定するためのものではありません。

## はじめに、あなたご自身のことを教えてください

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

1 あなたの性別を教えてください。

<○は1つ>

1. 男性

2. 女性

2 あなたの年齢を教えてください。

<○は1つ>

1. 20歳代

4. 50歳代

7. 70～74歳

2. 30歳代

5. 60～64歳

8. 75歳以上

3. 40歳代

6. 65～69歳

3 あなたの世帯構成を教えてください。

<○は1つ>

1. ひとり暮らし

4. 三世帯同居

2. 夫婦のみ

5. その他

3. 親子

4 あなたの世帯（あなた自身も含めて）には、次に当てはまる方はいますか。

<○は当てはまるものすべて>

1. 6歳未満の乳幼児

3. 65～74歳の方

2. 小中学生

4. 75歳以上の方

5 あなたの職業（兼業の方は主たる職業）を教えてください。

<○は1つ>

1. 会社員・公務員

5. 専業主婦（主夫）

2. 自営業

6. 学生

3. 農林業

7. 無職

4. パート・アルバイトなど

8. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

6 あなたの現在のお住まいを教えてください。

<○は1つ>

1. 一戸建（持ち家）

5. 公営住宅（公社・県営・市営）

2. 一戸建（借家）

6. 社宅・官舎

3. 集合住宅（分譲）

7. その他

4. 集合住宅（賃貸）

## 現在の住環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問1 あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。  
※合併前の旧市町村も含めてお答えください。

<○は1つ>

1. 1年未満
2. 1年以上5年未満
3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満
5. 20年以上30年未満
6. 30年以上

問2 あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。

<○は1つ>

1. ある
2. ない

問3 あなたは、これからもつくば市に住み続けたいと思いますか。

<○は1つ>

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 住み続けたい         | 3. どちらかといえば住み続けたくない |
| 2. どちらかといえば住み続けたい | 4. 住み続けたくない         |
|                   | 5. どちらともいえない        |

問4 あなたは、つくば市の「住み心地」についてどう感じていますか。

<○は1つ>

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい         | 3. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 4. 住みにくい         |
|                  | 5. どちらともいえない     |

▶【問4で「1. 住みやすい」「2. どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】

問5 住みやすいと感じる主な理由は何ですか。 <○は当てはまるものすべて>

- |                      |
|----------------------|
| 1. 豊かな自然             |
| 2. 日常生活が便利           |
| 3. 通勤・通学先が近い         |
| 4. 交通の便が良い           |
| 5. 教育・文化環境が良い        |
| 6. 居住環境が良い           |
| 7. 充実した医療機関・福祉サービス   |
| 8. 充実した公共施設          |
| 9. 暮らしていて安全          |
| 10. 家族が近くにいる         |
| 11. 住み慣れている          |
| 12. その他（具体的に： _____） |

▶【問4で「3. どちらかといえば住みにくい」「4. 住みにくい」とお答えの方にお聞きします】

問6 住みにくいとを感じる主な理由は何ですか。 <○は1つ>

- |                      |
|----------------------|
| 1. 自然が少ない            |
| 2. 日常生活が不便           |
| 3. 通勤・通学先が遠い         |
| 4. 交通の便が悪い           |
| 5. 教育・文化環境が悪い        |
| 6. 居住環境が悪い           |
| 7. 医療機関・福祉サービスが不足    |
| 8. 公共施設が不足           |
| 9. 暮らしていて不安          |
| 10. 家族が遠くにいる         |
| 11. 住み慣れていない         |
| 12. その他（具体的に： _____） |



問7 あなたは、つくば市の景観をどう思いますか。

<○は1つ>

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 優れている         | 3. どちらかといえば優れていない |
| 2. どちらかといえば優れている | 4. 優れていない         |
|                  | 5. わからない          |

...▶【問7で「1. 優れている」または「2. どちらかといえば優れている」とお答えの方にお聞きします】

問8 優れていると感じる景観を教えてください。 <○は当てはまるものすべて>

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 筑波山                       |
| 2. 牛久沼                       |
| 3. 田園風景                      |
| 4. 里山・平地林                    |
| 5. 研究学園都市の街並み                |
| 6. つくばエクスプレス駅周辺の街並み          |
| 7. 農村集落の街並み                  |
| 8. 筑波山麓の観光地の街並み              |
| 9. 西部・北部工業団地の街並み             |
| 10. ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路） |
| 11. 公園                       |
| 12. 街路樹                      |
| 13. 電線・電柱が地中化された風景           |
| 14. その他（具体的に：_____）          |

## あなたの普段の生活について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問9 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

1. 老後のこと
2. 健康のこと
3. 仕事や職場のこと
4. 結婚のこと
5. お金のこと
6. 子どもの保育や教育のこと
7. 近所づきあいのこと
8. 住宅のこと
9. 交通手段が不便なこと
10. 災害や犯罪のこと
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
12. 特にない

問10 あなたは、現在、どのような地域活動に参加していますか。

<○は当てはまるものすべて>

1. 区会・自治会
2. 消防団（自衛消防団を含む）・自主防災組織
3. ボランティア
4. スポーツ・趣味
5. お祭り・イベント
6. 子ども会・育成会
7. シルバークラブ
8. PTA
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 特にない



→【問10で「10. 特にない」とお答えの方にお聞きします】

問11 地域活動に参加していない主な理由は何ですか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください：

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------

1. 仕事で忙しい
2. 子育てや介護で忙しい
3. 役職に就きたくない
4. 友人・知人がいない
5. 情報がない
6. 関心や興味がない
7. 人間関係がわずらわしい
8. 参加しにくい雰囲気がある
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 特に理由はない

問12 あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。  
<〇は当てはまるものすべて>

1. 防災用品や食料・水の備蓄
2. 災害時の避難経路や避難場所の確認
3. 住まいの耐震（免震）構造
4. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
5. 何もしていない

問13 あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。  
<〇は1つ>

1. いつも参加
2. ときどき参加
3. 参加していない

▶【問13で「3. 参加していない」とお答えの方にお聞きします】

問14 防犯活動に参加しない理由は何ですか。  
<〇は1つ>

1. 時間がない
2. 活動がわずらわしい
3. 人間関係がわずらわしい
4. 組織がない
5. 組織があるかわからない
6. 必要だと思わない
7. わからない
8. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

問15 あなたが、地球温暖化対策として実施していることは何ですか。  
<〇は当てはまるものすべて>

1. 自転車・徒歩による移動
2. 電気・ガス・水等の節約
3. エコバッグの持参
4. エコドライブ
5. ごみの適正分別
6. ソーラー給湯器・太陽光発電等の利用
7. 環境に配慮した商品の購入
8. 環境保全活動への参加
9. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
10. 特に何もしていない

# つくば市の現状やまちづくりへの取組について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問16 あなたは、普段の生活の中で、次の 1)~37)の項目について、どの程度満足していますか。直接関係がない項目についても、お答えください。 <○は1つずつ>

項 目		満 足 度				
		満 足	ど ち ら か と い え ば 満 足	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満	わ か ら な い
健康・福祉	1) 健康診断などの保健サービス	1	2	3	4	5
	2) 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
	3) 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス	1	2	3	4	5
	4) 高齢者の福祉	1	2	3	4	5
	5) 障害者の福祉	1	2	3	4	5
生活環境・防犯・防災・まちづくり	6) 生活環境（騒音・悪臭など）対策	1	2	3	4	5
	7) ごみ処理	1	2	3	4	5
	8) 防犯対策	1	2	3	4	5
	9) 地震などの災害対策	1	2	3	4	5
	10) 火災などへの消防対策	1	2	3	4	5
	11) 交通安全環境（通学路の安全など）の整備	1	2	3	4	5
	12) 緑や水辺の保全や自然環境	1	2	3	4	5
	13) 公園や遊び場	1	2	3	4	5
	14) 住宅環境	1	2	3	4	5
	15) 道路整備	1	2	3	4	5
	16) 上水道整備	1	2	3	4	5
	17) 下水道整備	1	2	3	4	5
教育・文化	18) 地域交流センターや図書館などの文化施設	1	2	3	4	5
	19) スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5
	20) 生涯学習	1	2	3	4	5
	21) 文化・芸術	1	2	3	4	5
	22) 文化財等の保存・調査	1	2	3	4	5
	23) 小中学校の学校教育	1	2	3	4	5
	24) 青少年の健全育成対策	1	2	3	4	5
	25) 平和・人権教育	1	2	3	4	5
	26) 男女共同参画	1	2	3	4	5
	27) 国際化への対応（外国人へのサポートなど）	1	2	3	4	5
産業	28) 農業の振興	1	2	3	4	5
	29) 商業・工業の振興	1	2	3	4	5
	30) 観光の振興	1	2	3	4	5
	31) 新しい産業・起業しやすい環境の創出	1	2	3	4	5
	32) 雇用促進（就業支援）	1	2	3	4	5
地域・行政	33) 近所づきあい	1	2	3	4	5
	34) 区会・自治会などの地域活動	1	2	3	4	5
	35) 市の広報・ホームページ	1	2	3	4	5
	36) 行財政改革の推進（健全な財政運営）	1	2	3	4	5
	37) 情報通信技術を活用した行政サービス	1	2	3	4	5

→ 【問16で「3. どちらかといえば不満」または「4. 不満」とお答えの方にお聞きします】

問17 不満を感じる項目番号 1)~37)と、その理由を教えてください。

<3つまで>

	項目番号	理 由
1		
2		
3		

問18 あなたは、現在のつくば市にどのようなイメージをお持ちですか。また、今後つくば市はどのようなまちづくりを目指していくべきだと思いますか。

当てはまる番号を、下の回答欄にそれぞれ3つまで記入してください。

現在のまちのイメージ：

今後目指すべきまちづくり：

1. 自然環境と都市環境が調和したまち
2. 生活が便利で快適なまち
3. 科学技術のまち
4. 環境にやさしいまち
5. 防犯・防災体制の整った安全・安心なまち
6. 観光・レジャーのまち
7. 健康増進・医療福祉のまち
8. スポーツのまち
9. 子育てしやすいまち
10. 教育のまち
11. 伝統・文化・芸術のまち
12. 市民活動が活発なまち
13. 国際交流が盛んなまち
14. 農業・商業・工業が盛んなまち
15. その他（現在のまちのイメージ： \_\_\_\_\_）
16. その他（今後目指すべきまちづくり： \_\_\_\_\_）

## 少子高齢化への取組について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

**問19** あなたは、つくば市には安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると思いますか。 <○は1つ>

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない         |
|                 | 5. わからない          |

⋮  
→【問19で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」とお答えの方にお聞きします】

**問20** つくば市に不足していると思うものは何ですか。 <○は1つ>

- |                    |
|--------------------|
| 1. 子育て世帯への経済的支援    |
| 2. 夜間・休日・病後時の保育    |
| 3. 子育て支援施設         |
| 4. 放課後児童クラブ        |
| 5. 産婦人科・小児科医       |
| 6. 子育てに関する相談体制     |
| 7. 地域で子育てを支える仕組み   |
| 8. その他（具体的に：_____） |

**問21** あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。 <○は1つ>

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない         |
|                 | 5. わからない          |

⋮  
→【問21で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」とお答えの方にお聞きします】

**問22** つくば市に不足していると思うものは何ですか。 <○は1つ>

- |                     |
|---------------------|
| 1. 健康づくりや介護予防事業     |
| 2. 高齢者の生きがいづくり支援    |
| 3. 送迎・買い物など日常生活支援   |
| 4. 地域で高齢者を支える仕組み    |
| 5. 自宅外で受けられる介護サービス  |
| 6. 自宅で受けられる介護サービス   |
| 7. 在宅で介護する家族への支援    |
| 8. 医療機関             |
| 9. 緊急時や災害時の対策       |
| 10. 情報提供            |
| 11. その他（具体的に：_____） |

## 公共交通について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問23 あなたは、市内の公共交通についてどう思いますか。

<○は1つ>

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 満足         | 3. どちらかといえば不満 |
| 2. どちらかといえば満足 | 4. 不満         |
|               | 5. わからない      |

▶【問23で「3. どちらかといえば不満」または「4. 不満」とお答えの方にお聞きします】

問24 不満である理由を教えてください。

<○は1つ>

- |                    |
|--------------------|
| 1. 運行本数            |
| 2. 早朝や深夜の運行        |
| 3. 運賃              |
| 4. 乗り継ぎ            |
| 5. 情報              |
| 6. 路線              |
| 7. その他（具体的に：_____） |

問25 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| 1. 鉄道   | 6. 自家用車            |
| 2. 路線バス | 7. オートバイ           |
| 3. つくバス | 8. 自転車             |
| 4. つくタク | 9. その他（具体的に：_____） |
| 5. タクシー |                    |



## 中心地区の活性化について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問26 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。 <○は1つ>

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日     | 4. 月1, 2回程度 |
| 2. 週2, 3回程度 | 5. 年数回程度    |
| 3. 週1回程度    | 6. まったく訪れない |

●●▶【問26で1～5を選択した方にお聞きします】

問27 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。 <○は1つ>

- |                    |
|--------------------|
| 1. 娯楽              |
| 2. 趣味              |
| 3. 日常の用事           |
| 4. 仕事              |
| 5. 移動・乗り換え         |
| 6. その他（具体的に：_____） |

問28 あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。 <○は1つ>

- |  |
|--|
| 1. ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）を活用した歩きやすい空間づくり |
| 2. 商業施設や公共施設を周遊するバスの運行                     |
| 3. 子どもが遊べる広場の設置                            |
| 4. オープンカフェや朝市の設置                           |
| 5. 路上パフォーマンスやイベントの実施                       |
| 6. 科学技術の展示                                 |
| 7. 商業施設の誘致                                 |
| 8. 駐車場の拡充                                  |
| 9. 公共交通でのアクセスの向上                           |
| 10. その他（具体的に：_____）                        |
| 11. 特に必要ない（今のままで十分）                        |

## その他の取組について

お答えは、当てはまる番号をお選びください。

問29 あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください：

1. 外国人への日常生活支援
2. 外国人の子どもへの教育支援
3. 留学生への支援
4. 外国語の案内表示
5. 学校での国際教育
6. 外国人と交流する機会の提供
7. 姉妹都市・友好都市との交流
8. 国際会議やシンポジウムの誘致
9. 海外の芸術・文化・芸能公演
10. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
11. 特に必要ない（今のままで十分）

問30 あなたは、科学技術振興のために、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください：

1. イベント・講演会
2. 研究活動の支援
3. 実証試験の場の提供
4. ベンチャー企業や産学官連携の支援
5. 研究成果のPR
6. 科学技術のワンストップ窓口
7. 子どもへの科学教育
8. 外国人や女性研究者の生活環境整備
9. つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出
10. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
11. 特に必要ない（今のままで十分）

問31 平成25年度つくば市が重点的に進めている事業で、あなたが知っているものは何ですか。

<〇は当てはまるものすべて>

1. 新消防庁舎の建設
2. 小児医療福祉費支給制度（マル福）の対象年齢拡充（中学3年生まで）
3. 小中学校における情報通信技術を活用した教育日本一の取組
4. （仮称）中部豊里学校給食センターの建設
5. 太陽光発電システムや電気自動車などの購入補助
6. 環境モデル都市への取組（つくば環境スタイル）
7. 自転車専用通行帯の設置・拡充
8. 自転車利用ルール条例の条例化
9. つくバス・つくタクの運行
10. 市のPR活動
11. 国際戦略総合特区
12. ロボットの街つくば
13. 筑波山地域ジオパーク
14. その他（\_\_\_\_\_）

平成24年5月7日から、住民基本台帳カードを活用して、一部コンビニエンスストアで証明書（住民票，印鑑証明書）を取得できるサービスを開始しました。

問32 あなたは、コンビニエンスストアでの証明書交付サービスを知っていますか。

<〇は1つ>

- |                     |           |
|---------------------|-----------|
| 1. 知っていて、利用したことがある  | 3. 知らなかった |
| 2. 知っているが、利用したことがない |           |





---

平成25年度つくば市民意識調査報告書

平成25年10月

発行 つくば市

調査・編集 つくば市企画部 行政経営課

〒305-8555 茨城県つくば市苅間 2530 番地 2

(研究学園 D32 街区 2 画地)

電話 029-883-1111 (代表)

---